

坑ヲ禁スル等ノ手段ヲ取ルモノトス。左ニ掲クルハ現ニ「カーヂツフ」地方炭坑ニ於テ使用セラル、坑内検査報告ノ實地様式トス(A號様式)(B號様式)

(A 號様式)

一、通風天井坑道側及ヒ一般ノ坑内安全ニ關スル検査報告

一、何炭坑 (但炭坑鑛業條例一般規則第四條ニ基ク)

下ニ署名セル拙者ハ鑛業條例一般規則第四條ノ目的ニ向テ正當ニ指名セラレタルモノニシテ拙者ハ鑛業條例一般規則第四條ノ目的ニ向テ正當ニ指名セラレタル探炭面ヲ通スル總テノ坑道探炭ノ就業セラル可キ通風範圍ニ於ケル一時事業中止ノ各切及、ヲ検査シタル處其情態ハ左ノ如シ即チ

瓦斯存在ノ有無.....

通風ノ模様.....

天井及坑道側ノ模様.....

坑内一般ノ安全模様.....

何年何月何日何時

署名.....

(B 號様式)

一、坑内監督方又ハ副支配人検査日報

何々層.....何々坑.....

何年何月何日

(1)	汝ハ本日坑内ニ於ケル如何ナル方面ヲ検査シタルヤ且ツ其情況ヲ示セ
(2)	汝ハ何レノ主要通行坑道又タハ通風道ヲ検査セシヤ其情況ヲ述ベヨ
(3)	坑内何レノ處ニ於テカ不完全ナル點ヲ發見セザリシヤ萬一此ノ如キ點アリタリシナラバ如何ナル修葺手段ヲ取リシヤ
(4)	坑内ニ於テ人命ヲ失ヒ、人身上ノ災害、等ニ付テハ其輕重ニ係ラズ其原因及ヒ情況ヲ示セヨ
(5)	汝ハ坑内監督代理方又ハ瓦斯検査方ノ通風ニ關スル報告ヲ検査シタルヤ
(6)	坑内検査監督報告書ヲ認ムル當事者ノ署名及ヒ一般情況ノ検査

英國炭坑殊ニ「カーヂツフ」地方炭坑々内ニ於テ。最モ嚴重ナル取扱監督ヲナスハ爆裂藥及ビ安全燈ノ取扱トス。即チ坑内爆裂藥ハ特ニ鑛業代理人又タハ支配人ヨリ任命セラレタルモノニ非ラザレバ。之レヲ使用スル事ヲ許サズ。之レガ使用ニ際シテハ通常左ノ如キ嚴格ナル様式ニ署名セシメタル上相當ノ分量ヲ限リ(爆裂藥五ポンド)以内之レヲ交附スルモノトス(C號様式)D號様式(E號様式)

(C號様式)

一、坑内爆裂藥使用許可書(但、鑛業條例一般規則第十二條ニ基ク)  
(此證明書ハ何年何月何日限り無効ニ屬スルモノトス)

何年何月何日 第何號 何々炭坑  
坑内何方面 何炭層

何某ヲ坑内爆裂藥使用者トシテ使役ニ付許可

何年何月何日此ノ證明書ノ復寫一、八八七年炭坑鑛業條例抜萃及ヒ本炭坑ノ特別規則ヲ領收シ且ツ何某ヨリ拙者ノ職務上ニ關係スル特別規則ヲ拙者ニ對シ朗讀

シ且ツ説明セラレタリ

被雇者署名.....

復寫證明證發行ノ鑛業代理人又タ支配人署名.....

(此所切取線)

一、坑内爆裂藥使用許可書

(此證明書ハ何年何月何日限り無効ニ屬スルモノトス)

第何號 何々炭坑

何年何月何日

何某儀坑内爆裂藥使用者トシテ雇ハレタルニ付茲ニ鑛業條例一般規則及本炭坑特別規則ニ從ヒ本炭坑何炭層何方面ニ於テ發火シ且ツ安全燈封鎖及ヒ開封ノ爲メ該安全燈鍵ヲ携帯スルコトヲ許可ス而テ本炭坑ニ於テ實施セラル、特別規則ノ一部ハ茲ニ拙者ニ示サレ且ツ自己ノ職務上ニ付該特別規則ヲ拙者ニ讀聞カセラレタルモノトス。

此證明書發行鑛業代理人又タ支配人某署名.....

此證明書提出者ナル支配人某署名.....

英國炭坑事務取扱概況

拙者儀上記ノ命令ヲ承諾シ且ツ一八八七年炭坑鑛業條例拔率及ヒ本炭坑特別規則一部ヲ領收致候也

何某署名

(D號様式)

(甲) 一、爆發處使用者證明書 (但本書式ハカーヂツフ地方ドウラス炭坑實地使用

ノ分)

「ドウラス」炭坑

何號坑

番號

日附

左記ノ者ニ對シテ爆發藥使用者指名ニ對スル證明

姓名

宿所

此ノ書ノ日附ヨリ何年何月何日ニ至ル間

爆發藥使用者ノ承諾セル事項下ノ如シ。

下ニ記スル拙者ハ拙者ノ領收シタル本證復寫ニ於ケル條項ニ從ヒ爆發藥使用者トシテ其職務ヲ履行スルコト及ヒ本炭坑ニ於ケル一般規則及ヒ特別規則ノ各一部ヲ領收セシモノトス。

日附

署名

鑛業代理人又タハ支配人副署名

(E號様式)

(乙) 「ドウラス」炭坑

番號

爆發藥使用者指名ニ對スル證明

日附

姓名

宿所

汝ハ爆發藥使用者トシテ其職務ヲ履行スル目的ヲ以テ指名セラレタルモノトス

此ノ書ニ記スル日附ヨリ何年何月何日ニ至ル間

爆發藥使用者職務

英國炭坑事務取扱概況

汝ハ單ニ電池ノ手段ニテ發火セシムルカ其他特ニ規定セラレタル方法ニテ發火ス可キモノトス。汝ハ如何ナル事情場合ニ於ケルモ發火取扱ヲ他人ニ代理セシムルコト坑内瓦斯石炭塵埃場所ノ検査其他發火ニ危険ナル條件ノ検査ヲ他人ニ代理セシムルコトヲ許ササルモノニシテ。炭坑鑛業條例一般規則及ヒ本炭坑ニ於ケル特別規則ヲ遵奉シ嚴重ニ爆發藥使用者ノ職務ニ關スル義務ヲ履行ス可キモノトス。

但本坑ニ於ケル特別規則ハ茲ニ一覽ニ供セラレタルモノトス。

爆發藥ヲ使用セシトキハ爆發ヲ遂ゲタル有無ニ關セス速ニ之レヲ炭坑支配人ニ報告ス可キモノトス。

汝ハ已レノ仕事ニ着手セントスルニ際シテハ。豫メ瓦斯検査方ノ検査報告ヲ詳細ニ取調ヘ。瓦斯ノ有無ヲ検査シ。及ヒ彼ノ爆發藥使用者ノ報告書ヲ詳細ニ取調ブ可シ。

汝ハ坑内ヲ出ツルニ當リテハ直ニ總テノ發火ノ用ニ供セシ爆發藥及ヒ發火セシメントシタル爆發藥ヲ規定ノ帳簿ニ記入ス可シ。

鑛業代理人又タハ支配人署名……………

此ノ證明書ハ明年十二月三十一日迄有效ナルモノトス。

安全燈取扱方ハ通常坑外ニ於ケル安全燈室ニハ圓形又タハ長方形ノ棚ヲ取附ケ。之レニ各安全燈ニ凹刻セル番號ト同一ナル番號ヲ記載シ使用セザル安全燈ハ常ニ其番號ト同一ナル場所ニ之レヲ保存ス。即チ坑夫入坑ニ當リテハ各自安全燈室ニ至リ。小窓ヨリ自己ノ坑夫番號ヲ呼ベバ安全燈方ハ其坑夫番號ト同一ナル場所ヨリ安全燈ヲ取出シ之レヲ坑夫ニ渡ストキハ坑夫ハ自己ノ番號ト其安全燈番號トヲ對照シ相違ナキニ於テハ之レヲ携ヘテ坑口ニ至ル。此際ニ當リテハ坑口及ビ坑底口ニ於ケル「バンクスマン」(Banksmen)ハ一々之レヲ手ニシ安全燈ヲ検査シ。萬一不完全ナルモノアルトキハ之ヲ引換セシムル等ノ手續ヲナス。即チ坑外検査ナレバ坑外安全燈室ニ。又タ坑底口検査ナレバ坑内安全燈ステーシヨニ送附シ。之レヲ引換セシムルモノトス。炭坑々内ニハ通常ランプステーシヨノ設ケアリテ安全燈用油ノ補充及ビ消火ニ際シテハ之レヲ再ビ點火スル等ノ扱ヲナス。而テ坑内安全燈室ハ英國鑛業條例ニ依レバ必ず通風坑道ノ坑底附近ニ設備スルヲ要スル規程ナリトス。

坑夫ハ各事業終レバ昇坑ノ際再ビ自己ノ番號ヲ呼ビテ安全燈ヲ坑外安全燈室

ニ返却ス。坑外安全燈室ニ於テハ別ニ坑夫ニ向テ安全燈交附ノ際引替切符等ヲ受授スル等ノ手續ヲナサズ。常ニ安全燈付番號ニ對シ安全燈ノ實際ノ有無ヲ以テ該番號ニ當ル坑夫ノ入坑中及ビ安全燈ノ現在高等ヲ知ルモノトス。以上瓦斯検査。爆裂藥。安全燈等ニ關スル取扱ハ英國炭坑々内ニ於ケル最モ重ナル監督事項ニ屬シ其他ハ別ニ之レヲ記スキモノナシ。

b. 坑外機械其他監督ニ英國炭坑ニ於テハ炭坑鑛業條例中ノ一般規則ニ則リ。特ニ指定セル検査方ニ於テ坑内外ノ機械。捲網。捲揚機。鑽。「ガイドロープ」其他一切ノ坑内外ノ機械ヲ毎日検査シ且ツ毎週一回堅坑ヲ検査シ。之レカ結果ヲ左ノ正式帳簿ニ記入スルモノトス(F號様式)(G號様式)(H號様式)

(F號様式) 坑外機械類検査日報 (但鑛業條例一般規則第五條ニ依ル)

何々炭坑.....

下ニ署名セルモノハ鑛業條例一般規則第五條ニ依リ指名セラレタルモノニシテ上記ノ炭坑ニ於ケル機械ノ外部捲揚機捲網鑽其他本炭坑ニ於ケル坑外ニ於テ實際使用セラル、該設計ヲ精密ニ検査シタル結果拙者ハ下ノ如ク之レヲ證明スル

モノトス

日	時	時	間	檢	查	模	樣	署	名

(G號様式)

坑内機械類検査日報 (但鑛業條例一般規則第五條ニ依ル)

何々炭坑.....

下ニ署名セルモノハ鑛業條例一般規則第五條ニ依リ指名セラレタルモノニシテ上記ノ炭坑ニ於ケル坑内機械類ノ外部堅坑ニ於ケル(ゲージ)用ガイド捲網鑽其他本炭坑ニ於ケル坑内ニ於テ實地ニ使用セラル、該設計ヲ精密ニ検査シタル結果拙者ハ下ノ如ク之レヲ證明スルモノトス

英國炭坑事務取扱概況

日	時	時	間	檢	查	模	樣	署	名

(日號樣式)

堅坑檢査週報 (但鑛業條例一般規則第五條ニ依ル)

何々炭坑.....

下ニ署名セルモノハ鑛業條例一般規則第五條ニ依リ指名セラレタルモノニシテ  
 上記ノ炭坑ニ於ケル勞働者ノ昇降スル堅坑ノ情況ヲ詳細ニ檢査シタル結果拙者  
 ハ下ノ如ク之レヲ證明スルモノトス

日	時	檢	查	模	樣	署	名

--	--	--	--	--	--	--	--

又々通風上ニ關シテハ特ニ注意ヲナシ。通常扇風器室ニ左ノ如キ帳簿ヲ備付  
 ケ之ンガ監督ニ當ル機關方自身每一時間毎ニ之レヲ實地ニ記帳ス(1號樣式)  
 (1號樣式)

扇風機取扱日記

(實例)

Tymawr, Schiele 扇風機

Great Western collieries.

日	附	時	間	晴	雨	計	寒	暖	計	水	柱	機	回	轉	數	蒸	氣	汽	壓	風	天	候	備	考	
	1903																								
	9/22	6, a.m.		29	35		61			2,	80	51			51	105			105	南	東	曇	高	壓	
	"	1, p.m.		29	45		69			2,	80									"	"	"	"	"	

通風量其他ニ關シテハ毎日及び每週之レヲ嚴格ニ記載シテ々々支配人自身之  
ガ監督ヲナス。其實地ニ用ユル様式左ノ如シ(「J」様式(K」様式)

(「J」様式)

通風日記録 (カージツフ、ペツラス)炭坑

日時	通風坑	於坑道ニ於テ	主坑道ニ於テ	備	号
1,902 12/30	北 ノ 交 錯 風 道 第 一 二 三 坑 底 裏 交 錯 風 道	於坑道ニ於テ 立方呎	主坑道ニ於テ 立方呎		
	總計				189,693
	排風坑				900 850 560 920
	總計				194,185

(「K」様式)

通風坑	於坑道ニ於テ 立方呎	主坑道ニ於テ 立方呎	備	号	通風量	
					立方呎	立方呎
北ノ交錯風道	900				29,67	31,81
第一交錯風道	850				13,78	13,78
第二交錯風道	560				29,29	29,29
第三交錯風道	920				4,08	4,08
坑底裏交錯風道					20,20	20,20
總計					2,180	2,180
排風坑					1,020	1,020
總計					29,30	29,30
					3,900	3,900
					21,840	21,840
					30,800	31,81
					20,014	0,7
					12,800	0,42
					3,290	0,73
					8,120	0,103
					31,386	3,112
					298	298
					301,052	301,052

F 圖. 193.80 - 同 F 82  
取算量 193.80 \* = 6 水柱差壓 810

(K 號 樣 式)

通 風 週 間 記 錄

(グレートウエスターン)炭坑 (實例)

一九〇三年九月十八日

通風原働	扇風機	堅坑	ハイチイ <sup>1</sup> 坑(入氣坑)	第二坑 (排氣坑)	チモーフ <sup>1</sup> 坑(排氣坑)	マリタイム <sup>1</sup> 坑(入氣坑)	ペンリウー <sup>1</sup> 坑(排氣坑)
No. 2 坑	シール扇風機, 徑十五呎	水準以上	273.25	273.03	292.74	258.29	395.27
チモーフ坑	同上, 徑同上	大	徑16.00	14.4 × 10.9	16 × 10	14 × 11	徑16
マリタイム坑	ワツドル扇風機, 徑三十呎	面積	201.平方呎	121.平方呎	125.平方呎	121.平方呎	201.平方呎
同水平道	シール扇風機, 徑十五呎	深	1,180.66	1,414.16	1,433	838.66	720.66
ペンリウー坑							

分裂通風道數	坑内各方面名稱	坑道寸法			通風速力 (毎分呎)	通風分量 (毎分毎立方呎)	平均事業			毎分間 扇風機 回轉數	水柱氣壓計			寒 暖 計			晴 雨 計		記 事		
		巾	高	面積			人	馬	每一人ニ 付毎分間 ノ立方呎		扇風機 入氣口	扇風機 排氣口	入 氣 坑		排 氣 坑		排 氣	入 氣 坑		排 氣 坑	
													坑 外	坑 底	坑 外	坑 底		坑 外			坑 底
	6 Ft. Stables	5.0	5.9	29.67	310	9,197		7													
	6 Ft. Dip.	13.2	5.9	92.4	470	43,428															
	Two Fut Nine.	12.0	5.5	65.63	560	36,752															
	East Far End	10.0	7.8	80.43	50	4,021															
	West Rise	12.0	5.3	63.-	330	20,790															
	West Main Dip	12.0	6.0	72.-	340	24,480															
	Middle Range	9.0	5.0	45.-	90	4,050						1,10									
	Eight Thoms	9.0	10.0	90.-	280	25,200															
	Red Coal	5.0	5.0	25.-	100	2,500															
	No. 2 Rise	8.0	6.6	52.-	420	21,840	135	10	161												
	" " Dip	6.6	8.0	52.-	400	20,800	131	7	158												
	Blaumonts Drift	7.0		38.48	510	20,074															
	Tymawr Rise	10.0	6.0	60.-	215	12,900	49	5	263												
	" Dips	6.0	6.6	39.-	250	9,750	73	7	133												
	Lower Four Feet	3.0	5.0	15.-	410	6,150	63	3	97												
	Tymawr East Side	8.2	7.4	52.31	600	31,386	115	13	172												
	5 ft. Stables								25												
	計					301,928	566	77													

備 考 (グレートウエスターン)扇風機回轉數 163.80 水柱氣壓 3.10  
 (チモーフ)同上 163.80 同上 3.3

鑛業代理人署名

總 平 排 風

194,185



（調査） 採炭（心）及煤油（心）  
日八十月式三〇式一

（採炭者）		（採炭人）		（採炭料）	
17,508	82,882	17,508	17,508	17,508	17,508
81	11	11	11	11	11
101,107	101,107	101,107	101,107	101,107	101,107
30,007	88,888	88,888	88,888	88,888	88,888

事	指		指	
	採炭者	採炭人	採炭料	採炭者
17,508	82,882	17,508	17,508	
81	11	11	11	
101,107	101,107	101,107	101,107	
30,007	88,888	88,888	88,888	

採炭人監升業辦

又タ坑内瓦斯ノ關係上。炭坑ニ於テ日々之レヲ明ラカニスルノ必要アルヲ以テ。或ル炭坑ニ於テハ別ニ左ノ如キ氣象上ノ實驗ヲナシ。之レヲ毎日記入シテ支配人ノ一覽ニ供セシムルモノアリ（L 號樣式）

氣象觀測日記

何々炭坑………

日	時	晴雨計		寒暖計		排氣坑ニ於ケル温度	天候及風向ニ關スル模様		署名
		午前	午後	午前	午後		朝	夕	

英國炭坑事務取扱概況

一五三



### 第三編 英國炭坑夫

現今ニ於テハ社會一般ノ勞働者ニ比シ毫モ階級上ノ差違ナキノミナラズ。寧ロ或ル點ニ於テハ他ノ勞働者ヨリ各種ノ舉動一層進歩セルガ如キ觀アル英國炭坑夫ハ。今ヨリ約百年前頃迄ハ猛惡。亂暴ニシテ爲メニ一般社會ヨリ奴隸ノ如ク侮慢セラレタルノ状態ナリキ。即チ一八〇〇年英國ニ於テ創メテ炭坑ニ關シテ一條例發布セラレタリシガ。此法規ハ專ラ炭坑ノ安全上ニ付坑夫ノ取締ヲ目的トシタルモノニシテ。其他ニ炭坑取締ニ關スル條例規則ヲ見ザリシヲ以テ知ル可シ。即其當時英國炭坑夫モ現今日本ノ或ル地方ニ於テ行ハル、ガ如ク。坑内ニ於テハ男。女。小兒混合シ實ニ苛酷。不完全ナル取締ノ下ニ就業シ坑内ハ殆ド驚怖ス可キ一巢穴ニシテ如此キ状態ハ今ヨリ五六十年前ノ當時ニ於ケル迄モ繼續シ坑夫ノ情况依然トシテ改良セラレズ。現ニ一八四二年ノ當時ニ於ケル英國政府炭坑事情取調員ノ報告中ニ當時炭坑婦ノ苦痛ニ付報告シテ曰ク。  
「スコットランド炭坑地方ノ或ル坑内ニ於テハ石炭運搬ハ專ラ婦人ノ從事スル慣習ニシテ。彼等ハ採炭面ヨリ石炭ヲ脊負ヒ以テ階子ヲ攀上リ之レヲ坑外ニ

運搬スルニ當リ。彼等ノ一人ハ自ラ謂ヘラク『嗚呼此ノ仕事ハ實ニ苦痛又タ苦痛ニシテ。妾ハ實ニ最初ニ如此キ石炭運搬仕事ニ從事セシ婦女ヲ怨ム。實ニ彼女ハ其當時石炭運搬ニ際シ自ラ脊骨ヲ折リ。爲メニ其以後何人モ再ビ如此仕事ニ從事セザリシヲ天帝ニ希願ス』ト云ヘリト

如此ク昔時英國炭坑ハ其當時恰モ我日本ノ現況ト大差ナカリシヲ知ル可シ。然リト雖モ後チ一八四二年ニ至リ英國ノ貴族シヤフスベリー(Lord Shaftesbury)氏ノ出テ從來ハ英國石炭鑛業上ニ關シテハ。單ニ坑夫ノ亂暴的舉動ヲ取締ルノ條例之レヲ再言スレバ。單ニ坑夫ニ對スル一方面的取締ノミナリシヲ改良シテ創メテ炭坑内ニ婦人及ビ幼少ナル男兒ヲ使役スル事ヲ禁止スルノ建議ヲナセシヨリ。大ニ英國炭坑夫ノ品格ヲ高ムルニ至レリ。加之ナラズ一八六〇年ニ至リ教育條例發布セラレ。雇主ガ少年者ヲ使役セントスルニ當リテハ本人ノ相當ニ讀書力アルカ又タ十歳ヨリ十二歳ノ間毎週六時間以上確實ニ學校ニ通學シタルノ證明ヲ正當ナル學校教員ヨリ徵スルヲ要ストノ條列出デタリシヨリ。一層坑夫ノ智識ヲ改良進歩セシムルニ至レリ。又タ坑夫ニ於テモ同時ニ坑夫ニ關スル法律。炭坑ノ検査。坑夫ノ負傷辨償等ニ關シテ自己ノ利益ヲ保護スルノ目的ヲ以テ坑

夫同盟組合ヲ起シ之レニ對シ各地方ニ於ケル有識ナル人士協同シテ後援ヲナス等ノ舉ニ出デタルヲ以テ。益々坑夫ノ智識ヲ進歩セシメ社會的階級ヲ高尚ナラシムルニ至レリ。

現今英國炭坑夫ノ現狀ハ到底我國ニ於テ想像ニ及バザル如キ程度ニ進歩シ。之レヲ一個人トシテハ教育。生活ノ情態別ニ他ノ勞働者ト差別ナク。之レヲ團體トシテハ英國各地方ヲ通シテ各強固ナル組合ヲ設ケ。之レガ首領トシテハ各組合毎ニ一、二名ノ國會議員ヲ撰出シ自己ノ權利。義務等ニ關シ正々堂々ト之レヲ議會ニ討議セシメ。且ツ大抵地方ニ於ケル新聞ハ時々坑夫ノ利害ニ關シ之レガ意見ヲ陳述スル等ノ事ヲナシ。又タ各坑夫組合地方トシテハ一定期毎ニ通常炭坑夫行軍(Miners' Demonstration)ト稱シ。其組合ノ實行方針ヲ議決シ且ツ組合炭坑夫ニ向テ各自ノ執ル可キ方法。順序其他ヲ説諭シ。又タ英國全國ヲ通ジテハ年ニ一回宛ノ通常會及ビ時々臨時會ヲ開キ。且ツ時々歐洲大陸及ビ北米合衆國等ニ於ケル坑夫組合團體ト連合協議スル等益々之レガ改良進歩ヲナツ、アリ。其詳細ナル點ハ左ニ順次之レヲ述ブ可シ。

## 第一章 英國炭坑夫同盟組合

## 第一節 炭坑夫組合ノ起原

英國炭坑夫ハ第十八世紀ノ終リ迄ハ一般ニ社會ノ最下級ニ屬シ世人ヨリ普ク奴隸視セラレタルノ情態ヲ以テ仕事ニ従事スルノ止ムヲ得ザル境界ナリシヲ以テ。從テ他ノ勞働者ニ比シ一般ニ智識。品格等ノ點ニ於テ自然退歩セシハ。蓋シ己ムヲ得ザル事實ナリキ。

英國技師「アール、ネルソン、ボイド」氏 (R. Nelson Boyd) ノ説ニ據レバ  
「1710」年ニ發刊セラレタル「名匠器具目錄及ビ價格詳細」(Detailed List and Values of Artificers' Tools) ト稱スル書ニ據レバ其當時英國該勞働者ノ賃金ハ一般ニ政府ノ條例ヲ以テ賃率ヲ規定シ。其條例中ニハ單ニ賃金ニ關スルノミナラズ。大工。左官。牧師。立教式職。誓言者等ノ同盟組合ハ以後之レヲ全廢ス可キモノトス「ト記セリト

是等ノ事實ヨリ推セバ其當時英國ニ於テハ。己ニ或ル種ノ勞働者間ニハ組合的ノモノ成立セシハ疑ヲ容レザル可シト雖モ。然カモ未ダ炭坑夫間ニテ如此キ事

實ナカリキ。之レ蓋シ炭坑夫ハ前述シタルガ如ク其當時一般ニ無智ノ人物多カリシニ基因セルモノナラン乎。

昔時英國炭坑々夫ハ恰モ日本ノ農業雇人ニ對スル年季奉公契約ノ如ク。一般ニ期限ヲ定メテ雇入契約ヲ結ブノ法行ハレタリ。此仕組ハ英國北部炭坑地方ニ於テハ殆ンド近年ニ至ル迄行ハレタル慣習ニシテ。契約ニ依リ坑夫ノ賃金ヲ定メ一定ノ期限内ハ年季雇入契約ヲナセリ。之レ。一三四年ニ於ケル勞働者條例 (Statute of Labourers) ヨリ其習慣ヲ起因セシモノナリ。然ルニ此炭坑夫年季雇入契約法ハ其後坑主及ビ坑夫間ニ於テノ爭論及ビ休業ノ原因トナリ。終ニ一七六五年ニ至リ英國「スコットランド」地方炭坑夫ハ從來該地方ニ於テ行ハレタル十一ヶ月二十五日間ノ年季契約ヲ増シテ十四ヶ月以上ト坑主等ノ變更セシヲ不服トシ終ニ數週間同盟休業ヲナセリ。如此キハ英國炭坑夫ノ炭坑主ニ對シ同盟ヲ以テ反抗的運動ヲ試ミタル創メニシテ。從來ニ於ケル坑夫組合及ビ同盟罷業上ニ付稍々端緒ヲ顯ハシタルモノトスルモ。然カモ其當時ヨリ數十年ノ後迄ハ同盟的團體ノ實地ニ起ラザリシガ。終ニ後チ約半世紀ヲ經タル一八二六年ニ至リ英國炭坑々夫組合ノ元祖ト稱ス可キモノ「ニウカス」<sup>①</sup>市ニ創設セラル、ニ至レ

リ。蓋シ其目的專ラ賃金ノ増額ヲ請求スルニアリタルモ又タ同時ニ坑内ニ於ケル勞働時間ヲ八時間ニ制限スベシトノ所謂八時間勞働問題ヲ己ニ其當時現出シタリシハ一ツノ特筆ス可キ事實ナリトス。

其後一八四二年ニ至リ英國貴族「シャフスブリー」氏 (Lord Shaftesbury) 其當時「アシユリー」氏 (Lord Ashley) ト稱セラレタル人。英國炭坑夫保護的條例即チ坑内ニ於テ男兒。婦女等ヲ使役スルヲ禁ズルノ議ヲ提出シ。爲メニ政府ヨリ炭坑検査委員ヲ撰定シ之レガ取調ノ結果トシテ同氏ノ建議ヲ大體的ニ採用實施セシ以來ハ英國炭坑夫ニ關スル取扱俄カニ一變シ從來迄ハ一般ニ社會ヨリ恰モ奴隸視セラレタル炭坑夫モ稍々其位置ヲ高ムルニ至リタルヲ以テ。坑夫ノ取扱上ニ付坑主ハ從來坑内ニ於テ恰モ日本ニ於テ今日實行セラル、ガ如キ男兒。婦女ノ流汗以テ探炭面ヨリ石炭ヲ引キ出スノ仕事ヲ小馬匹ヲ使役シテ之レニ代ラシムルノ止ムヲ得ザルニ至リタリ。然レドモ此等ノ方法ハ從來ノ慣習ニ比シ反テ經濟的ナル結果ヲ來セシコトヲ坑主ニ於テ發見スルニ至リタルヲ以テ。他ノ炭坑主ニ於テモ終ニ坑内ニ馬匹ヲ使用シ以テ人力ニ代用セシムルニ至レリ。實ニ貴族アシユリー氏ハ英國炭坑夫ノ状態ヲ改良進歩セシメタル開祖ト稱ス可キモノナリ。

前述セシガ如ク坑夫ハ己レ等ノ雇主タル坑主ヨリ獨立ニ政府調査員ヨリ實地勞働者ノ情况ノ取調ヲ受クルニ及ビタルヲ以テ。從來單ニ坑夫側一方ノ取締ノミニ關スル條例ノ下ニテ專ラ坑主ヨリ苛酷扱セラレタルノ反動トシテ終ニ從來受ケタリシ種々ナル炭坑夫ノ苦痛的事實ヲ陳述セリ。即之レガ一例ヲ記セバ坑内ニ於ケル通風ノ不良。坑内ノ不整理等就中從來ノ探炭斤量検査方ニ付一層ノ不平ヲ洩ラシ。坑夫ハ其當時ニ行ハレタル契約探炭ニ對スル改斤法ハ甚ダ不公平ニシテ。坑主ハ石炭ヲ坑外ニ於テ勝手ニ改斤スルニ當リ不正ナル改斤扱ヲナシ以テ其賃金ヲ減少セリトノ自信ヲ起セリ。又タ契約探炭者以外ノ日給坑夫ハ共同シテ一勞働時間内ニ或ル給額ニ對スル各一人ノ勞働高ニ制限ヲ置クノ策ヲ取ルニ至レリ。如此共同の運動ハ實ニ英國炭坑夫間ニ於ケル共同ノ起原ニシテ。其後英國炭坑主及炭坑夫間ニ於テ勞働價值ノ決定上ニ付幾多爭論ノ元素トナリシモノナリ。

此時恰モ英國一般ノ人民ハ漸ク單ニ社會ノ道德。改良上ヨリスルモ炭坑社會ノ人民ヲシテ從來ノ如ク無教育ニ放任スルハ策ノ得タルモノト稱スルヲ得ザルノミナラズ。又タ炭坑夫ノ安全上ニ付注意ヲ必要ナリト認ムルニ至レリ。即チ當

時屢々事實ニ顯ハレタル數多ノ坑内瓦斯發裂ノ如キモ。畢竟坑内監督者ノ無學。不注意ヨリ起リタルモノ多シトハ。當時ニ於ケル調査官ノ意見トナリタル結果。終ニ炭坑支配人ノ如キ重大ナル責任ヲ有スル危險ノ業ニ從事スルモノハ先ヅ其業ニ就ク以前ニ當リ或ル試驗ヲ經テ正當ナル資格ヲ得ルコトハ必要ナリトノ議ヲ生ズルニ至リ。同時ニ炭坑夫ニ於テモ已ニ前述ハ如ク政府調査員ニ對シ炭坑ハ不取締ニ付種々ノ希望ヲ開陳シ得ルノ道ヲ得タルノ際ナルヲ以テ。炭坑夫等ハ各々協同シ以テ各自ノ代表的會議ヲ開キテ。盛ニ之レガ實行ヲ主張スルニ至リ。益々炭坑夫間ノ結合的運動ノ行ハレ爲メニ坑内監督者ニ對スル取締法ノ制定上ニ付大ナル響況ヲ及セリ。如此ク坑内ノ危險ヲ改良。減少セシムルノ希望ハ當時一般ノ炭坑夫ノ結合的運動ノ目的ナリシガ。彼等ノ内チニハ同時ニ往々其目的以外ニ賃金ノ増加運動ヲ試ムルニ至レルノ結果トナリ。後チ一八四八年中ニハスコットランド地方ニ於テハ炭坑夫同盟罷業ヲ生スルニ至リ止ムヲ得ス。終ニアイルランド人ノ數多ヲ炭坑ニ移住セシメタルヨリ。益々坑主及坑夫間ニ混雜ヲ來シ一般ニ之レガ不安ヲ憂ヒ政府ニ於テモ一時ハ該炭坑地方ニ向ケ義勇兵及ビ軍隊ノ一部ヲ駐屯セシメントセルガ如キ情況ニ陥レリ。

其後尙ホ英國炭坑地方ニ於テハ一般ニ坑内ノ變災屢々ナリシヲ以テ。終ニ一八六〇年二月ニ至リ坑山條例及検査法 (Mining Regulation and Inspection Bill) ト稱スル議案ヲ議會ニ提出スルニ至リ。後チ同年八月ニ至リ之レガ實施ヲ見ルニ及ビ一時ハ炭坑夫モ此條例ノ下ニ満足セシモ。坑業ノ進歩スルニ總テ坑内變災モ該條例發布ノ當時ニ待チ設ケタルガ如ク減少セシムルニ至ラザルヲ以テ。終ニ炭坑夫ハ漸ク之レニ不満ヲ抱クニ至リタリ。故ニ炭坑夫ノ巨魁ハ之レニ乘シテ大ニ該條例ノ不完全ナルコトヲ主張シ。各炭坑地方ニ於テ公開的ノ會議及ビ休日。集會等ノ場合ニ際シテハ盛ニ該條例ノ不完全ナルコトヲ發表セルニ至レリ。抑テ其不満足ノ點ト稱スルハ單ニ坑内取締法ノ不完全ナルニ止マラズ。亦タ炭坑賃金支拂ノ長期ニ過ルコト。炭坑交換條例 (Truck Act) 坑主ノ服從セザルコト。坑内勞働時間ノ制限。石炭改斤法ノ不完全等ニシテ之レヲ訴フルノ聲ハ一般ニ英國炭坑各地方ニ傳播シ。終ニ一八六三年ノ秋ニ至リ英國各地炭坑夫代表會議ヲ開カントスルノ舉ニ出デ爲メニ炭坑地方ハ俄ニ會議ノ目的。希望等ヲ陳述セル意見の貼紙ヲ以テ充タサレ炭坑各地方ニ於テハ盛ニ地方集合ヲ開キ各々其利害ヲ討議シタル上更ニ未來ニ於ケル英國全炭坑夫ノ大集會ニ之レヲ提出

セルコトヲ警告セリ。如此キ公會又タハ局部的集會ハ終ニ一般英國内ニ擴張シ從テ自然彼等ノ間ニ先導指揮者ヲ出スニ至リ其結果一八六三年十一月ニ至リ英國リーズ市(Rectis)ニ正式ナル炭坑夫協會ヲ創設シ。會頭。秘書役。財務者等ヲ有シ炭坑夫憂苦ノ目錄其他ヲ記載セル熱心ナル意見書ヲ發布スルニ至レリ。之レ即チ英國炭坑夫協會(The Miners' National Association)ト稱スルモノ、起原ニシテ其目的ハ専ラ炭坑ニ關スル條例。坑内ノ検査。坑内公傷ニ關スル辨償等ニ付坑夫ヲ保護スルニアリタリ。

第二節 炭坑夫同盟組合ノ現在

イ、英國炭坑夫各同盟組合ノ關係。現今英國炭坑夫同盟組合ハ前章述べタル英國炭坑主組合ト相對シ其規模毫モ劣ラザルノミナラズ。一層完全強固ナル組織ヲ有シ恰モ日本全國ノ農工商業ニ關シテハ中央機關タル農商務省アリテ之レヲ總括シ。更ニ之レヲ各府縣ニ區別シ。再ビ之レヲ各郡及ビ各町村ニ分チ之レヲ整理スルガ如ク。

英國炭坑夫同盟組合ニ付テ

全英國各地炭坑夫同盟ノ中央機關トシテハ

英國炭坑夫同盟組合 (Miners' Federation of Great Britain) ト稱スルモノアリ

テ英國各地方炭坑同盟ヲ總括シ之レヲ大別シテ

- 一、[サウス、ウエールス]炭坑夫同盟
- 二、[ミッドランド] 同 上
- 三、[ダービシャーイヤ] 同 上
- 四、[ノッチingham] 同 上

其他七炭坑夫同盟地方ニ區分シ

更ニ之レヲ各炭坑地方ニ分ツ即之レヲ

[サウス、ウエールス]地方ニ例セバ

[ロンダ (Rhonda)] [アバーデヤ] (Aberdare)

[マーサー] (Merthyr) [ポンチブリッド] (Pontypridd) 等ノ同盟地方ニ

區別シ

更ニ之レヲ最後ニ

[ポンチブリッド]地方ニテハ

英國炭坑夫同盟組合



「グレート、ウエスターン」炭坑

「アバシノン」炭坑

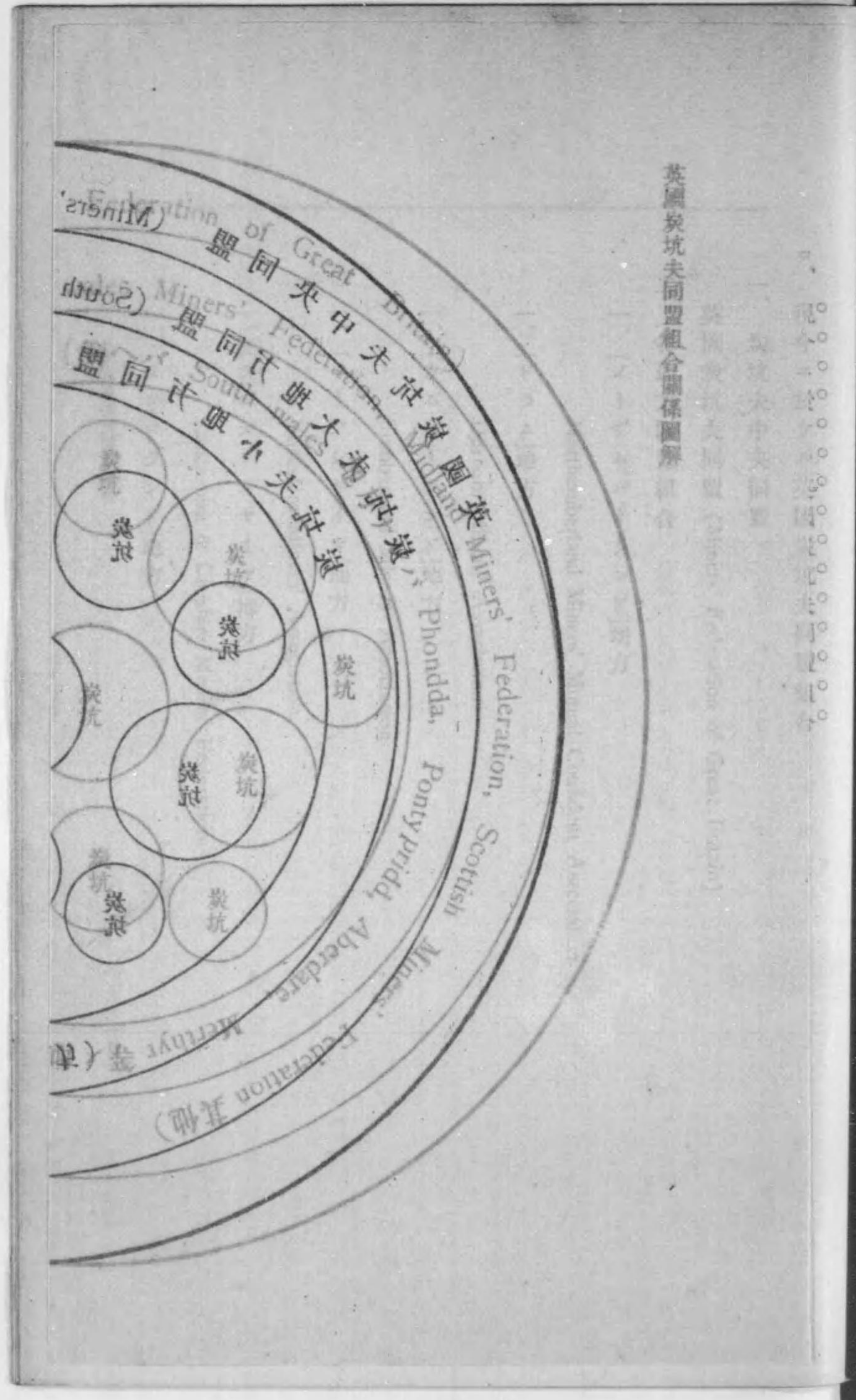
一六八

等ニ細別シ以テ炭坑夫團體ヲ整理監督スルモノトス。  
今マ参考ノ爲メ之レヲ日本炭坑地方ニ從ヒ模例スレバ。

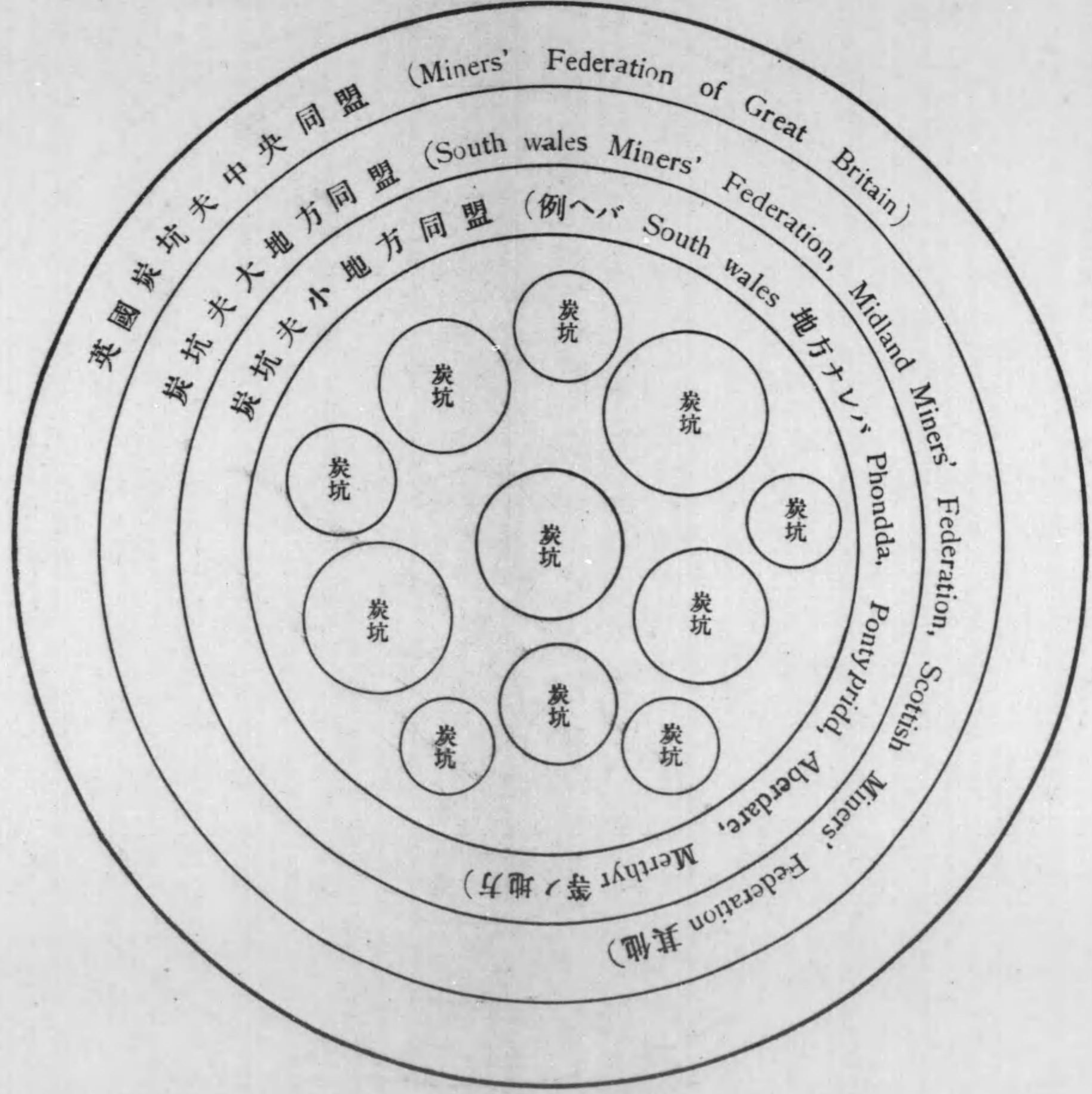
炭坑夫組合中央機關ヲ東京又タハ門司等ノ如キ地方ニ置キ。更ニ之レヲ北海道。磐城。九州。等ノ炭坑地方ノ如ク各同盟組合地方 (Federation) ニ區別シタル上更ラニ九州地方ナレバ筑前。豊後。唐津地方ノ如ク區別シ (District) 更ニ又タ唐津地方ナレバ芳谷炭坑。相知炭坑。牟田龍炭坑ノ如ク小區域ニ區別ス (Lodge) ルモノトス。

而テ中央同盟組合。各地方同盟組合。各炭坑小同盟團體ニハ各々會長。秘書役。管財者。保管人。會計檢査方。團體代表人等ヲ定メ其々同盟組合事務ヲ整理ス。前項大、小各組合ノ關係ハ各炭坑小區域 (Lodge) 即チ或ル炭坑ニ於ケル採炭賃率。坑内外其他ノ出來事ニ關シテハ先ヅ各炭坑ニ於ケル同盟會ニテ之レヲ商議シタル上事宜ニ依リテハ。更ニ之レヲ地方同盟會即チストリクト會ニ提出スルトキハ地方炭坑組合ハ其時々開會セラル、地方炭坑主組合ト協議シ之レヲ處理シ萬一互ニ協議調ハザルトキハ更ニ中央坑夫同盟組合ニ提出スルノ慣習トス。之レヲ略言スレバ英國各炭坑ニ於ケル組合ハ恰モ町村會ニシテ又タ各炭坑地方坑夫同盟組合ハ郡會又タ北海道。九州。唐津等ノ各炭坑地方坑夫同盟會ハ縣會ニシテ更ニ之レヲ總括スルニ中央議會アルガ如キノ制トス。今マ之レガ關係ヲ簡單ニ略圖セバ其大要左ノ如シ。

The right page of the open book is blank, with some extremely faint bleed-through text from the reverse side visible.

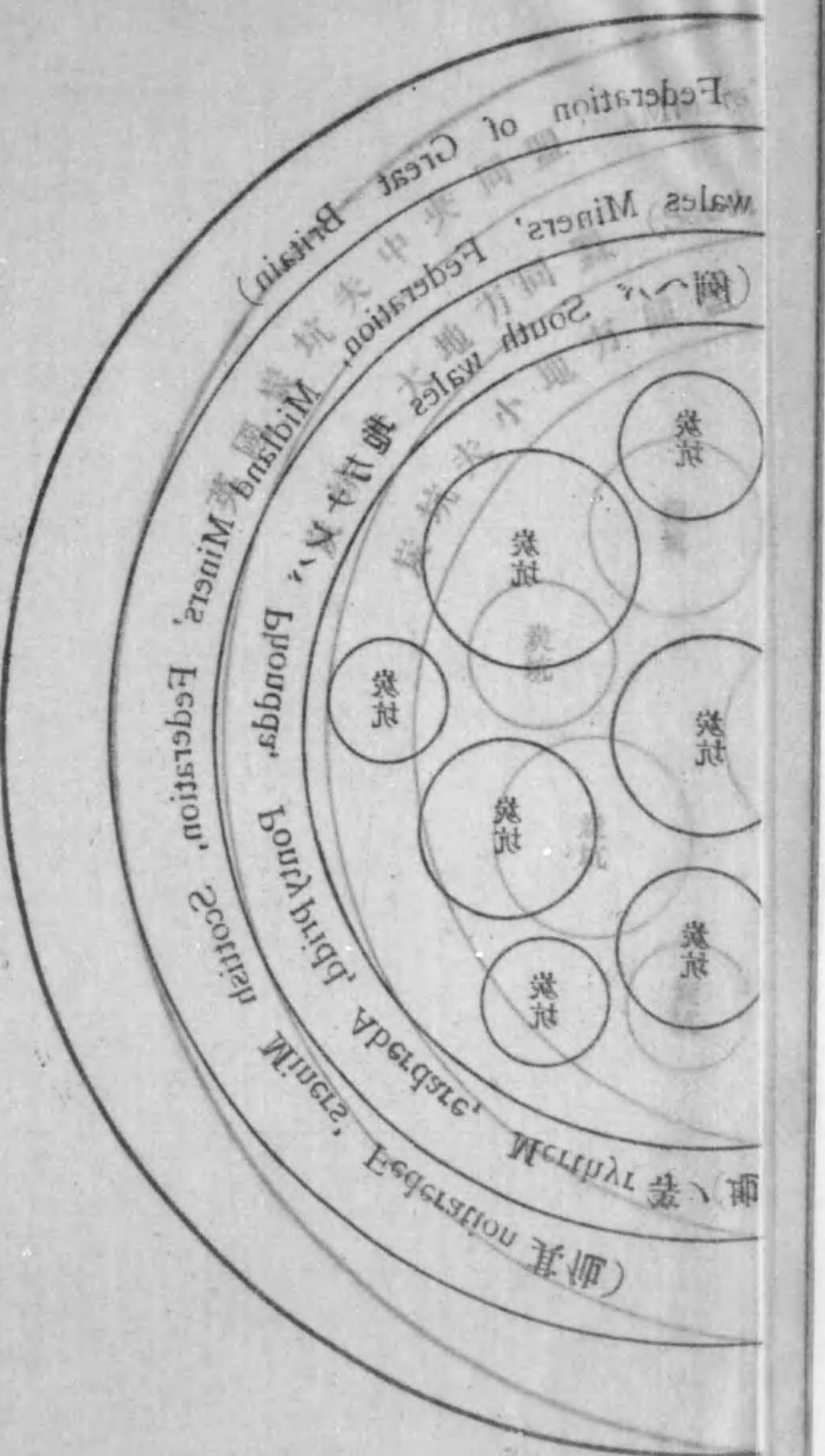


英國大坑夫同盟組合關係圖解



英國炭坑夫同盟組合關係圖解

英國炭坑夫同盟聯合關係圖



ロ、現○今○ニ○於○ケ○ル○英○國○炭○坑○夫○同○盟○組○合

一、炭坑夫中央同盟

英國炭坑夫同盟 (Miners' Federation of Great Britain)

二、各地方同盟組合

一、[ノーザムバールランド]地方

Northumberland Miners' Mutual Confident Association.

一、[ドラム]地方

Durham Miners' Association.

一、[カムバールランド]地方

Cumberland Miners' Association.

一、[ヨークシャイア]地方

Yorkshire Miners' Association.

一、[ランカッシャイア]地方

Lancashire & Cheshire Miners' Federation.

一、[ミッドランド]地方

英國炭坑夫同盟組合

- North Stafford Miners' Federation.  
 Derbyshire Miners' Association.  
 Nottingham Miners' Association.  
 Miners' Protection Society, Branch of the Miners' Federation of Great Britain for  
 Parts of Staffordshire, Worcestershire, and Shropshire Districts.  
 Warwickshire Miners' Association.  
 Forest of Dean miners' Association.  
 Shropshire Miners' Association.  
 Bristol Miners' Association.  
 Somersetshire Miners' Association.  
 一、「ノースウエールズ」地方  
 Denbighshire and Flintshire miners' Federation.  
 一、「サウスウエール」地方  
 South Wales Miners' Federation.  
 Monmouthshire and South Wales Districts Miners' Association.

South Wales Miners' Association.  
 一、「スコットランド」地方

- Fife & Kinross Miners' Association.  
 Ayrshire Miners' Federal Union.  
 Clackmannanshire Miners' Association.  
 Mid. & East Lothian Miners' Association.  
 Scottish Central Miners' Association.  
 West Lothian County Federated Miners' Union.

ハ、探炭夫以外炭坑労働者組合

Northumberland Colliery engine men and Firemen's Mutual Protection Association.  
 Northumberland Colliery Mechanic mutual Protection Association.  
 ニ、炭坑夫同盟組合ノ目的

英國炭坑夫同盟組合ハ中央同盟ノ外カ各地方ニ於ケル同盟組合ハ殆ンド同一目的ヲ有スル組織ナルヲ以テ。左ニ中央同盟。英國「サウスウエールズ」同盟。及ビ中央同盟ニ關係ヲ有セザル所謂ル獨立同盟ノ三種ノ目的ヲ記ス可シ。

a. 英國中央炭坑夫同盟 (Miners' Federation of Great Britain)

一七四

(目的)

- 一、本同盟ニ關スル事務ヲ實施スルガ爲メ必要ナル資金ヲ豫備スルコト。但、同盟團體ノ資金ハ別項ニ掲グル規則ニ從テ之レヲ使用スルモノトス。
- 二、貿易ノ情況。資金問題ヲ討究シ且ツ一般ニ炭坑夫ヲ保護スルノ策ヲ取ルコト。
- 三、本同盟團體ト連絡セル一般炭坑夫ニ響況ヲ有スル鑛業上ノ法制ヲ安全ナラシムルコト。
- 四、貿易、賃金及ビ法制上炭坑夫ニ響況スル問題ヲ處辨スル目的ヲ以テ商議會ヲ召集スルコト。
- 五、總テノ坑山ニ於テ坑内労働者ニ對シテハ一交替時間ハ一日ニ八時間制ノ實行策ヲ取ルコト。
- 六、坑山ニ於テ一回ノ變災ノ爲メ一時ニ三人以上ノ死者ヲ出シタルトキハ之レニ對スル總テノ糾問上ノ處理ヲナシ且ツ之レニ注意ヲ與フルコト。
- 七、一回ノ變災ニ於テ一時ニ三人以上ノ死傷者アルニ際シ地方裁判所ノ判

決ニ對シ、坑夫同盟團體ニ於テ不服。告訴ヲナス場合、又タハ反對ニ坑主ヨリ起訴セラレタル場合ニ於ケル辨償ヲ取得スルコトヲ確實ニスルコト。

八、同盟團體代表ノ國會議員撰擧ニ際シ退院セシ本同盟役員ニ對スル報酬支拂ニ要スル資金ヲ豫備スルコト。

但、別項規則ハ之レヲ略ス。

b. 英國サウスウエールズ炭坑夫同盟 (South Wales Miners' Federation)

(目的)

- 一、別項ニ掲グル本同盟團體ノ事務ヲ實行シ、且ツ別項ノ規則ニ從ヒ、之レヲ使用センガ爲メ入會料。醜出金。賦課。寄贈。罰金等ヲ以テ資金ヲ豫備スルコト。
- 二、貿易、賃金問題ヲ熟議シ、以テ一般炭坑労働者ヲ保護シ。且ツ炭坑労働者及ビ傭主間ニ於ケル關係ヲ調和スルコト。
- 三、本同盟團體關係ノ一般労働者ニ響況スル鑛業法制ヲ安全ナラシムルコト。
- 四、貿易、賃金、法制ノ炭坑労働者ニ響況スル問題ヲ處辨スル爲メ商議會ヲ開

- 五、炭坑ニ於テ一交替ニ勞働時間ヲ八時間ニ減少スルノ法制ヲ確定シ、且ツ通風上止ムヲ得ザル場合ノ外カハ一般ニ普通ニ重交替勞働ノ仕組ニ對シ反抗策ヲ取ルコト。
- 六、坑山ニ於テ一回ノ變災ノ爲メ一時ニ三人以上ノ死者ヲ生ジタル場合ニ際シテ之レガ糾問上ニ付注意シ。及ビ坑内外ニ於ケル災害ヨリ原因セシ負傷ニ對スル辨償ヲ確實ナラシムルコト。
- 七、炭坑主トノ關係上自ラ其衝ニ當リ、停業又ハ同盟罷業セシ同盟會員ヲ扶助スル爲メ相當ノ期間之レニ扶助ヲ與ヘ。且ツ勞働者ノ使役上ニ付不正ナル規則ニ反抗スルコト。
- 八、炭坑ノ賃金支拂室ニ於テ故ナクシテ賃金支拂ヲ停止スルコトヲ防禦スルコト。
- 九、本同盟團體ハ同一主義ヲ有スル他ノ協會ト協力シ、且ツ互ニ懇親ヲ結ブコト。
- 十、坑内外ニ於テ重複請負事業ノ廢棄ヲ法律ニテ確定スルノ策ヲ取ルコト。

十一、一八八七年石炭條例第三十八條即チ自身ニテ炭坑ノ検査ヲ實行スルニ要スル資金ヲ豫備スルコト。

十二、國會其他ノ公共議會ニ於ケル本同盟代表者ノ退職及ビ留任者ニ向テノ費用ヲ支辨スル爲メニ資金ヲ豫備シ。以テ本同盟會員一般ノ幸福ヲ助成スル總テノ建議ヲ直接ニ法律トスルヲ請求スル爲メ代表者ニ請托スルコト。

但、別項規則ハ之レヲ略ス。

「スコットチシユ」中央炭坑夫協會

(但シ本協會ハ英國炭坑夫中央同盟會ニ連合セズ、專ラ「スコットランド」地方中ニテ獨立セルモノトス)

(目的)

- 一、協會員相互援助目的ノ爲メ寄贈、贈金ノ手段ヲ以テ資金ヲ求ムルコト。
- 二、僱主ヨリ不正ナル取扱ヲ受ケタル協會員ヲ保護スルコト。
- 三、特ニ本協會ノ目的ニ適合スルトキハ本協會員ノ幸福ヲ増進セシムルノ目的ヲ以テ他ノ同盟地方又クハ同盟團體ト互ニ連合運動ヲナスコト。

四、炭坑労働時間ヲ一日ニ付八時間ニ減少スルコト。  
 五、本協會員中死者アリタル場合ニ於テハ協會員遺族又タハ其親戚ニ給與金ヲ支給スルコト。

但、別項規則ハ之レヲ略ス。

ホ、英國重ナル炭坑夫同盟組合ノ規模概略。

英國炭坑夫ハ一九〇二年末ニ於テハ約八十一萬人餘ノ多キニ達シ坑内外労働者組合ハ全國ヲ通シテ其數約七十ノ多キアリテ。單ニ坑内夫組合ノミニシテ尙ホ二十五ノ多キニ達ス。而テ各組合ハ前項述べタルガ如キ目的ヲ以テ現今ニ於テハ已ニ非常ニ強固ナル團體ヲ組織シ以テ坑主組合ニ對シ賃金率其他種々ノ問題ニ付常ニ坑主ヲ苦メツ、アリ。左ニ掲グルハ英國坑内夫同盟組合中最モ規模ノ大ナルモノヲ概略表示セシモノナリ。亦タ以テ英國炭坑夫同盟團體ノ如何ニ有カナルカラ推知スルニ難カラザルベシ。次表ハ一九〇一年末ノモノナルガ現今ニ於テハ組合資金ノ如キハ約二倍ニ達ス。

英國ニ於ケル重ナル炭坑々内夫同盟組合規模概況表 一九〇一年末現在

英國ニ於ケル重ナル炭坑々内夫組合	組合員數	組合歳入	組合支出	現在組合資金
Northumberland Miners' Mutual Confident Association.	24,138	15,924	6,312	79,379
Durham Miners' Association.	70,585	97,786	62,854	200,989
Yorkshire Miners' Association.	60,000	89,225	74,909	233,236
Lancashire and Cheshire Miners Federation.	39,763	25,985	17,688	41,936
Derbyshire Miners' Association.	24,826	33,161	9,274	124,204
Nothinghamshire Miners' Association.	20,839	24,805	7,678	88,950
South wales Miners' Federation.	124,097	75,338	47,610	122,577

英國サウスウエールス炭坑夫同盟情況

英國サウスウエールス炭坑夫同盟組合ノ目的ニ付テハ。前項己ニ之レヲ述ベタルガ該同盟ハ現今英國ニ於テ最モ大規模ナルモノニ屬シ。一九〇二年末ニ於ケル同盟坑夫ハ其數實ニ十二萬七千人餘。一ヶ年ノ團體歳入四萬八千磅餘、歳出二萬千磅餘ニシテ同年末ニ於ケル同盟團體ノ資金ハ實ニ十六萬六千磅餘(即之レヲ日本貨幣ニ換算セバ約百六十六萬圓トス)ニシテ之レガ會長トシテハ從來炭坑勞



働ニ實驗アル「ダブリユー、アブラハム」氏一名「マボーン」ノ俗名ヲ有セル(W. Abraham, "Mabon") 坑夫社會ニテ有名ナル國會議員ヲ頂キ。外ニ副議長トシテ「ダブリユー、ブレース」氏(W. Brace)〇 總管財者「アルフレッド、ヲニョーン」(Alfred Onions)〇 總秘書役ニハ「トーマス、リチャード」氏(Thomas Richard)等トシ。又々外カニ同盟團體各地方ヨリ會員二十名ヲ撰出シ各々受持テ地方ノ事務ヲ監督スルモノトス。

「サウス、ウエールス」地方炭坑夫同盟團體ヲ分ツテ二十一地方ニ區別シ(Federated Districts) 更ニ之レヲ三百九十八小區域(Lodge) ニ分チ各小區域即チ炭坑毎ニ各會長其他ノ役員ヲ置キ。以テ地方全體ニ關シテハ一ヶ年一回宛商議會ヲ開キ又々小地方及ビ炭坑ニ於テハ毎月一回會議ヲ開キ之レガ事務ヲ處辨スルノ仕組トス。其他一ヶ年ニ一回宛通常夏季ニハ地方炭坑ヲ通シテ各主要地ニ炭坑夫行軍(Miners' Demonstration)ト稱シ「」ノ地方(District)ヲ一纏トシ以テ炭坑夫ノ大集會ヲナスノ慣習トス。而テ該行軍ニハ「サウス、ウエールス」炭坑夫同盟會々長副會長。英國他地方ニ於ケル有名ナル坑夫同盟團體役員其他小地方炭坑同盟組合員等悉ク出席シ。以テ將來ニ於ケル同盟炭坑夫ノ執ル可キ主義、方針ニ付演說シ、且ツ他ノ外國ニ於ケル炭坑夫ノ情態及ビ同年間ニ於テ他ノ外國同盟組合坑夫團體ニ付

キ實行シタル重ナル連合運動、又々ハ交渉事件等ヲ報告説明ヲナスノ慣習トス。

炭坑夫行軍(Miners' Demonstration)當日ハ一般ニ炭坑地方ノ公休日トシ各同盟炭坑夫ハ各々(District) 毎ニ區別シタル一種ノ同盟徽章ヲ帶ビ以テ老若數千人ノ坑夫各々隊ヲ組ミ樂隊ト共ニ盛々堂々市中ヲ練リ廻リ以テ會場ニ出席スルノ慣習トス。而テ會場ハ通常ハ屋外ノ廣漠タル地ヲ以テ之レニ充ツテ常トスルモ。時ニ雨天等ニ際セバ其土地ニ於ケル寺院。劇場其他ノ大建物ヲ以テ會場ニ充テ總員ヲ數部ニ分チ前述ノ炭坑夫首領等之レニ出席シ以テ坑主ニ對シ同盟坑夫ノ將來ノ方針。覺悟等ニ付演說誘導ス。其規模ノ宏大ナル實ニ本邦ニ於テハ單ニ炭坑社會ニ於テ其例ヲ見ザルノミナラズ。亦々他ノ場合ニ於テモ稀レニ觀ルノ情況ナリトス。

其他同盟坑夫ニ對スル利害及ビ坑夫保護等ニ付テハ通常毎週一回又々ハ二週一回位宛同盟組合副會長「ダブリユー、ブレース」氏(W. Brace)自ラ筆ヲ執リテ地方新聞紙ニ勞働者注意(Workmen's Note)ト稱スル題等ノ下ニ其ノ意見ヲ述ベ且ツ炭坑主同盟ノ方針ニ對シテノ同盟坑夫團體ノ意見ノ如キハ正々堂々ト紙上ヲ以テ討論シ毫モ憚ラザルコト恰モ政府ノ方針ニ對シ各在野黨各々其機關新聞紙上ヲ以

テ其意見ヲ戰ハスガ如ク。流石ハ英國ノ炭坑夫タルニ耻ヂザルノ舉動ニシテ之レヲ本邦ニ於ケル現今ノ炭坑夫ノ情態ニ比スレバ彼我ノ間實ニ雲泥ノ差アリトス。

抑モ炭坑夫ノ同盟組織ニ關スル利害ノ點ニ付テハ世上ノ識者ニ於テ種々ノ意見アル可キハ勿論ニシテ今マ茲ニ輕々タル論ヲナスハ不可ナリト雖モ。然カモ同盟團體ノ結果トシテ一方炭坑主ハ從來炭坑夫ノ勢力薄弱ナリシヨリ出來得ル丈ケ自己ノ利益ヲ貧リツ、アリシモ。炭坑夫同盟團體ノ結果トシテ自然自己ノ利益上ニ或ル度迄ノ制裁ヲ蒙ルニ至ルハ止ムヲ得ザルノ理ナリトス。然ドレモ一方ニ於テハ同盟團體自治的主義ノ結果トシテ坑夫ノ就業、勞働、監理上等ニ付從來ニ比シ一層ノ規律ヲ得テ鑛業上ノ發展、進歩ヲ助クルハ自然ノ勢ナリ。殊ニ團體自治の結果トシテ現今日本炭坑ニ於ケルガ如ク純然タル炭坑事務以外ニ屬シ。然カモ割合ニ多クノ手數ト費用トヲ要スル彼ノ坑夫監督手續ノ如キ所謂炭坑ニ於ケル一種ノ不生産的仕事ヲ省略シ。以テ炭坑事務ヲシテ専ラ生産的ノモノタラシム。其結果トシテ炭坑事務員ヲ割合ニ減少シ以テ經費ヲ省クノ大利益アルハ。之レヲ英國炭坑ニ於ケル現況ニ徴シテ余輩ノ信ジテ疑ハザル處ナリトス。

炭坑夫同盟團體ノ目的ハ坑夫ノ保護上鑛業條例ノ安全。八時間勞働。坑内外死傷ニ關スル注意等種々アリト雖モ。然カモ就中重要ナル目的ハ實ニ賃金問題ニシテ從テ同盟團體ノ平常ニ於ケル重ナル事業ニ屬ス。英國炭坑賃金ニ關シテハ後章ニ於テ之レヲ詳述スルヲ以テ茲ニハ之レガ詳細ニ涉ラズト雖モ「カーデツ」地方炭坑賃金ノ増減ニ關シテハ前項尠シク之レヲ述ベタルガ如ク。從來ハ市場ニ於ケル石炭賣價ノ高低ニ從テ炭坑勞働賃金ヲ増減スル所謂賃金決定連合會(Siding Scale Joint Committee)ト稱スルモノアリテ。坑主及坑夫代表者各十一名宛外カニ各々秘書役一名アリテ互ニ探炭賃率。勞働者賃率等ヲ協議決定シタリシガ。一九〇三年三月三十一日ヨリ之レヲ廢止シ。更ニ「モンモース、シャイヤ」及「サウスウエールズ」石炭貿易協和會(The Board of Conciliation for the Coal Trade of Monmouthshire and South Wales)ト稱スルモノヲ設ケ。坑主及坑夫側ニテ各代表者二十四名秘書役各一名宛ヲ撰定シ其内チヨリ各會長一人宛ヲ撰定シ。更ニ局外ヨリ總議長一人ヲ撰ミ每三ヶ月間ノ賃金率ヲ協議決定スルコトナレリ。

英國「サウス、ウエールズ」炭坑夫同盟團體ハ英國中最モ規模ノ大ナルモノニ屬シ。

一九〇二年末ニ於ケル該同盟團體ノ報告ニ依レバ。同盟坑夫數十二萬七千四百人餘。一ヶ年ノ歳入四萬八千三百九十一磅餘。同年ニ於ケル坑夫ストライキニ向テ救助支出金一萬二千磅餘ニシテ北米合衆國炭坑夫ストライキ及ビ他地方坑夫同盟團體ニ向テノ寄贈金千二百二十磅餘ナリ。其當時現在ノ同盟團體資金ハ實ニ十六萬六千四百二十八磅餘ノ巨額ニ達セルヲ以テ時々炭坑賃金其他ノ問題ノ爲メ地方ニ於ケル二三炭坑ノ全坑夫數ヶ月間ニ亘ル同盟罷業等ヲナスモストライキ中ハ其同盟團體ヨリ其ニ補助金ヲ支給セラル、ヲ以テ。坑夫ハ泰然トシテ其事業ヲ中止シ以テ自己ノ満足ヲ得ル迄坑主ト交渉ヲナスノ情況ナリ。現ニ「カーヂツフ」地方グレート、ウエスターン炭坑ニ於テハ一、二年前ニ於テ同盟ノ一ナル「ハイチー」坑ニ於テ探炭賃率上ニ付坑夫ノ意見相合ハザリシヨリ。終ニ二十ヶ月餘ニ亘ルノ間該坑ニ屬スル全坑夫ストライキヲ繼續セシハ現ニ余輩ノ其當時實地ニ目撃セシ事實ナリトス。又々以テ英國炭坑夫同盟團體ノ勢力ノ如何ヲ推知スルニ足ランカ。

左ニ掲グルハ英國サウス、ウエールズ炭坑夫同盟團體ニ於ケル二、九〇二年末ニ於テノ報告表ナルガ。以テ同地方ニ於ケル炭坑夫同盟團體ノ如何ニ強固ナル組織

ヲ有スルカノ實況ヲ推知スルヲ得。從テ現今ニ於ケル英國炭坑夫同盟機關ノ如何ニ完全強固ナルカヲ知ルヲ得ベシ。

金總金		
金額	項目	備註
100,450.10	資本	
18,370.43	公積金	
47,300.27	留存收益	
33,411.42	其他	
<b>合計</b>		
199,532.22		

金額	項目	備註
131,910.12	現金	
10,518.12	有價證券	
11,390.00	應收帳款	
5,985.27	其他	
<b>合計</b>		
160,803.51		

金額	項目	備註
131,910.12	現金	
10,518.12	有價證券	
11,390.00	應收帳款	
5,985.27	其他	
<b>合計</b>		
160,803.51		

金額	項目	備註
11,390.00	應收帳款	
5,985.27	其他	
<b>合計</b>		
17,375.27		

金額	項目	備註
10,518.12	有價證券	
11,390.00	應收帳款	
5,985.27	其他	
<b>合計</b>		
37,893.39		

中國通商銀行

本行承辦一切銀行業務，如存款、匯兌、放款、貼現等。如有需要，請向本行洽詢。

「サウスウェールズ」炭坑夫同盟

貸借対照表

一九〇二年

歳	入	支拂回数	當年ニ於ケル會員平均數	餘金	「グリダチパ ル」收稅	國會代表 議員資金	合計	歳	出	合計
一九〇一年十二月三十一日現在資金								73,126 11 7		
地方										
1, Rhondda No. 1	13	27,046	8,790 0 0			1,352 10 0		同盟罷業ニ對スル支出金、但 Blaen avon 地方分	945 10 10	
2, Western	13	10,736	3,489 5 0	115 8 6		278 4 0		同 上、" Glyn 炭坑分	361 10 0	
3, Aberdare	13	8,969	2,915 3 4	118 10 10		314 19 7		同 上、" Saundersfoot ノ分	109 13 2	
4, Anthracite	13	8,633	2,805 18 6			186 13 3		同 上、" Llanhilleth 分	722 15 0	
5, Mon. & Western Valleys	13	8,627	2,803 19 0			345 1 11		同 上、" Great Western Hetty 坑分	650 0 0	
6, Pontypridd & Rhondda	13	8,483	2,756 17 5	6 11 0		314 11 6 1/2		同 上、" Rhymney House Coal 炭坑分	8,774 6 1	
7, Taff & Cynon	13	7,721	2,509 8 3			286 9 1		同 上、" 機關方及ヒ火夫ノ分	11 4 0	
8, Rhymney Valley	13	5,659	1,839 2 8	31 15 6		149 8 4		同 上、" Senghenydd 分	6 0 0	
9, Tredegar Valley	13	4,842	1,573 13 9	22 2 9		229 5 0		同 上、" Gwauncaegurwen 分	3 0 0	
10, Enginemen & Stokers	13	4,526	1,471 3 3	29 6 3		126 8 8 1/2		同 上、" Broad Oak 分	400 0 0	
11, Merthyr	13	4,363	1,418 2 1			120 18 5		同 上、" Dunvant & Pencoed 分	59 6 5	
12, Eastern Valley	13	4,255	1,382 16 0	16 16 8		134 17 3		同 上、" Hirwain 分	26 0 0	12,069 5 6
13, Blaina	13	4,249	1,380 18 3			153 7 0		M. F. G. B. = 對スル餘金	1,666 13 4	
14, Maesteg	13	4,066	1,321 11 9			50 0 0		同 上 國會代表收稅	1,250 0 0	2,916 13 4
15, Ebbw Vale	13	3,933	1,278 5 7			179 13 7		米國炭坑夫同盟罷業ニ對スル寄贈金	1,000 0 0	
16, Garw	13	3,528	1,146 11 0	13 0 6		107 16 10		「シアラルター」石炭坑夫同盟罷業ニ對スル寄贈金	50 0 0	
17, Dowlais	13	3,211	1,043 11 6			160 11 0		Penrhyn 石坑夫同盟罷業ニ對スル寄贈金	200 0 0	1,250 0 0
18, East Glamorgan	13	2,133	693 3 5	0 6 0		71 2 3		訴訟費用	2,644 12 1	
19, Blaen Avon	13	1,180	388 12 6			63 5 2		炭坑夫行軍 (Demonstration) 費用	52 4 0	2,696 16 1
								給料、但 統務書役	200 0 0	
								同上、書記	68 0 0	

14, Maesteg	13	4,066	1,321	11	7					50	0	0	「オブラルター」石炭擔夫同盟罷業=對スル寄贈金					50	0	0							
15, Ebbw Vale	13	3,933	1,278	5	7					179	13	7	Penrhyn 石坑夫同盟罷業=對スル寄贈金					200	0	0	1,250	0	0				
16, Garw	13	3,528	1,146	11	0		13	0	6	107	16	10	訴訟費用					2,644	12	1							
17, Dowlais	13	3,211	1,043	11	6					160	11	0	炭坑夫行軍 (Demonstration) 費用					52	4	0	2,696	16	1				
18, East Glamorgan	13	2,133	693	3	5		0	6	0	71	2	3	給料, 但 總秘書役					200	0	0							
19, Blaen Avon	13	1,180	388	12	6					63	5	2	同上, 書記					68	0	0							
20, Gilfach Goch	13	1,018	330	17	3					30	0	0	同上, 出納方					40	0	0							
21, Saundersfoot	13	257	83	12	7					11	17	8	同上, 保管人					10	16	10							
歳入計		127,435	41,422	13	1		353	18	0	4,667	0	746,443	11	8	同上, 會計検査方					11	5	0	330	110			
物品												36	5	9	紛議事件=付キ出席委員及代理者費用					915	4	10					
同盟罷業=對スル支出金償還高												1	0	0	全英國炭坑夫大會及ヒ他地方炭坑及輸出港=於ケル事情調査費用					504	6	0	1,419	10	10		
資金利息												1,910	12	2	印刷、郵税、電報料其他					354	19	10					
															旅費及運賃					501	8	8					
															事務所、會議室、及ヒ委員室借入料					81	0	7					
															速記費用					4	0	16					
															諸税金					53	0	6	994	10	5		
															歳出計									21,676	18	0	
															銀行預金, メトロポリタン銀行					20,975	2	0					
															同上, ロンドン及地方銀行					20,959	5	10					
															同上, ロンドン市及ミッドランド銀行					15,449	6	6					
															同上, キャピタル及ヒカウンチー銀行					15,805	14	6					
															同上, ロイド銀行					20,816	11	6					
															同上, メトロポリタン銀行當座預金					5,835	2	799,841	3	2			
															計									121,518	1	2	
															計										121,518	1	2

概 括

資金總額 但一九〇一年十二月三十一日現在		73,126	11	7	總歳出額		21,676	18	0		
體金		41,422	13	1	總預ケ金		94,006	0	7		
收税		5,020	18	7	當座預金		5,835	2	7		
物品		36	5	9							
同盟罷業=對スル支出金償還高		1	0	0							
利息		1,910	12	2							
		121,518	1	2					121,518	1	2

資金總額

内 譯	中央資金	99,841	3	2
	地方資金	47,206	8	7
	各炭坑區域資金	19,379	4	3
	合計	166,426	16	0

總出納方 Alfred Onions.

總秘書役 Thomas Richards.

前書ノ會計ヲ検査シ之レヲ正確ト相認メ

會計検査方 Wm. Morgan.

同 上 Thomas Lucas.

一九〇三年二月三日

Wm. Morgan  
Thomas Lucas

330 110	230 110	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010
0101010	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010	0101010

第二章 英國炭坑夫救助  
第一節 英國炭坑夫救助協會ノ起原

石炭鑛業ノ發達ト共ニ避ク可ラザルハ炭坑ニ於ケル坑夫ノ災害タルハ茲ニ喋々ヲ要セザル處ニシテ。現ニ英國ニ於テハ、九〇一年中炭坑變災ノ爲メ死去セシ坑夫千一人ニシテ、之レヲ同年中ノ全炭坑夫數及ビ採炭額ニ比較セバ坑夫七百三十三人採炭額二十二萬二千五百噸ニ付各々死者一人ヲ生ズル割合ニシテ決シテ之レヲ等閑ニ附ス可キモノニ非ラザルヲ以テ。政府ニ於テハ夙ニ前項述べタル勞働者辨償條例 (Workmen's Compensation Act) ヲ發布シ炭坑ニ於ケル坑夫ニシテ苟モ坑夫自身ノ怠慢ヨリ原因セザル坑内外ノ災害ニ對シテハ。本人又タハ遺族ニ向テ夫々辨償ノ途ヲ開キアルモ單ニ此條例ノミヲ以テ満足スル能ハザルヲ以テ。現今英國ニ於テハ國內各主要炭坑地ニハ夫々炭坑夫救助協會ノ設ケアルノミナラズ其他各地方ニ於ケル重ナル炭坑ニ於テハ更ニ炭坑毎ニ特別ナル坑夫救助協會ノ設ケアリテ。現今大ニ之レガ實蹟ヲ舉ゲツ、アリ。

英國炭坑夫救助

ランド地方ニ於テ創設セラレタル「ノーザムバーランド」及「ビ」グラム炭坑夫永續救助資金友誼會 (Northumberland and Durham Miners' Permanent Relief Fund Friendly Society) トス。

左ニ尠シク之レガ起原ニ付略述センニ。當時英國炭坑ハ其事業益々發達シ來リタルモ之レガ坑内監督法未ダ比較的發達セザリシヲ以テ坑夫ノ災害ニ罹ル者割合ニ多ク殊ニ一八五六年七月十五日英國「サウスウエールス」Gymer Collieryニ於テ坑内瓦斯爆發ノ爲メ一時ニ死者百十四人ヲ出シ。續テ一八五七年二月十九日「ヨークシャー」地方ノ Lundhill Collieryニ於テ死者百八十九人。一八六〇年「サウスウエールス」[Ries]地方ニ於ケル Black Vein Collieryニ於テ百四十二人ノ死者ヲ出シタル等續々炭坑ニ於ケル大災害ノ起リタルヲ以テ。一般ニ炭坑ノ危險ヲ恐怖シ來リ又タ政府ニ於テモ特ニ其炭坑災害ノ原因其他ヲ調査シタルノ結果重ニ坑内不取締ニ基因セシモノタルヲ認メタルヲ以テ。終ニ一八六〇年二月十四日ニ創メテ鑛業規則及檢査議案 (Mines Regulation and Inspection Bill) ト稱スルモノ英國下院ニ向テ提出セラレ專ラ坑内取締上ノ安全ヲ慮レリト雖モ。其當時未ダ炭坑夫ノ救護策ニ付テハ政府ニ於テモ別ニ之レガ規程ナカリシガ。後チ一八六二年

一月十六日「ニューカッスル」地方ニ於ケル Harley Collieryニ於テ聊筒附屬ノ木柵ノ不意ニ折斷シ坑内ニ落下シ爲メニ堅坑ヲ破壊シ殆ンド坑口ヲ閉鎖セシノ有様トナリ。不幸ニモ其當時ハ未ダ今日ニ於ケルガ如ク英國炭坑ニハ兩坑口ヲ必ズ設備ス可キ條例ナカリシ當時ニシテ。同坑モ當時ハ單坑口ノミナリシヨリ其坑夫二百〇四人ハ爲メニ窒息シテ死スルニ至レリ。實ニ此ノ出來事ハ英國一般人民ヲ驚愕セシメ英國女皇ノ如キモ親シク電報ヲ以テ人命ノ安危ニ付下問セラレタリシ。其後死者坑夫ノ彌々確メラル、ニ至リ女皇自ラ率先シテ變死坑夫ノ遺族。關係者救助ノ目的ヲ以テ醜金ヲナシタルノ情況ナリキ。而テ其後間モナク「ドラム」ノ僧正主トナリ該變死坑夫ノ遺妻。遺子。救助ニ向テ資金ヲ醜出スルノ目的ヲ以テ自ラ「ニューカッスル」市ニ一會合ヲ催シ之レガ組織ニ付協議ヲナシ。終ニ Northumberland and Durham Miners' Permanent Relief Fund Friendly Society ト稱スル坑夫救助會ヲ創立セリ。之レ現今英國ニ於ケル炭坑夫救助會ノ起原ナリ。炭坑毎ノ特別坑夫救助トシテハ同時ニ Hartly Collieryニ於テ該災害後間モナク坑夫救濟會ヲ組織シ自己炭坑ニ於ケル該坑夫ヲ救助セリ。又タ其他ノ地方坑夫救助トシテハ其後一八六九年ニ至リ前述セシ「ニューカッスル」地方ニ鑑ミテ「ノース、ス



タッフオードシャイヤ」ニ炭坑夫救助會ヲ組織シ後テ各地ニ於テ追々之レガ設立ヲナスニ至レリ。實ニ英國政府ニ於テ坑夫ノ救護ニ關シテノ條例ヲ發シタルハ其後三十五年ヲ經テ。漸ク一八九七年ニ至リ勞働者辨償條例ヲ發布シタルヲ以テ始トシ其間ニ於ケル炭坑夫救助トシテハ専ラ前述シタルガ如キ各地方及獨立炭坑ニ於ケル特別救助機關ノミナリシ。

### 第二節 現今ニ於ケル英國炭坑夫救助會

現今英國ニ於ケル炭坑々夫救助會ノ内テ公然登録ヲ了セシモノハ地方大救助會十二。各地炭坑毎ニ獨立セルモノ十四アリ。其詳細左ノ如シ。

(附記各地方炭坑毎ノ救助會ハ公然登録セザルモノ右ノ外カ數多アリトス。

イ、英國主要炭坑地方ニ於ケル炭坑夫救助會

A、現在ノ地方炭坑夫救助會

現今英國ニ於ケル地方炭坑夫救助會ノ重ナルモノニ付設立年、會員數、資金等ノ情況ヲ概括的ニ表示スレバ左ノ如シ。

英國各地方重ナル炭坑夫救助會概況表

一九〇二年現在

救 助 會 名 稱	創立年	會員數	現在資金	歲 入	歲 出
Northumberland and Durham Miners' Permanent Relief Fund Friendly Society.	1,862	147,250	289,965	126,024	113,678
North Staffordshire Coal and Ironstone Workers' Permanent Relief Society.	1,869	6,340	25,469	5,546	4,254
Lancashire and Cheshire Miners' Permanent Relief Society.	1,872	45,792	98,567	49,574	44,907
West Riding of Yorkshire Miners' Permanent Relief Fund.	1,877	26,264	52,173	21,092	19,183
North Wales Miners' Permanent Relief Society.	1,878	12,622	17,813	10,835	11,437
Midland Counties Miners' Permanent Relief Fund Friendly Society.	1,879	9,868	8,534	6,143	5,907
Midland District Miners' Fatal Accident Relief Society.	1,883	31,717	51,785	8,173	4,945
Monmouthshire and South Wales Miners' Permanent Provident Society.	1,881	21,597	214,551	47,421	46,059
Thorncliffe and Rockingham Permanent Relief Society.	1,889	3,689	24,241	5,332	2,573

其他、 Eckington Miners' Permanent Relief Fund Friendly Society, Burnley Miners' Permanent Relief Society,

Wigan and Districts Miners' Permanent Relief Society, 等々

英國炭坑夫救助

B. 英國サウスウエールス炭坑夫救助會概況

一九二

一、九〇三年末ニ於テハサウスウエールス炭坑夫救助會々員ハ。總計一萬八千九百三十三人ニシテ。同年ノ歳入四萬千六百九十五磅餘。歳出四萬三千六百五磅餘ニシテ救助會積立資金二十一萬一千八百九十九磅(即チ假リニ英貨一磅ヲ十圓ト見做セバ金二百一十一萬八千圓餘トス)ニシテ同年間ニ於ケル被救助件數ハ四千八百九十二件。凶災事變四十九件ニシテ。其内チ五十人ノ會員ハ其生命ヲ失ヒタルノ結果トシテ。寡婦三十人。孤兒四十四人ハ同會ノ資金ヨリ救助セラレ。同年末ニ於テハ寡婦八百七十二人。遺子八百八十二人ハ實ニ本會ノ救助ヲ受ケツ、アリ。

該救助會ハ單ニ被變災炭坑夫ニ向テ救助ヲナスニ止マラズ。去ル一、九〇〇年ヨリ會員中ノ最高年齢者ニシテ本會ニ十ヶ年以上入會シタルモノニシテ本會ヨリ他ノ救助ヲ受ケザルモノ百人ヲ限リ老年養老金トシテ毎週五志ヲ給與スルノ舉ニ出デタリシガ。其後此種ノ人員數ヲ増シ現ニ一、九〇三年末ニ於テハ其養老金給與人員ハ三百名ニ達シ尙ホ其人員ヲ増シテ四百人トナスコトヲ決定セリ。豈ニ盛大ナリト謂ハザル可ケンヤ。

C. 英國サウスウエールス炭坑夫救助協會目的及一班

一、救助會設立ノ目的

本會ノ目的ハ通常會員ヨリノ醜金。名譽會員ヨリノ義捐金ニ因リ資金ヲ集メ以テ會員ノ變死セシ場合ニ當テ贈與ヲナシ。又タ會員ニシテ變死ニ非ラザル災難ノ場合ニ於テハ適當ナル救助ヲナシ。會員ノ變死セシ場合ニハ其寡婦、小兒ニ對シ。又タ變死者ノ父。母。兄弟。姉妹。ノ老年ニ達シ(但五十歳以上)又タハ寡婦トナリ疾病、虛弱中ハ其肉體上又タハ精神上ノ如何ヲ問ハズ之レガ救助、扶持ヲナスモノトス。

一、本會資金適用ノ主意

醜金。義捐。寄贈其他ヨリノ金錢ハ本會ノ規則ニ從ヒ本會ノ目的ヲ實施スル爲メ適用セラル可キモノニシテ本會役員及ビ會員ニシテ本會ノ資金ヲ誤用シタルモノハ之レガ辨償ノ責ニ任ジ直ニ本會ヨリ除名セラル可キモノトス。

一、通常會員

何人ト雖モ本會名譽會員タル鑛主ノ所有セル炭坑又タハ他ノ鑛山地方ニ被雇セラル、モノハ通常會員トシテ入會スルヲ得ル資格ヲ有シ。後項ニ規定セラ、醜金ヲナスモノハ通常會員トシテ本會ノ恩惠ニ預カルヲ得ルモノトス。

一、名譽會員

炭坑主又タハ坑山貸主ニ非ラザル人ニシテ本會維持ノ爲メ毎年一磅ヨリ少ナカラズ又タ終身義捐金トシテ十磅ヨリ少ナカラズ。總テノ坑主ニシテ自己ノ坑山ニ使役スル通常會員ヨリ支拂ハル、本會々費ノ百分ノ二十五ヲ出金スルモノ及ビ坑山貸主ニシテ本會ノ資金ニ向テ出金セルモノハ名譽會員タルヲ得ルモノトス。

但シ名譽會員ハ本會ノ資金ヨリ何タル扶持及ビ利益ノ請求ヲナス權利ナキモノトス。

一、地方支會ノ組織

本會ニ加入セル各炭坑及坑山ニ於テハ各々地方支會ヲ設立スルヲ得ルノミナラズ。便宜ニ依リテハ二箇以上ノ炭坑又タハ坑山連合シテ一箇ノ支會ヲ設立スルヲ得ルモノトス。

一、醜金

通常會員ハ其所屬ノ地方支會秘書役ニ向テ毎週三ペンス二分ノ一ヲ支出スルモノトス。

一、恩惠

a. 負傷

本會々員ニシテ炭坑又タハ他ノ坑山ニ於ケル事業上ヨリ起リタル災難ヨリ休業セルトキハ負傷會員トシテ承認セラレ可キ權利アルモノトス。

前項ノ負傷承認ヲ求メント欲スル會員ハ自己ノ治療ニ従事スル醫師ノ證明書ヲ徴シ之レニ本會ニ於テ必要トスル他ノ證明書ヲ添へ災難發生當日ヨリ三日以内ニ地方支會秘書役ニ提出スルトキハ。本會地方委員及ビ總秘書役ノ承認ヲ得タル後チ地方支會秘書役ハ本會資金中ヨリ該會員ノ災難當日ヨリ六週間以内ハ毎週六志宛以後ハ毎週八志宛ヲ支給スルモノトス。

但シ本會ノ協議會ハ本會ニ對スル未來ニ於ケル總テノ要求ヲ絶ツ爲メ負傷會員ニ向テ或ル一定ノ金額ヲ一時ニ支給スルヲ得ルノ權アルモノトス。

b. 變死

會員ノ變死ニ付承認ヲ求メント欲スル者ハ變災當日ヨリ一ヶ月以内ニ本會ニ於テ定メタル書式ニ從ヒ地方支會秘書役ニ之レガ請求ヲナスヲ要ス。然ルトキハ該秘書役ハ本會協議會ノ必要ト認ムル他ノ證明ト共ニ之レヲ總秘

書役ニ送附ス。而テ總秘書役ニ於テ之レヲ正當ト認ムルトキハ直ニ之レニ對スル支拂ノ承認又ハ實地支拂ヲナスモノトス。

c. 寡婦及特別扶持

本會員ニシテ災難ノ爲メ生命ヲ失ヒタルトキハ葬式料トシテ英貨五磅ヲ給與ス。而テ該會員ニシテ未婚者ナルトキハ更ニ英貨十五磅ヲ増給ス。又タ已婚者ナルトキハ其寡婦ニ對シテハ該寡婦ノ貞節ヲ繼續シ寡婦ノ將來相當ナル財産ヲ有シ自身ヲ處理スルニ十分ナリト本會ニ於テ認ムル迄デ前項ノ給與ヲ繼續スルモノトス。

d. 小兒ニ對スル給養

已婚男性會員又タハ或ル寡婦會員ノ各小兒ハ災難ヨリ其父母生命ヲ失ヒタルトキハ本會資金中ヨリ每週ニ付二志六片ノ救助ヲ受クルモノトス。會員ニシテ變死ノ際寡婦又タハ鰥夫ヲ殘サバルトキ又タハ寡婦ニシテ本會資金中ヨリノ救助ニ據リ其小兒ヲ生活セシムル場合ニ際シ死去セシトキハ該小兒ヲ養育ス可キ人ニ向テ本會ノ見込ニ依リ扶持ヲ給シ且ツ該小兒ノ本會ヨリ給與ヲ必要トスル期間ハ外ニ每週第一子ニハ二志以內。第二子ニハ

一志六片。第三子ニハ一志六片ヲ救助ス尤モ何タル場合ニ於テモ其小兒ノ數ニ係ラズ每週五志ヲ超ユル可カラザルモノトス。

但シ此ノ救助ハ小兒ノ十三歳ニ達スルニ及ンデ停止スルモノトス。

e. 負傷者ノ寡婦其他ニ對スル扶持

負傷者トシテ本會ヨリ扶持ヲ受ケツ、アル會員ニシテ其負傷當時ノ原因ヨリシテ死去シタルニ當リ寡婦小兒ヲ殘存シタルトキハ前項c及ビd項ニ依リ之レガ每週ノ救助ヲナスモノトス。

便宜ノ爲メ本會ニ於ケル釀金及扶持料割合ヲ表示スレバ左ノ如シ。

一、釀金

每週釀金

三三ペンス二分ノ一

一、扶持料

イ、變死

一、變死會員ニシテ別ニ養育ス可キ關係者ヲ殘サバルトキハ。

二十磅

一、同上養育ス可キ關係者ヲ殘シタルトキハ

葬式料

寡婦手當每週

十三歳以下ノ小兒一人ニ付手當每週

ロ、負傷

一、負傷當日ヨリ六週間ハ手當每週

一、以後ハ手當每週

D、「フーザンムバールランド」及「ドラム」炭坑夫救助協會概況

一、會員ハ出金ニ寡婦遺子永久的不具者ニ向テノ資金トシテ毎二週間ニ付三ペンス小出來事災難ニ對シ二ペンス七分ノ二、養老資金トシテ三ペンス監督費トシテ七分ノ五ペンス即チ合計シテ會員出金額毎二週間ニ八ペンストス。十八歳以上ハ全會員トシ其以下ハ半會員トス全會員ハ會費ノ全額又タ半會員ハ半額ヲ支出スルモノトス。

一、救助割合ニ生命ヲ失フニ至ラザル會員ノ災難者ニハ二十六週間ハ每週五志以後ハ每週八志ノ割合ヲ以テ救助ス。但半會員ハ其半額トス。

生命ヲ失ヒタル場合ニハ已婚者ニハ五磅未婚者ニハ二十三磅(但半會員ノ未婚者ニハ十二磅トス)ヲ救助ス。

變死シタル會員ノ寡婦ニハ每週五志孤兒ニハ十三歳ニ達スル迄テ每週二志孤女兒ニハ十四歳迄每週二志ノ割ヲ以テ救助ス。

但寡婦ノ生存セザルトキハ前述二志ノ外カニ後見人ニ對シ每週一志六片ヲ増與ス。

老年及ビ衰弱者ニシテ六十年以上ノモノニ對シテハ每週四志ヲ救助ス。

一、老年坑夫ニ對スル收養家屋ニ老年坑夫ノ給養ニ付テハ本會ノ資金及ビ坑夫關係者其他ヨリノ寄附金ヲ以テ數軒ノ家屋ヲ建設セルヲ以テ之レニ收養スルモノトス。

一、小災難ニハ八九〇年ヨリ一八九六年迄ノ統計ノ結果ハ坑夫ノ小災難ノ平均繼續期限(但二十六週間以下ノ出來事トス)ハ三週間四分ノ三ノ割合ニシテ小災難ニ罹リタル人員ハ會員千人ニ付一ヶ年百四十二人ノ割トス又タ使用坑夫千人ニ付小災難ノ爲メ坑主ニ對シ關係ヲ及セシ休業時日ハ三百二十週間トス。

一、大災難ニハ二十六週間以上ノ災難ニ對スル平均繼續期限ハ五週間ト五分ノ一

ノ割ニシテ一ヶ年間ニ於ケル大災難ニ對シ救助ノ會員ハ千人ニ付一人八二ノ割合ニ當レリ。

左ニ掲グルハ本炭坑救助協會ニ於テ會員千人ニ對シ各種ノ費用ヲ統計シタルモノトス聊カ參考トシテ之レヲ掲グ。

「ノーザムバーランド」及「ダラム」炭坑夫永久救助資金

自一九〇七年六月三十一日現在ニ於テ會員一千人ニ付本會ニ對スル費用ヲ示ス

各年十二月三十一日現在	總會員數	變		死	負	傷	老弱者ニ對スル費	監督費		會員一千人ニ對スル本會總費用
		會員一千人ニ對スル變死數	會員一千人ニ對スル變死數					地	方	
1,897	124,920	1.6	185.5	122.7	142.9	289.14	64.1	20.3	824.64	
1,898	127,564	1.24	182.3	125.3	136.4	297.8	65.8	16.9	824.50	
1,899	130,552	1.5	182.8	125.9	130.5	303.8	65.39	16.9	825.29	
1,900	137,073	1.44	176.5	117.9	119.06	289.07	63.8	17.5	783.83	
1,901	142,002	2.25	170.15	110.84	117.74	281.63	62.93	15.6	758.89	
1,902	147,259	1.19	162.22	114.4	131.6	284.27	62.15	17.3	771.95	
計	809,370	8.225	1059.47	717.04	778.2	1,745.71	384.17	104.7	4,789.10	
一ヶ年平均	134,895	1.37	176.58	119.5	129.7	290.95	64.03	17.4	798.18	

ロ、英國重ナル炭坑ニ於ケル獨立ノ坑夫救助會

A、現在ノ重ナル獨立ノ坑夫救助會

一、八六二年英國「ハートリ」炭坑 (Hatley Colliery) ニ於テ未曾有ナル變災後坑夫救助ノ爲メ同坑ニ於テ坑夫救助會ヲ組織シ同時ニ地方ノ救助會ヲ創設スルニ至リ。後チ續々英國各地方ニ於テ之レニ從フテ現今英國ニ於テハ各炭坑地方ニ於テハ地方炭坑夫救助會ノ外カニ各炭坑獨立シテ別ニ救助ノ機關ヲ組織シ。其數實ニ枚舉ニ遑アラズト雖モ今其重ナルモノヲ概括的ニ示セバ左ノ如シ。

英國重ナル炭坑ニ於ケル坑夫救助會

炭坑名	設立年	資	炭坑名	設立年	資	金
Hartley	1,862	81,000	Moria	1,890	17,757	
Oaks	1,866	74,204	Great Western	1,879	9,343	
Talk-o'-the-Hill	1,866	16,761	Thornhill	1,893	35,816	
Fendale	1,867	17,754	Park Slipp	1,893	16,406	
Swaithe Main	1,875	10,003	Albion	1,894	24,087	
Blantyre	1,877	48,000	Andley	1,895	14,926	
Haydock	1,878	25,585	Tylorstown	1,896	4,000	
Abercarne	1,878	60,000	Micklefield	1,896	20,000	
Risca	1,880	12,669				
Seaham	1,880	10,000				
Pennygraig	1,880	6,295				
Clifton Hall	1,885	27,512				
Llanerch	1,890	29,791				

英國炭坑夫救助

其他重ナルモノ

1101

- Pinxton Collieries Sick & Accident Club.
- Butterley Colliery Workmen's Sick & Accident Club.
- Celynen Collieries Workmen's Sick & Funeral Fund.
- Rhymney Collieries' Sick & Funeral Fund.
- Cannock & Rugelly Colliery Mutual Accident Fund.
- West Cannock Colliery Mutual Accident Fund.
- Cannock Chase Colliery Mutual Accident Fund.
- Aberaman Colliery Friendly Society.
- Merthyr Vale Colliery Working Men's Sick & Accident Fund Friendly Society.
- Lewis Merthyr Navigation Collieries Workmen's Sick, Accident & Funeral Fund.
- Llanbradack Colliery Sick Benefit Society.
- Gwaun-Cae Gurwen Colliery Working Men's Sick, Accident & Funeral Fund.
- Maerdy Colliery Friendly Society. 等トス。
- B. 「カーデップ」地方「グレートウエスタウン」炭坑 (Great Western Colliery) 疾病及

恩惠資金會

今マ「カーデップ」地方ニ於ケル重ナル炭坑ノ一ナル「グレートウエスタウン」炭坑ニ於ケル實例ニ付之レヲ記ス可シ。  
一、八七八年九月十一日「カーデップ」地方ナル Aber Carn Colliery ニ於テ從來未曾有ナル坑内變災アリテ一時ニ坑夫二百六十八人ノ死者ヲ出シ續テ一八七九年一月十三日ニ「グレートウエスタウン」炭坑附近ナル「デナス」炭坑 (Dinas Colliery) ニ於テ死者八十四人ヲ出シタル等ノ變災アリタルヲ以テ「グレートウエスタウン」炭坑ニ於テハ一八七九年四月九日ニ坑夫救助會ヲ創立セリ。其後一八九二年八月十二日ニ至リ終ニ同炭坑ニ於テモ坑内瓦斯發生シ即死五十八名ヲ生ジ其結果寡婦二十二人孤兒六十四人ヲ殘シ變災當時ヨリ一九〇三年末ニ至ル迄デ其救助トシテ七千五十磅餘ノ救助ヲナセリ。  
一、九〇三年末ニ於ケル同救助會ノ資金ハ四千二百四十二磅餘。寡婦七人。孤兒十五人ニシテ其救助トシテ毎週約六磅餘ヲ支給セリ。之レニ他種ノ救助ヲ加フレバ同會一ケ年間救助ハ三百七十九磅餘ニ當レリ。  
左ニ掲グルハ「グレートウエスタウン」炭坑ニ於ケル疾病救助基金規則トス。

一、グレートウエスタン炭坑ニ雇傭セラル、各勞働者ハ各自ノ疾病及災難ノ場合ニ於テ互ニ扶助上適當ナル資金ヲ設クルノ目的ヲ以テ每週英貨三三ペンスノ醜金ヲナスモノトス。

但該醜金ハ二週間勘定毎ニ之レヲ炭坑事務所ニ於テ引去リ置クモノトス。

二、本會資金ノ處理ハ十人ノ委員ニ一任シ該委員ハ每三ヶ月ニ一回又ハ必要ノ場合ニハ臨時ニ集會ヲ催スモノトス。委員ノ内チ五人ハ每六ヶ月毎ニ一度退任シ同時ニ總會ヲ開キ之レガ補缺撰擧ヲナシ且ツ當期間ノ會計検査報告ヲナスモノトス。

三、會頭。保管人。出納方及秘書役ハ本會處理委員ノ一部タル可キモノトス。

四、會員ニシテ左ノ規定ニ從ヒ出金ヲナシタルモノハ本會ノ資金ヲ以テ扶助セラル、權利ヲ與ヘラル、モノトス。

一、年齡四十歳以下ハ二十四週間ノ醜金後

一、同四十歳ヨリ四十五歳迄ハ三十週間ノ醜金後

一、同四十五歳以上ハ三十六週間ノ醜金後

五、會員ニシテ疾病又タハ災難ノ爲メ救助ヲ要求セントスル場合ニハ其事故ノ起リタル當時ヨリ三日以内ニ疾病監督人ニ届出ヅルモノトス。若シ會員ニシテ前項ノ届出ヲ怠リシモノハ其事故ニ罹リタル日數ノ如何ニ係ラズ之レガ届出ヲナシタル日ヨリ逆リテ單ニ三日間ノ救助ニ預ルノ權利ヲ有スルモノトス。

六、救助ヲ受クル會員ニシテ其事故ノ止ミ再ビ就業セント欲スルニ當リテハ豫メ疾病監督人ニ之レヲ通報スルヲ要ス然ラザレバ疾病救助金ノ三日分ヲ沒收セラル、モノトス。

七、三日以内ノ事故時日ニ對シテハ何タル救助ヲモナサザルモノトス。

八、會員ニシテ疾病又タハ負傷セシ場合ニハ六ヶ月間ハ每週五志ヲ受取り以後ノ六ヶ月間ハ每週二志宛ニ減額シ尙ホ引續キ其事故ノ繼續スルトキハ以後尙ホ每週一志ノ減額ヲナス。總テノ會員ハ本會ヨリ救助ヲ受クル間ト雖モ恰モ平常就業中ノ如ク本會ニ向テ醜金ヲナスヲ要ス。

九、會員ニシテ或ル時期ノ間本會ヨリ救助ヲ受ケタル後チ一旦其救助ヲ中止シ更ニ救助中止ノ時ヨリ二十六週間前ニ再ビ救助ヲ受クル場合ニハ最初救



助ヲ受ケタル時日ハ最後ノ時日ト之レヲ合シ二十六週間トスルヲ要ス。

十、本會ニ加入セシ人ニシテ其入會前又タ入會ノ當時ニ於テ或ル永久の疾病ニ罹リタルノ原因ヨリシテ其被雇上ニ付不適當ナル事故ヲ生ジタルトキハ本會ヨリ疾病救助ヲ受クルコトヲ得ズ。

十一、會員及其妻ノ死去セシトキハ葬式費用トシテ各六磅ヲ本會ヨリ給與セラル、モノトス。

十二、醫師ノ證明アルニ非ラザレバ何タル救助ヲモナサザルモノトス。

十三、本會ヨリ疾病救助ヲ受クル會員ニシテ酩酊又タハ其他ノ不品行ナルコトヲ發見セラレタルトキハ初犯ニハ五志ノ罰金ニ處シ。再犯之レヲ犯ストキハ其事柄ハ直ニ處理委員ノ審議ニ附シ事件ノ事情及性質ニ從テ罰金ニ處スルモノトス。而テ或ル會員ニシテ自己ノ不品行ヨリ原因シテ疾病、災難ニ屢々罹リタルトキハ本會資金中ヨリ何タル扶助ヲ受クル能ハザルモノトス。

十四、本會員ニシテ本會ヨリ疾病救助ヲ受ケツ、アル間自己ノ健康上轉地ヲ必要トスルトキハ診察醫ノ證明及本會委員ノ承諾アルトキハ之レヲ實行スルハ自由タルモノトス。然ラザレバ自己ヲ不在中ニ於ケル總テノ請求權利

ハ消滅スルモノトス。

十五、會員ニシテ一旦其業ヲ罷メタルモノト雖モ其就業當時ノ如ク同一ナル醜金ヲナストキハ本會員トシテ繼續スルヲ得ルモノトス。

十六、死去會員ノ寡婦ハ毎週六(ペン)宛十二週間醜金ヲナストキハ自己ノ葬式費用ノ救助ニ預ルヲ得ルモノトス。

十七、各會員ハ從來ノ就業地以外ニ被雇セラレ、前ニ當リテ本會員タルノ資格ヲ繼續セントスルトキハ之レヲ秘書役ニ通報ス可キモノトス。然ラザレバ其會員ハ本會ヨリ脱シタルモノト見做シ後來本會資金ヨリ何タル請求ヲナスコトヲ得ザルモノトス。

十八、會員ニシテ四週毎ニ自己ノ醜金義務ヲ果サザルモノハ本會ヨリ脱會セラレ、モノトス。

十九、或ル會員ニシテ本會ヨリ救助ヲ受クルノ間午後九時後ニ自己ノ家屋ニ居ラザルモノハ二志六(ペン)ノ罰金ニ處セラレ、モノトス。

二十、疾病監督人ハ本會處理委員ノ指揮ニ從テ其職務ヲ實行スルヲ要ス。

二十一、本會處理委員ハ各協議會ニ出席スルヲ以テ義務トス可シ但シ委員定

員ハ五名トス。

二十二、 離金及救助金取扱時間ハ毎二週間ニ一回トシテ午後七時半ヨリ十時迄トス。

二十三、 特ニ本會規則變更ノ目的ヲ以テ開カレタル會議ニ於テ會員ノ過半數以上ノ承諾アルニ非ザレバ本會規則ノ制定、變更ヲナス事能ハザルモノトス。

署 名

John Williams, 會長

John Davies, 副會長

John Thomas, 出納役

David Thomas, 秘書役

### 第三節 英國勞働者辨償條例 (Workmen's Compensation Act)

現今英國ニ於ケル炭坑夫救助法トシテハ、第一、各炭坑ニ於ケル獨立の救助會。

第二、炭坑地方ニ於ケル坑夫救助協會。第三、政府ノ勞働者辨償條例ニ據ルノ三種ノ救助機關アリテ。其ノ内チ第一、及び第二ニ就テハ前項己ニ之レヲ略述セシヲ

以テ左ニ第三ノ英國炭坑々夫ノ坑内、外ニ於ケル正當ナル公傷上ニ付當然坑主ニ向テ坑夫ヨリ辨償ヲ請求スル權利ヲ規程セラレタル所謂ル勞働者辨償條例ニ付尠シク之レヲ述ブ可シ。

英國各種勞働者ノ内チ鐵道。製造所。坑山。石坑。機械工場。建築。農業等ニ從事セル勞働者ノ災難ニ罹リタル場合ニハ夫々前述ノ勞働者辨償條例ニ照シ勞働者ニ向テ損害辨償及ビ遺族扶助料ヲ雇主ヨリ支給スルモノニシテ。英國炭坑ニ於テハ常ニ之レガ實地適用ノ場合多クシテ炭坑勞働者ハ其辨償ニ關スル權利ニ向テハ毫モ讓ル處ナク。時々辨償上ニ付坑主及ビ勞働者ノ間ニ於テ意見ノ合ハザルニ於テハ互ニ法廷ニ向テ之レガ判決ヲ仰ギツ、アルハ現今英國ニ於テハ通常ノ慣習ニシテ炭坑勞働者ハ他種ノ勞働者中獨リ製造所勞働者ノ自己ノ辨償請求ニ付法廷ニ向テ訴訟ヲナス數ヲ除クノ外カハ。其件數及ビ辨償額トモ遙ニ他種ノ勞働者ニ超過スルノ實況ニシテ現ニ一九〇一年英國ニ於テ雇主。被雇者間ニ於テ被害辨償上ニ付互ニ示談調ハズシテ終ニ勞働者辨償條例ニ據リ法廷ノ判決ヲ仰ギ以テ之レガ結末ヲ告ゲタリシハ

製造所勞働者ノ分

千二百二十三件

英國炭坑夫救助

鐵道	同	上	二百件
坑山	同	上	四百十五件

ニシテ其辨償金額ハ

製造所労働者ニ對シ	二萬千六百十五磅		
鐵道	同	上	一萬四百三十七磅
坑山	同	上	二萬七千八百八十四磅

ナリ坑山労働者ハ他種労働者ニ比シ其事業ノ性質上ヨリ就業上ノ危険割合多キハ疑フ可ラザルモノナリト雖モ亦タ以テ如何ニ現今英國炭坑労働者ガ辨償條例ニ據リ救助セラレツ、アルカノ實況ヲ推知スルニ足ラン。

英國労働者辨償條例ハ單ニ炭坑ニ於ケル坑夫。職工等ノ労働者ニ向テノミ適用セラル、ノミナラズ炭坑ニ於ケル書記。役員。助手。見習員等ニ向テモ被害ノ辨償上ニ適用セラル、モノタルハ日本ノ鑛業警察手續ト尠シク相違セル處ナリトス。

參考ノ爲メ現今英國労働者辨償條例中罹災者ニ對スル辨償標準ヲ摘記スレバ左ノ如シ。

a. 損傷ノ原因ヨリ死没セシニ當リ

(1) 該被害労働者ニシテ其當時自己ノ收得ニ據リテ全ク衣食スル家族ヲ殘存シタルトキハ被害前三ケ年間ニ於ケル收得額ニ等シキ金額カ又タハ英貨百五十磅以上三百磅以内ノ金額ヲ給ス。但シ被害者滿三ケ年以内ノ被雇者ナルトキハ前項金額ハ其労働者毎週收得額ノ百五十六倍ヲ以テ之レヲ計算スルモノトス。

(2) 被害者若シ全ク自己ノ收得ニ衣食スル家族ヲ殘存セザルモ一部ハ被害者ノ收得ニ據ルモノヲ殘セシトキハ。(1)項ヨリ多カラザル額ヲ給ス而テ其給額ニ付互ニ其意見ノ合ハザルトキハ協議會ヲ開キ以テ。(1)項ノ比例ニ準シテ之レヲ決定スルモノトス。

(3) 被害者若シ自己ノ收得ニ衣食スル家族ヲ毫モ殘サザルトキハ相當ナル醫藥料及ビ葬式料ヲ給ス。但此場合ニ於テハ英貨十磅ヲ超過セザルモノトス

b. 労働者被害ノ爲メ全ク又タハ一部分已レノ業務ニ從事スルニ堪ヘザルニ至リタルトキハ其間ハ被害當時ヨリ前十二ケ月間ニ於ケル平均毎週收得ノ五割以内ノ給與ヲナシ。又タ被雇十二ケ月以内ナルトキハ其被雇期間ノ收得平均

ヲ以テ之レヲ定ムルモノトス。

二二二

### 第三章 英國炭坑夫就業、炭坑労働者收得、 及ビ生活情况

#### 第一節 炭坑夫就業

イ、(一) 入坑時間及ビ通坑模様  
入坑時間 英國炭坑ニ於テハ日々坑夫ノ入坑時刻及ビ坑内労働時間ハ地方

ニ依リ多少ノ差違ヲ免カレズト雖モ。通常坑内夫ノ労働ハ一方交替(Two Shifts)  
ニシテ第一方ハ午前七時ニ入坑シ午後四時ニ昇降シ第二方ハ午後七時ニ入坑  
シ翌日ノ午前五時ニ昇坑ス。其内チ十二時ヨリ一時迄デラ食事時間トス又タ  
右ノ兩方交替合間時間中ハ専ラ坑内爆發藥使用時間ニ應用スルヲ慣習トス。  
但シ坑夫ノ入坑時間ハ現今午前六時及ビ七時ノ兩慣習アリ。

ロ、通坑模様 英國炭坑中ニハ本邦炭坑ニ於ケルガ如ク坑夫ニ向テノ家屋ヲ設  
備シ之レヲ坑夫ニ借家セシムルノ慣習アリト雖モ。然カモ本邦ニ於ケルガ如  
ク其炭坑ニ使役スル全體ノ坑夫ヲシテ悉ク之レニ居住セシムルガ如キ程度迄

ノ家屋ヲ設備スルモノ多カラズシテ坑夫ノ雇入上止ムヲ得ザルニ非ラザレバ  
之レニ向テ家屋ヲ供エザルヲ常トス。現ニ英國炭坑ニ於テハ坑夫ニ向テ家屋  
ノ設備ナキモノアリ如此場合ニ於テハ炭坑夫ハ他ノ労働者ト等シク普通ノ借  
家ニ居住シ炭坑ニ通勤スルモノ多シトス。之レ英國ニ於テハ前章已ニ述べタ  
ルガ如ク現今ニ於テハ坑主。坑夫互ニ同盟又タハ組合等ノ組織ヲ有シ各自ノ  
權利。義務上ニ付寸毫モ之レヲ侵害スルコトナク。所謂ル坑主ハ坑主。坑夫  
ハ坑夫ト各自生活其他ノ身上ニ付互ニ獨立ノ情態ニアルヲ以テ現今ニ於テ  
ハ坑夫ノ衣食住等ニ關シテハ坑主ニ於テ左迄テ關涉ヲナサズシテ足レルヲ以  
テ炭坑夫ノ數ニ比シ割合ニ土地狭小ニシテ到底通常ノ借家ノミヲ以テハ不足  
セルガ如キ場合ノ外カハ別ニ坑主ニ於テ坑夫等ニ向テノ家屋ヲ設備セザル所  
以ニシテ。從テ坑夫等ハ炭坑ヲ距ル五、六哩ヨリ往々十二、三哩餘ヲ距ルノ地ニ  
他種ノ労働者ト雜居シ日々汽車便ニテ炭坑ニ通坑シツ、アルハ往々行ハレツ  
、アル慣習トス。

炭坑夫ニシテ炭坑附近ニ居住セザルモノハ通常労働者定期乗車契約ヲ鐵道會  
社ト結ビ日々労働者列車ニテ通坑ス。而テ炭坑夫ハ各自、ブリキ製ノ辨當及ビ

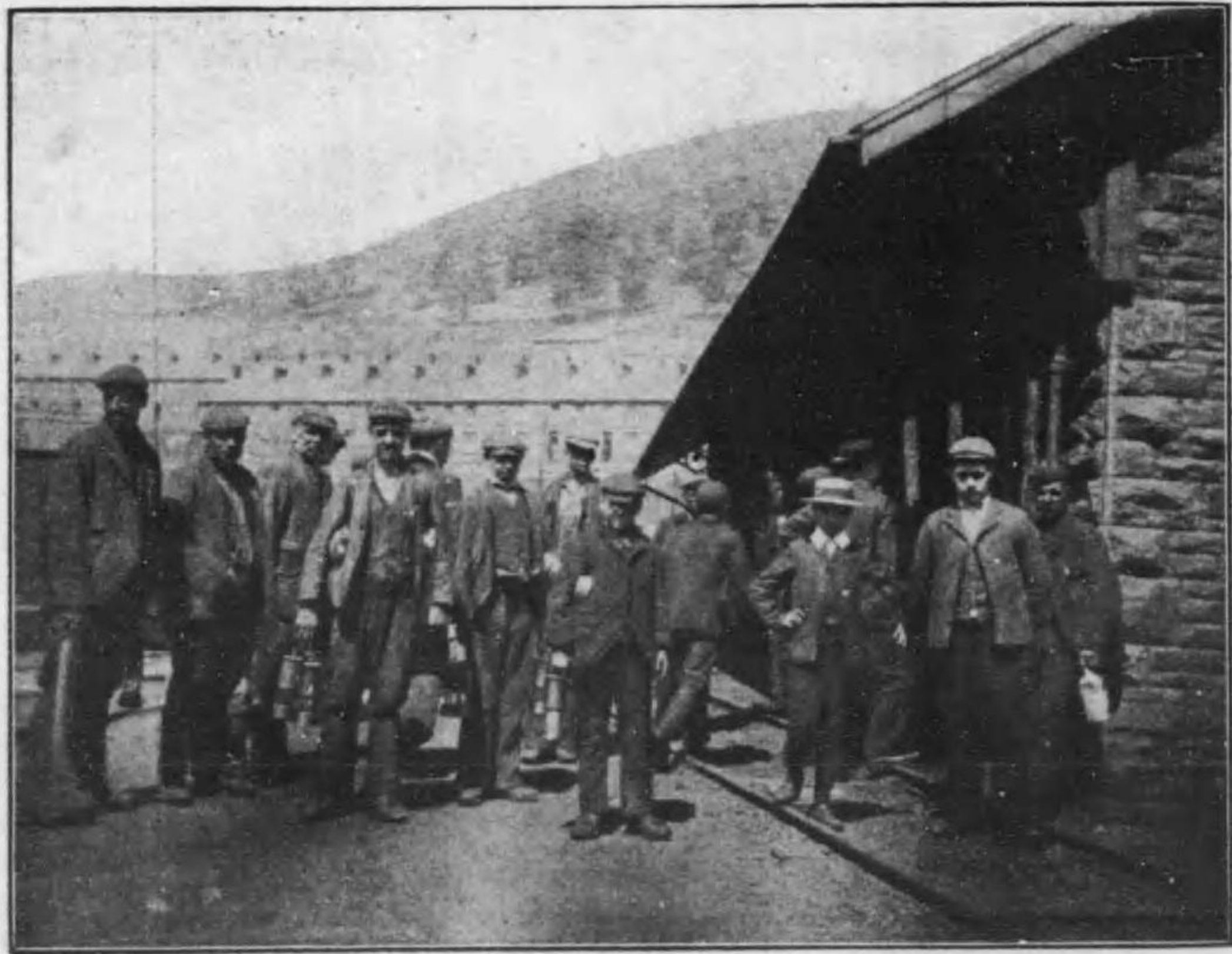
英國炭坑夫就業、炭坑労働者收得及ヒ生活情况

二二三

飲料水入レヲ携ヘ入坑時間前ニ當リ續々着坑シ。直ニ安全燈室ニ到リ各自ノ番號(但坑夫番號ハ前章已ニ之レヲ詳述セリ)ヲ呼ビテ安全燈ヲ受取り。之レヲ携ヘ順次ニ坑口ニ整列ス。然ルトキハ「パンクスメン」即坑外方ハ一々其安全燈ヲ検査シタル上堅坑ケージニテ一回ニ付八、九人宛入坑セシムルヲ常トス。而テ坑夫ノ入坑及ビ昇坑ハ前述シタルガ如ク一定時間ノ外ハ斷ジテ。非常ナル場合ヲ除キ。之レヲ行ハシメザルノ慣習ニシテ坑夫ノ一定労働時間ヲ經タル後チハ。一時石炭車捲揚ヲ中止シ坑夫ヲ昇坑セシム。然ルトキハ坑夫ハ安全燈室ニ至リ再ビ自己ノ番號ヲ呼ビテ之レヲ返却ノ上退坑スルモノトス。

## (二)

英國炭坑ニ於テハ一般ノ慣習トシテ坑夫ニ向テ浴場ノ設備ナキ事。前項述べタルガ如ク英國ニ於テハ炭坑主及坑夫間互ニ自治的慣習ナルヲ以テ。從テ坑夫ノ衣。食。住等ノ如キモ之レヲ日本ノ炭坑ニ比シテハ坑主ノ注意スルコト非常ニ薄ク。從テ坑夫ノ昇坑後ニ於ケル入浴設備ノ如キハ殆ンドナキヲ一般ノ慣習トス。英國炭坑夫ハ各自業ヲ終リテ昇坑セシ後チハ坑内ニテ労働セシ儘ノ服装ヲ以テ恰モ不動尊の容姿ヲ以テ手ニ辨當箱ヲ携ヘ三々五々已レノ家ニ歸ル常ニ炭坑附近ノ労働列車ニハ坑夫ノ退坑時刻ニハ白人種ノ黒色



〔サウス、ウェールズ〕一炭坑ニ於ケル坑夫ノ景  
(第二百十二頁記事参照)



「サウス、ウエールズ」一炭坑ニ於ケル安全燈室及將  
ニ歸途ニ就カントスル一坑夫ノ景  
(第二百十二頁記事參照)

人ヲ多ク目撃スルハ奇異ナラズ。實ニ英國ニ於テ炭坑夫ニ對シテ入浴設備ナ  
キハ英國炭坑界ノ缺點ト稱スルモ不可ナクシテ。爲メニ坑夫同盟會ニ於テハ  
時々之レガ改良ニ付新聞紙上ニ其意見ヲ吐クハ余輩ノ實地ニ見聞セシ處ナリ。  
附記ス。炭坑夫ノ入浴其他ノ設備ニ付テハ獨乙佛國、白耳義等ニ於テハ現今完  
全ナルモノニシテ通常該地ニ於ケル炭坑夫ハ日々通坑ニ際シテハ各自小風  
呂敷様ノモノヲ以テ労働用衣服ヲ携帯シ來リ。入坑前ニ之レト着替へ業終  
テ昇坑ノ後チハ直ニ炭坑ニ於ケル浴場ニテ入浴シ。再ビ着替タル上之レヲ  
携帯スルカ又タハ炭坑ニヨリテ浴場ニ接近シテ坑夫用ノ所持品入レ函ノ設  
ケアルヲ以テ之レニ收ムルノ慣習アリトス。

## 第二節 炭坑労働者收得

イ、(一) 坑内労働者  
探炭夫收得。英國探炭夫ハ本邦ニ於ケル俗ニ先キ山。後ト山ト云フガ如ク  
二人一組トナリ互ニ相共同シテ探炭仕事ニ従事スルノ慣習ニシテ其探炭賃金  
額ノ如キハ共同坑夫ノ勤怠。共同方ノ適否等ニ因リ勿論一定セザルハ言ヲ俟

英國炭坑夫就業、炭坑労働者收得及ヒ生活情况

タズト雖モ。左ニ記スルハ英國「カーデツフ」地方中ニ於ケル大規模炭坑ノ一ナ  
ル「グレート、ウエスターン」炭坑ニ於テ去ル一、九〇二年及ビ一、九〇三年ノ兩年ニ  
跨リ勘定當日ニ支拂ヒタル探炭夫ノ實地收得中ヨリ最高。中。最下。收得額  
ヲ示シタルモノナリ又タ以テ現今英國探炭坑夫收得ノ一斑ヲ知ルニ足ランカ。

(甲例)一、九〇三年三月十四日「グレート、ウエスターン」炭坑ニ於ケル例

一、探炭夫「ダブリユ、ジョン」外一人ニ對スルニ週間實地支拂高

一、石炭探掘量 三十一噸十八「ハンドレッドウエート」二「クォーター」  
一噸ニ付 一志七「ペンス」十分ノ一

此探炭賃英貨二磅十志九片

一、準備仕事

内テ坑道開鑿

底石切リ

探炭面延長

風道延ビ

坑道底揚ゲ

同 四志〇片

同 四志二分ノ一

同 五志三片

同 一志〇片

同 四志二分ノ一

壁 附 ケ

坑木建テ

總收入計

歩増シ但三十三%四分ノ三

坑夫收得計

内テ引去金

醫師

坑夫組合醱金

差引正味收得

同 一磅五志〇片

同 四志〇片

同 六磅十九志〇片

同 二磅六志十片

同 九磅五志十片

同 二志三片

同 一志〇片

同 英貨九磅二志七片

(乙例)一、九〇二年十月同上炭坑ニ於ケル例

一、探炭夫「デイ、グリフツス」外一人ニ對スルニ週間實地支拂高

一、石炭探掘量 四十九噸五「ハンドレットウエート」

此探炭賃英貨三磅八志八片

一、賞與 同 八志二片

一、準備仕事

英國炭坑夫就業、炭坑労働者收得及ヒ生活情況

内チ坑道開鑿	同	五志六片
天井落シ	同	八志五片
底石切リ	同	五志六片
捨石車積ミ	同	八志四片
鳥居形坑木建テ	同	一志
組ミ木建テ	同	三志
捲立テ	同	十一志
單坑木建テ	同	三志
總收入計	英	貨六磅二志七片
歩増シ(百分ノ三十二半)	同	一磅十九志十片
坑夫總收得	同	八磅二志五片
内チ引去金	同	
醫 師	同	二志
坑夫組合釀金	同	一志
差引正味收入	同	七磅十九志五片

二二八

〔丙例〕二、九〇二年三月十四日同上炭坑ニ於ケル例

一、採炭夫アール、ブード外ニ少年一人ニ對スルニ週間實地支拂高

一、石炭採掘量、二十六噸三三ハンドレットウエート三三クヲ一ター一噸ニ付一志四片四分ノ三

此採炭賃、英貨一磅十六志六片

一、賞與(但大塊炭一噸ニ付二片ノ割) 同 四志四片

一、準備仕事

内チ天井落シ 同 二志六片

底石切リ 同 一志六片

捨石車積ミ 同 二志

組ミ木建テ 同 三志

捲立テ 同 四志

單坑木建テ 同 二志

總收入計 同 二磅十五志十片

歩増シ(百分ノ三十三%四分ノ三) 同 十八志十片

英國炭坑夫就業、炭坑労働者收得及ビ生活情况

二二九



坑夫總收得 三三三三三三三三 同 三磅十四志八片  
 内引去金 同 一志  
 醫師 同 一志  
 坑夫組合酸金 同 一志  
 差引正味收入 同 三磅十二志八片

左ニ掲グルハ同上炭坑ニテ同時期ニ於テ採炭夫ニ向テ實地支拂ノ賃金ナリ聊カ参考トシテ之レヲ補記セン。

一、英國「カーヂツ」地方「グレート、ウエスターン」炭坑ニ於ケル採炭夫一組二人ニ對スル二週間ノ正味支拂賃金

- 但一、九〇三年三月十四日實例
- (1) 英貨八磅十九志四片 採炭夫二人二週間總收得高  
 内チ、醫師、坑夫組合費其他引去英貨三志三片
  - (2) 差引正味收入 英貨八磅十六志一片  
 英貨五磅十二志九片 同 上  
 内チ同 上 英貨二志六片

差引正味收入 英貨五磅十志三片

- (3) 英貨七磅十三志九片 同 上

内チ同 上 英貨三志

差引正味收入 英貨七磅十志九片

- (4) 英貨八磅七志四片 同 上

内チ同 上 英貨三志

差引正味收入 英貨八磅四志四片

ロ、坑内日給坑夫ニ於テハ通常採炭夫ハ其採炭斤量ヲ以テ收得ヲ定ムルノ慣習ナルモ坑内ニ於ケル小斷層、天井破落ノ取形付等ノ如キ仕事ハ普通日給ヲ以テ賃金ヲ支拂フノ慣習トス。然シテ其賃金割合ハ各炭坑ニ於テ勿論一定セズシテ同「カーヂツ」地方炭坑ニテモ「ドウラス」炭坑ノ如キハ通常日給一日ニ付四志ノ割ナルモ其附近ニ於ケル「グレート、ウエスターン」炭坑ニ於テハ通常日給平均一日ニ付六志ノ割ナリトス。左ニ掲グルハ「カーヂツ」地方「グレート、ウエスターン」炭坑ニ於ケル坑内夫日給者收得ノ實例トス。

(甲例)一九〇三年三月十四日實例

一、坑内日給夫、デー、ウィリヤム二人ノ二週間收得

一、就業日數十二日、日給英貨六志此賃金 英貨三磅十二志〇片

一、歩増シ(百分ノ三十二、半) 同 一磅四志三片

總收入計 英貨四磅十六志三片

内引去高

醫師 一志三片

坑夫組合費 六片

看量立會人費三片

差引正味收入

同 四磅十四志三片

(乙例)同上

一、同上「ナシユ、ステ、フ、エ、ン、ス」二人同上

一、就業日數十一日、日給英貨六志此賃金 英貨三磅六志

一、歩増シ(百分ノ三十二、半) 同 一磅二志三片

總收入計 英貨四磅八志三片

内引去高

醫師 一志

石炭代 八志

坑夫組合費 六片

看量立會人費三片

同 九志九片

差引正味收入

同 三磅十八志六片

ハ、坑内雜勞働者收得 但一九〇三年五月二十三日「グレート、ウエスターン」炭坑

ニ於ケル實例

a、坑内運炭方 (Haulier) 一人收得二週間分

一、就業日數十五日、日給英貨四志十一片(夜勤)但日勤ハ通常四志五片

此賃金英貨四磅十八志七片

内引去高

醫師 一志三片

組合費 六片

差引正味收入

同 四磅十六志十片

英國炭坑夫就業、炭坑労働者收得及ヒ生活情況

b. 坑内馬匹監督方 (Ostler) 同上

一、就業日數十四日、日給英貨三志五片此賃金英貨二磅七志十片  
一、步増シ 同 十六志一片

總收入計 同 三磅三志十一片

内引去高 同 九片

醫 師 同 六片

組合費 同 三磅二志八片

差引正味收入 同 九片

c. 唧筒方 同上

一、就業日數十三日、日給英貨三志六片此賃金英貨二磅五志六片  
一、步増シ 同 十五志四片

總收入計 同 三磅十片

内引去高 同 九片

醫 師 同 六片

組合費 同 六片

差引正味收入 同 二磅十九志七片

d. 合圖鐘引方 同上

一、就業日數十二日、日給英貨三志五片此賃金英貨二磅五志  
一、步増シ 同 十五志二片

總收入計 同 三磅二志二片

内引去高 同 九片

醫 師 同 六片

組合費 同 六片

差引正味收入 同 二磅十八志十一片

e. 坑木方 同上

一、就業日數十二日、日給英貨四志十三片此賃金英貨二磅十九志  
一、步増シ 同 十九志十片

總收入計 同 三磅十八志十片

内引去高 同 一志

醫 師 同 一志

英國炭坑天就業、炭坑労働者取得及ビ生活情況

家賃 同 八志六片

組合費 同 六片

差引正味收入 同 三磅八志十片

f、通風方 同上

一、就業日數 十二日 日給英貨四志 此賃金英貨二磅八片

一、步増シ 同 十六志二片

總收入計 同 三磅四志二片

內引去高 同 九片

醫師 同 六片

組合費 同 三磅二志十一片

差引正味收入 同 十九志四片

g、修繕方 同上

一、就業日數 十三日 日給英貨四志五片 此賃金英貨二磅十七志五片

一、步増シ 同 十九志四片

總收入計 同 三磅十六志九片

內引去高 同 一志六片

醫師 同 六志

組合費 同 三磅十五志三片

差引正味收入 同 三志

坑外勞働者

a、電氣方 一人一週間收得

一、就業日數 七日 日給英貨五志 此賃金英貨一磅十五志

一、給與 同 五志

內引去高 同 六片

醫師 同 六片

組合費 同 一磅十九志

差引正味收入 同 六片

b、捲網方 同上

一、就業日數 六日半 日給英貨四志十一片 此賃金英貨一磅十一志十一片

英國炭坑夫就業、炭坑勞働者收得及V生活情況

二二七

一、步増シ

内引去高

同

十志九片

醫師

同

六片

組合費

同

六片

差引正味收入

同

二磅一志八片

c、捲方(晝間)一人二週間收得

一、就業日數十一日、日給英貨三志九片此賃金英貨二磅一志三片

一、步増シ

内引去高

同

十三志十一片

醫師

同

九片

組合費

同

六片

差引正味收入

同

二磅十三志十一片

d、注油方同上

一、就業日數十一日、日給英貨三志二片此賃金英貨一磅十四志十片

一、步増シ

同

十一志九片

内引去高

醫師

同

六片

組合費

同

六片

差引正味收入

同

二磅五志七片

e、勞働者(晝間)同上

一、就業日數十二日、日給英貨三志二片此賃金英貨一磅十八志

一、步増シ

同

十二志九片

内引去高

醫師

同

九片

組合費

同

六志

差引正味收入

同

二磅九志六片

(三) 坑内係員收得

a、副支配人 (2nd Class manger) 一人、一九〇三年五月二十三日ニ於ケル二週

間分ノ實例

二週間給

英貨七磅

英國炭坑夫就業、炭坑勞働者收得及ビ生活情況

b、坑内監督方 (Overman) 同上

同 上

英貨六磅十志

内引去高

家 賃

同 十三志九片

差引正味收得

英貨五磅十六志三片

c、瓦斯方 (Fireman) 同上

一、就業日數 十四日 日給七志七分ノ六 此賃金五磅十志

内引去高

醫 師

十二志三片

組 合 費

英貨五磅八志三片

差引正味收得

d、時間方 同上

二週間收得

英貨三磅十志

### 第三節 炭坑労働者生活情况

今日我國ニ於テ目撃セラル、ガ如キ炭坑夫ノ情態ハ英國ニ於テハ早ヤ已ニ過去數十年前ノ事ニ屬シ。一八四二年貴族シヤフス、ブリー公 (Lord Shaftesbury) 夙ニ炭坑夫取扱上ニ重キヲ置クノ建議ヲナシ之レガ實行ヲ見ルニ至リ。創メテ英國炭坑労働者ノ品位ヲ高メタルノ後チ一八六〇年ニ至リ教育條例ノ發布セラレ無教育ナル少年者ヲ炭坑ニ使役スルヲ禁止セルノ制ヲ設ケシ以來益々炭坑夫ノ情態ヲ改良進歩セシメタルヲ以テ。現今ニ於テハ英國炭坑夫ハ衣食住ハ勿論一切ノ事ハ一般爾餘ノ労働者ト殆ンド差別ナキ狀況ナルハ流石ニ英國炭坑トシテ耻ザル處ナリ。左ニ英國炭坑夫重ナル情態及ビ日本炭坑夫ニ比シ異ナル二三ノ點ヲ記ス可シ。

#### (一) 家屋

現今英國炭坑夫居住家屋ハ日本ニ於ケルガ如ク單ニ炭坑主所有ニ屬スルノミナラズ之レヲ詳細ニ區別スレバ

坑主所有。普通貸家主所有。地方公共團體所有。坑夫自身所有ノ四種トス

英國炭坑ニ於テハ前項述べタルガ如ク現今ハ坑主及坑夫ハ各々互ニ強固ナル組

合組織ヲ有シ互ニ自己ノ利益ヲ保護シツ、アリテ。從テ彼我ノ權利義務ニ向テハ互ニ相浸ス可ラザルノ區別ノ存スルヲ以テ日本炭坑ニ於ケルガ如ク坑夫ニ向テ種々雜多ナル世話ヲナスノ必要ナク。炭坑主ハ炭坑労働者ニ向テハ單ニ採炭。労働賃等ヲ支拂フノ外カハ炭坑労働者ノ衣食住等ノ點ニ對シテハ毫モ注意懸念スルノ要ナシト雖モ。實地上炭坑所在地ハ通常邊鄙ノ土地多キヲ以テ一時ニ多數ノ坑夫ニ向テハ家屋ノ拂底ヲ告グルハ自然ノ勢ナルヲ以テ止ムヲ得ズ之レニ給スル家屋ヲ炭坑主ニテ建築シ之レヲ坑夫ニ貸家セシト雖モ。然カモ日本ニ於ケルガ如ク其炭坑ニ使役セル全坑夫ヲ一纏トシ居住セシムルガ如キノ規模ヲ以テ家屋ヲ所有スルハ英國炭坑ニ於テハ寧ロ多カラザルノ事實ニシテ。普通ノ場合ニハ炭坑夫ハ前述シタル坑主貸家、普通貸屋、地方公共團體所有貸家等ニ混合シテ居住スル地方多キハ事實ナリトス。

如此キ慣習ハ之レヲ本邦ノ實例ヨリ推セバ一見シテ炭坑労働者ノ監督取締上甚ダ錯雜不利益ナルカ如キ觀アルヲ免カレザル可シト雖モ然カモ實際ニ於テハ如此キ不便毫モ之レナシ。何トナレバ現今英國炭坑ニ於テハ坑主及坑夫共夫々同盟組合規約ノ嚴格ニ存スルト且ツ彼我相互間ニ於ケル違法行爲ニ對シテハ毫モ客赦ナク直ニ之レヲ鑛業條例ニ照シ。令ヒバ炭坑夫ニシテ無斷ニシテ其就業ヲ停止セルトキハ直ニ之レヲ鑛業條例ニ照シ假借セズ處罰スルガ如キ慣習ナルヲ以テ。例ヒ十數哩ノ遠距離ニ居住スルモ炭坑労働者ハ必ズ正當ナル時間ニハ坑内ニ降り毫モ坑主ニ向テ無益ノ手數ヲ煩スコトナキヲ以テ取締上別ニ不便ヲ見ザルモノトス。

炭坑労働者ニ對シテ日本ノ實例ニ比シ尠シク異ナル普通貸家及地方公共團體所有貸家ニ付述ベンニ英國ニ於テハ坑夫其他労働者ノ居住スル家屋中ニハ日本ニ於ケルガ如ク一個人ノ建設所有ニ屬スルモノ多シト雖モ。外カニ各地方ニ於テハ特ニ地方労働者ノ便宜ヲ慮リ貸家ヲ供給スル目的ヲ以テ。

例エバ[カーヂツフ]労働者小舎會社 (Cardiff Workmen's Cottage Co., Ltd.)

[グラムオルガンシャイヤ]労働者小舎會社 (Glamorganshire —)

[カーヂツフ]鐵道労働者小舎會社 (Cardiff Ry. —)

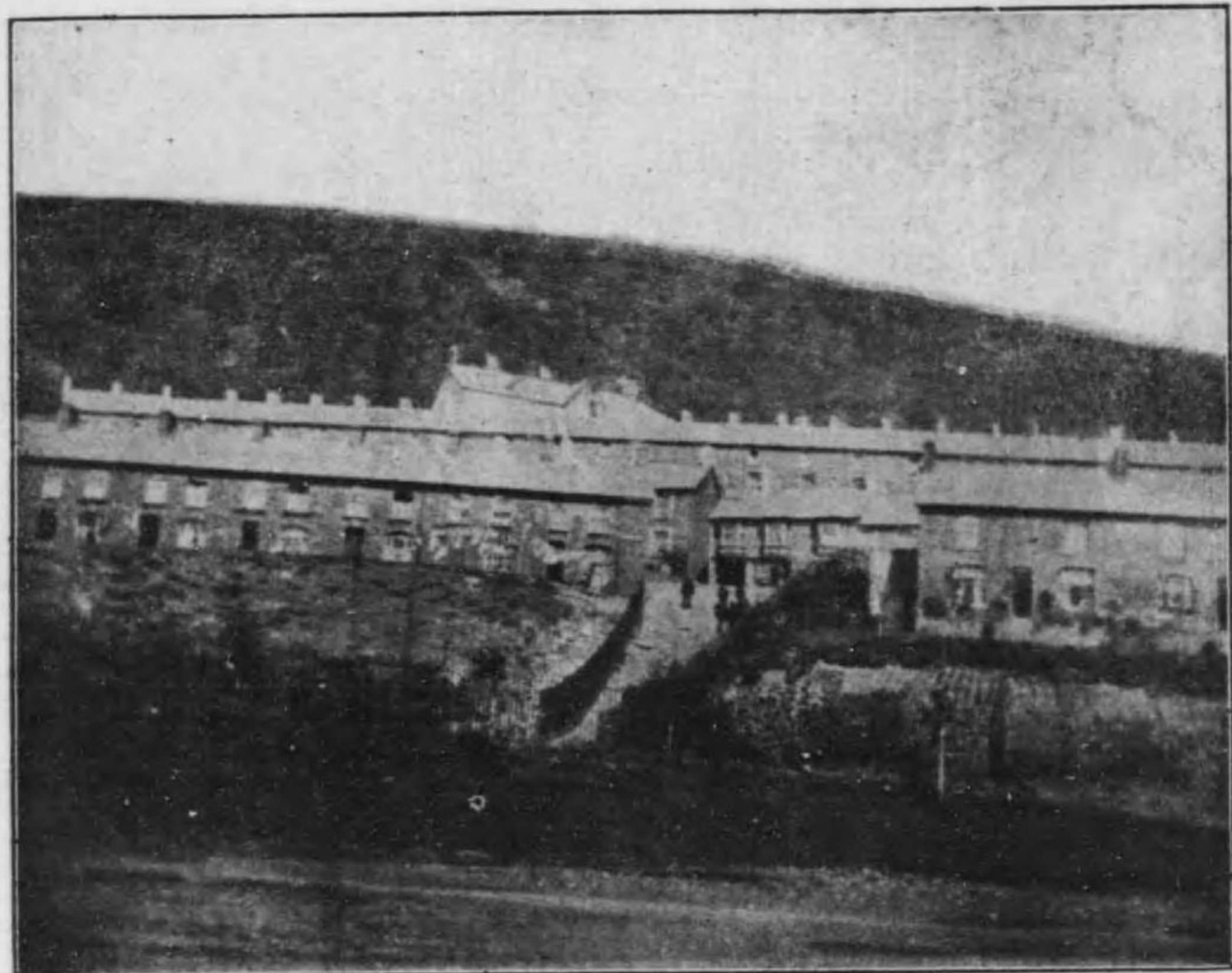
ノ如キ數多ノ私立會社アリ。以テ各種労働者居住ノ便ニ供シ從テ炭坑夫其他労働者ノ如キモ此種ノ貸家ニ居住スルモノ尠カラズ。

右ノ外カ地方公共團體ノ公共事業ノ一トシテ労働者ニ向テノ家屋ヲ建設シ其家

賃ハ通常ハ實費時トシテハ實費以下トシ。之レガ損失ハ公共團體ノ負擔トシテ  
勞働者ニ貸家セシムルノ地方尠カラズ。

炭坑夫居住家屋ノ構造ハ通常二三十戸ヨリ五六十戸ヲ連ネタル煉瓦造リ二階建  
長屋ニシテ。一戸ニ付二階三間ニ便所。浴場。下ニ二間(臺所附キ)之レニ水道ヲ  
附屬セシメタルヲ常トス。尤モ地方ニ依リ家屋ノ後方ニハ毎戸ニ付二三十坪位  
ノ野菜畠ヲ設ケ坑夫手作ノ便ニ供スルモノ尠ナカラズ。

炭坑夫家屋家賃ハ借家ノ大小ニ因テ一定セズト雖モ。坑主貸家。普通貸家。公  
共團體貸家ヲ問ハズ通常一週間ニ英貨五志ヨリ七志内外ナルヲ例トス。現ニ一、  
九〇三年十一月英國サウス、ウエールズニ於テ「カーデツフ」ト共ニ有名ナル炭坑地  
方タル「マーサー」ニ於テハ「マーサー」地方公會(Merthyr Urban District Council)ニ於テ「ペ  
ンダレン」(Penydaren)ト稱スル地ニ勞働者貸家數百戸ヲ建築シ同公會ニ於テハ該  
貸家ニ對シ建設實費上ヨリ精算シテ一戸一ヶ月ニ付英貨一磅二志六片ノ割ヲ以  
テ貸家料ヲ徴セシモ借主タル勞働者側ナル「マーサー」及「ドウラス」貿易。勞働公會  
(Merthyr & Dawlais Trade Labour Council)ニ於テ該家賃割合ノ高貴ナルニ付異議ヲ呈  
シ。互ニ交渉ノ末終ニ一ヶ月ニ付英貨一磅ノ家賃ト決定セシハ。余輩ノ實地ニ



「サウス、ウエールズ」一炭坑ニ於ケル坑夫社宅ノ景  
(第二百三十一頁記事参照)



「サウス、ウエールズ」一炭坑ニ於ケル坑夫社宅、老坑夫及ビ坑夫家族ノ景  
(第二百三十一頁記事参照)



耳ニセシ事實ナリ又タ以テ英國炭坑夫居住家賃ノ一斑ヲ推知スルニ足ラン。

附 英國ニ於ケル借家料ハ通常一週何程ト定メ支拂フヲ常トシ。同國ニ於ケル各地方ニテ中以下ノ勤メ人向キ借家ハ普通一週ニ付約英貨一磅内外ニシテ現ニ「カーヂツ」地方ノ極メテ場末ナル長家ニ於ケルモ大抵一週間ニ入志ヨリ十志内外ノ割トス。

然リト雖モ炭坑夫中已ニ數年來ノ勞働ニ從事シ相當ノ蓄財セシモノハ其地方ニ於テ自己所有ノ家屋ヲ有シ永住的ニ居住スルモノ尠ナカラズ。如此實例ハ英國「スワンジ」炭坑地方ニ於テ殊ニ然リトス。其結果トシテハ坑夫ノ入替賃金率ノ變更等ノ如キ場合ニハ一層坑夫ノ勢力ヲ高メシメ爲メニ坑主ヲシテ困難ノ位置ニ立タシムルハ免カル可ラザルノ事實トス。

## (二) 坑夫家事用供給石炭

英國ニ於テハ現今ハ家事用トシテハ上下貴賤ノ區別ナク。一般ニ石炭ヲ使用シ本邦ニ於ケルガ如ク薪炭ヲ使用スルモノナキヲ以テ炭坑夫ノ如キハ其家事燃料トシテハ石炭ハ唯一ノ材料ナリトス。

英國ニ於テハ炭坑使役坑夫ニ對シテハ一般ニ其燃料石炭ハ炭坑ヨリ實價ヲ以テ

供給スルモノ多シト雖モ往々或ル炭坑ニ於テハ坑夫全體ニ向テ供給セズ。單ニ坑夫ニシテ自己ノ名義ヲ以テ家屋ヲ構フルモノニ向テノミ其家族ノ頭數ニ應シテ燃料石炭ヲ供給スルガ如キ慣習アリ。

坑夫ニ供給ス可キ燃料炭ハ炭坑ニ依リ一定セザルモ通常ハ精撰炭 (Clean Screened coal) 又タハ混合炭 (Through & through coal) ノ二種トス坑夫供給炭價ハ通常炭坑ニ於ケル生産費ヲ價フノ度ヲ以テ之レヲ給スルヲ慣習トスルモ其炭坑ニ於ケル炭質。生産費及坑主ノ意見等ニ因リ種々差異ヲ免カレズシテ。地方ニ因リ實際ノ給炭ハ一噸ニ付最低一志最高十一、二志内外ノ差アルモ通常ハ先ツ炭坑ニ於ケル炭車一輛(通常十二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二)ノ入リニ付英貨四志内外ヲ以テ坑夫ニ供給スルヲ標準トス。而シテ此種ノ石炭ハ假リニ之ヲ世間ニ販賣スルモノトセバ大抵英貨十三志内外ノ價格ヲ有スルヲ以テ坑夫ハ其差額即英貨九志ハ一噸ニ付坑主ヨリ實際ニ割引セラル、事實トナルモノトス。

(三) 坑夫疾病ニ關スル取扱

英國炭坑ニ於テハ坑夫其他ノ炭坑労働者ノ疾病ニ對シテハ別ニ炭坑ニ醫師。病院ノ如キ設ケアルモノ殆ンド稀レニシテ通常ハ炭坑夫其他労働者居住地ヲ數區

ニ分チ。每區ニ特約監督醫師若干ヲ定メ該醫師ヲシテ其區域内ニ於ケル炭坑労働者ノ治療ニ預ラシム。

醫師撰定法ハ專ラ坑夫自身ノ意思ニ任セ豫メ坑夫ヲシテ自己ノ信用スル醫師ヲ定メテ己レノ監督醫トスルノ慣習アリ。現ニカーヂツフ地方グレート、ウエスターン炭坑ニ於テハ炭坑労働者居住位置ニ應シテ四名ノ特約醫師ヲ有セシハ余輩ノ熟知セル處ナリ。

炭坑ニ於ケル労働者負傷ニ際シテハ直ニ最寄ノ監督醫ニ急報シ現場ニ醫師ヲ招クカ。又タ患者ヲ直ニ自宅又タハ監督醫ノ許ニ送致シ治療又タハ入院セシムルノ慣習ニシテ日本ニ於ケルガ如ク炭坑ニ醫療ニ關スル設備アルモノ殆ンド稀レニシテ炭坑ニハ單ニ擔架又タハ患者輸送車ノ如キヲ豫備スルニ止マルヲ慣習トス。

炭坑労働者ハ監督醫ニ對スル報酬ハ豫メ各炭坑労働者ヨリ毎勘定(通常二週トス)ニ付小額宛ヲ賃金中ヨリ差引キ置キ診察。投藥ハ其時々無料ヲ以テ之レヲ取扱フノ慣習トス。醫藥ニ對スル平常ノ差引額ハ炭坑ノ情況。家族ノ多少等ニ因リ一定セザルモ通常ハ家族一人ニ付每週約四片内外ノ割合ナルヲ常トス。即二週

毎ノ勘定ニハ各自ノ賃金ヨリ英貨八片ヲ家族一人ニ付差引キ置クモノトシ通常炭坑労働者ハ家族ノ多キモノハ毎勘定毎ニ英貨一志三片ヨリ時ニ二志三片内外ノ醫師ニ對スル醸金ヲナスハ余輩ノ常ニ目撃セシ處ナリ。

(四) 炭坑夫ノ娛樂

英國労働者ハ一般ニ喫煙、飲酒ニ耽ケルコトハ他國人種ヨリ一層甚シキガ如ク殊ニ炭坑労働者ニ於テ然リトス。彼等ハ終日ノ勞苦ヲ慰ムル唯一ノ手段トシテハ喫煙、飲酒ニ外ナラザルガ如シ英國鑛業條例ニ據レバ英國炭坑夫ハ坑内ニハ喫煙器具ヲ携帯スルコト及ビ酔ヲ帶ビテ入坑スル事ハ嚴禁セラル、ヲ以テ彼等ハ勞働時間中ハ毫モ其欲望ヲ充タスコト能ハザルヲ以テ。各自其業ヲ終テ昇坑歸途ニ就クヤ否ヤ炭粉ノ爲メ恰モ不動尊の顔色ノ儘ニ先ヅ三々五々附近ニ於ケル飲酒店ニ立寄り以テ終日ノ勞苦ヲ一杯「ビール」又タハ「ブランデー」ニテ慰メ互ニ舌鼓シツ、アルハ一般ノ事實トス。英國鑛業條例ニテハ坑夫ニ向テノ賃金ハ公共飲酒店附近ニテ之レヲ支拂フヲ禁スルヲ以テ彼等ハ毎勘定ノ終リニ際シテハ歸途多少ノ遠路ヲモ厭ハズ。先ヅ飲酒店ニ立寄り互ニ杯ヲ傾クルヲ以テ彼等ノ慣習トス。

英國ニテハ現今ハ宗教的方針ヨリシテ法律ヲ以テ日曜日ニ公然ト酒類ヲ發賣シ又タハ何人ト雖モ飲酒ヲナスコトヲ禁ジ一般ノ飲酒店ヲシテ日曜日ニハ門戸ヲ閉サシムルノ慣習ナルヲ以テ之レガ反動トシテ労働者ハ其前日即チ土曜日ハ午後ヨリハ一般ニ休業ナルヲ以テ。平常ヨリ一層多量ノ飲酒ヲ貪ボルモノ多ク加之ラズ炭坑賃金支拂ハ通常毎二週間後ノ土曜日午後ニ實行セラル、地方多キヲ以テ坑夫等ハ一方ニ己レノ手許ニ現金ヲ有シ。又タ一方ニハ翌日ハ最も好メル飲酒ヲ禁止セラル、日曜日ニ相當セルヲ以テ恰モ翌日ニ向テノ飲ミ越シ的ノ考ヲ以テ一層ノ豪飲ヲ試ムル也。

又タ喫煙ハ飲酒ト相併ヒ英國一般人士ノ好ム處ニシテ余輩ノ實見ニテハ實ニ英國人程ド喫煙ヲ好ムノ人種ハ他ニ無ラン乎ト信ゼラレ。喫煙ハ單ニ老成ナル労働者ニ止マラズ僅ニ十三、四ノ若年者ノ如キモ一般ニ好ンデ之レヲ爲シツ、アルハ同國有識者ノ常ニ苦笑シツ、アルノ惡弊ナリ。故ヲ以テ坑夫ノ生活上喫煙、飲酒ノ兩費ハ衣服、家具ニ要スルト殆ンド大差ナキノ情況ニシテ之レニ消費セル額常ニ尠少ナラズトス。

前述ノ如ク喫煙、飲酒ハ英國炭坑夫一般ニ嗜ム處ノ寧ロ不良ナル娛樂ナリト雖

モ其他ニモ亦タ彼等ノ娛樂ナキニ非ラズ。即チ英國各炭坑地方ニ於テハ労働者及地方有志者ノ設立セラレタル労働者俱樂部ト稱スルモノアリテ新聞雜誌圖書等ヲ備付ケ炭坑夫其他一般ノ労働者ニ向テ之レガ縦覽ノ便ニ供セシムルガ如キハ英國炭坑夫ノ現況トシテ耻ヂザル處ナリトス。

其他少壯炭坑夫ノ最モ好ムハ「フットボール」又タハ「クリケット」ノ如キ戸外の運動ニシテ之レ實ニ労働者俱樂部ト相並ビ最モ賞ス可キ娛樂ナリトス。

抑モ英國ニ於テハ現今一般ニ戶外運動ハ社會ノ上下ヲ通シテ盛ニ行ハレ單ニ日本ニ於ケルガ如ク學生間ニ止マラズ各種ノ労働者間ニ於テハ英國各地方ニ於テ互ニ之レガ氣脈ヲ通シ時々連合的運動會ヲ試ムルノ習慣ナルヲ以テ炭坑所在地方ニハ大抵至ル處ニ「フットボール」ヤ「ド」ノ設ケ有ラザルハナク。毎土曜日ノ午後炭坑休ミ後ハ壯年坑夫互ニ入り亂レテ熱心ニ其技ヲ戰ハシツ、アルハ流石ニ文明國ノ炭坑夫タルニ耻ヂザル處ロニシテ之レヲ日本ノ現狀ニ於ケルガ如ク稍ヤモスレバ屋内ニ於ケル炭坑夫ノ唯一ノ娛樂タル彼ノ賭博的遊戯ニ比スレバ雲泥ノ差違アリトス。

之レヲ要スルニ英國炭坑夫ノ一般ノ娛樂ハ前述セシ喫煙。飲酒。戶外遊戯ノ三

種トシ是等ハ之レニ耽ケルノ度合如何ニ依リ勿論批難ヲ免カレザルト雖モ。然カモ之レヲ日本炭坑夫間ニ於テ常ニ耳ニスル彼ノ金錢的遊戯ニ耽ルガ如キハ英國炭坑夫ニ於テ稀レナルハ英國炭坑夫智識ノ一般ニ進歩セル結果ナリ。

## 第四編 炭坑主及炭坑夫ノ關係

### 第一章 炭坑主及坑夫組合機關ノ關係

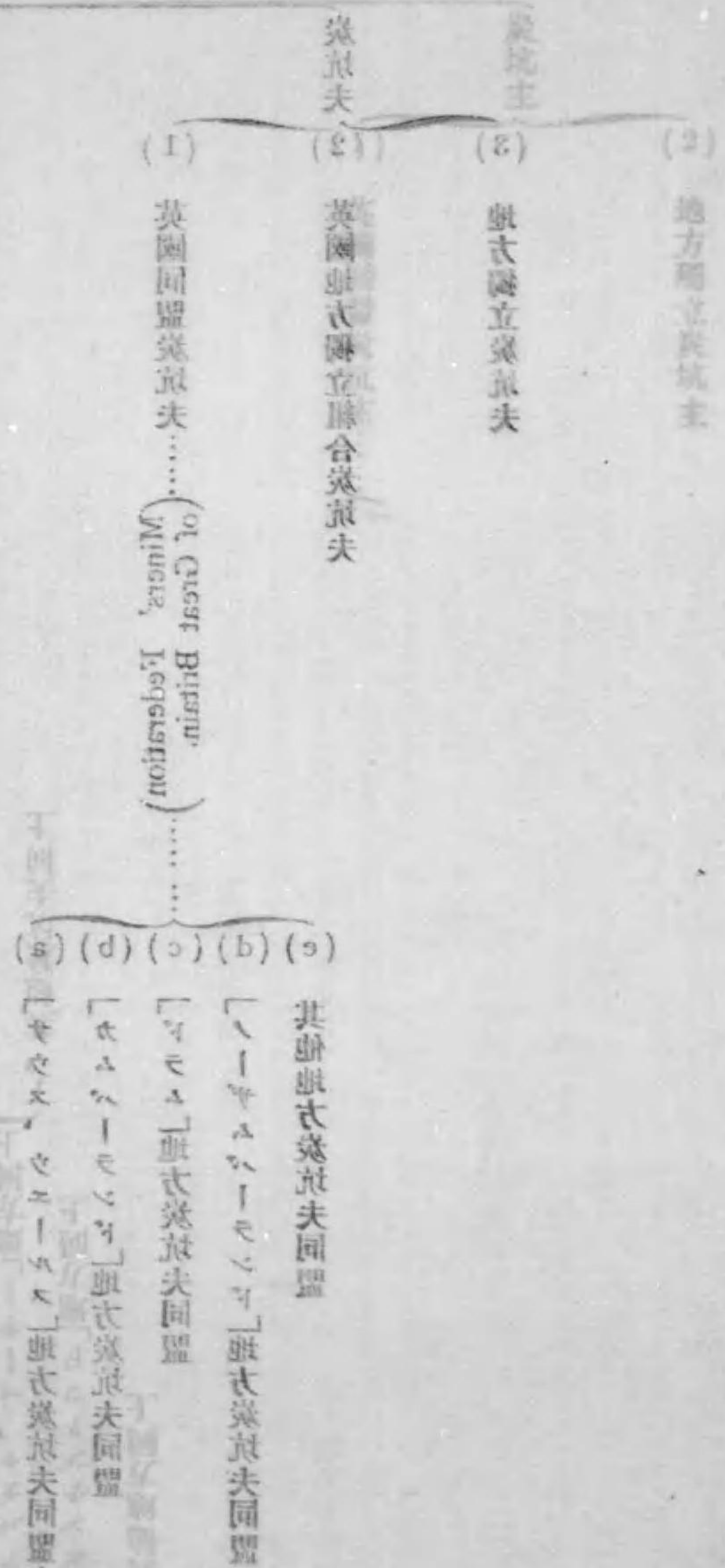
英國炭坑主及炭坑夫組合ニ付テハ已ニ之レヲ各別ニ詳述セシヲ以テ左ニ鈔シク兩組合機關相互ノ關係ヲ概括的ニ對比セントス

現今英國ニ於テハ炭坑主ハ之レヲ種別シテ組合炭坑主。無組合炭坑主ノ二種トスルモ其大部分ニ「サウス、ウエールズ」地方「カムバード」地方「ドラム」地方等ノ如ク炭坑各地方ニ依リ各々坑主組合ヲ組織シ以テ其地方炭坑主相互ノ利益ヲ保護スルト同時ニ全英國炭坑主組合ヲ總括スル中央同盟炭坑主協會ヲ有シ以テ英國全般ノ組合炭坑主ノ利害得失ヲ監督シ其敵手タル全英國炭坑夫同盟團體ニ相對峙ス

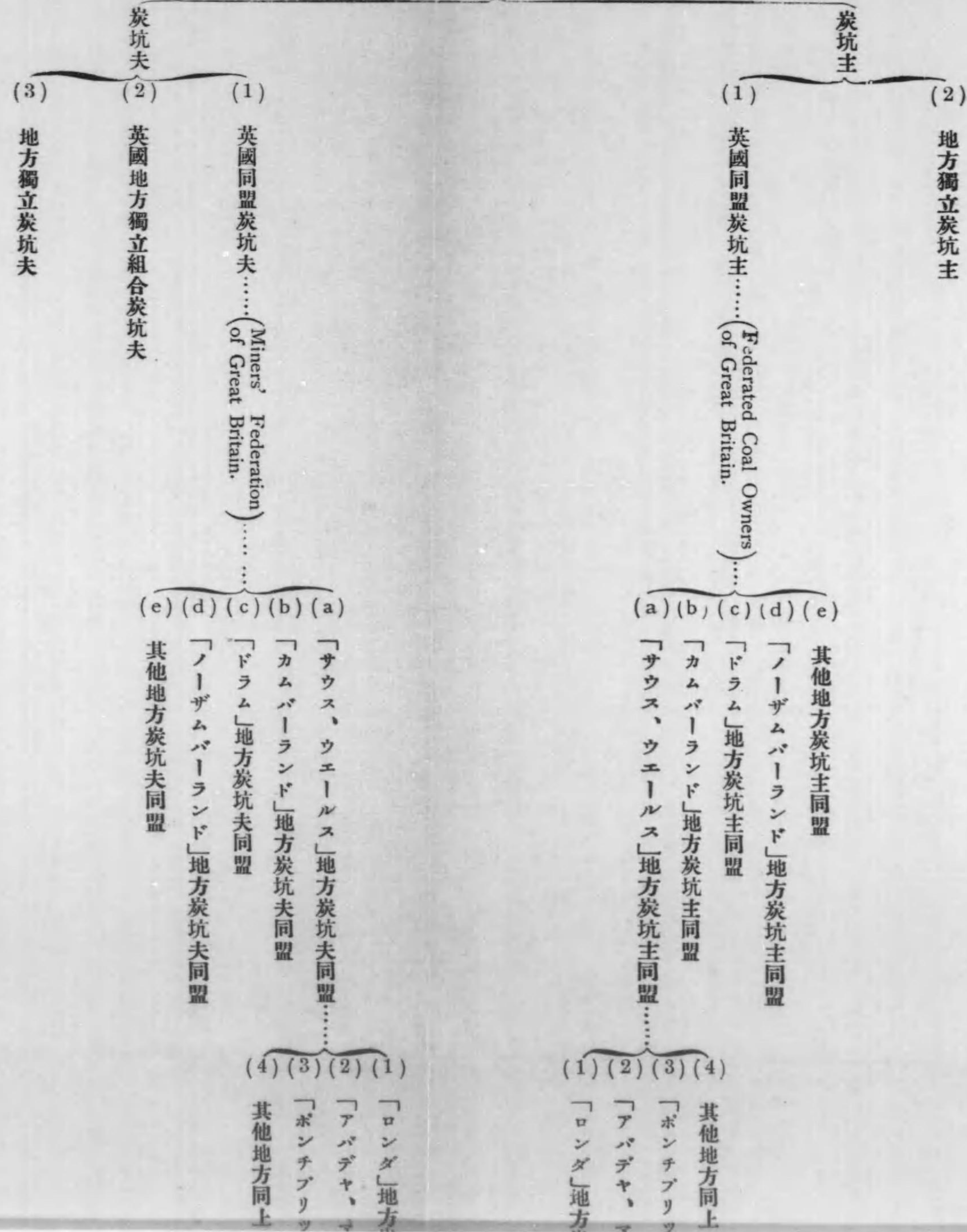
前述ノ外カニ無組合炭坑主ハ現今多少存在セルモ其數實ニ微々トシテ之レヲ同盟炭坑主ニ比スレバ僅ニ二三割ニ出デザルノミナラズ。近來ニ至テハ漸々地方組合炭坑ニ吸收セラレツ、アルノ勢ナルヲ以テ早晚英國ヲ通ジテ悉ク組合炭坑主ノ團體トナルハ疑ヲ容レザルモノナラン乎。

炭坑夫ノ種類ニハ三アリ甲ハ全英國ヲ通ジタル中央坑夫同盟團體ニ連絡セル純然タル同盟坑夫ナリ。乙ハ各地方内ニ於ケル一部ノ坑夫同盟ニシテ互ニ其地方坑主ニ對シ自己等ノ利益ヲ保護スルノ目的ヲ以テ團結セルモ然カモ甲ノ如ク全英國ヲ通ジテ連絡セズ其結合ハ單ニ地方ノ一小部ニ止マルモノトス。丙ハ甲乙何レノ種類ニモ屬セズ單獨ナル舉動ヲ取レル所謂自由勞働者即チ Free Labourers ト稱スルモノナリ。然シテ此三種ノ坑夫中現今ニ於テ其勢力ノ最モ大ナルハ實ニ甲種ノ同盟團體坑夫ニシテ現ニ英國全炭坑夫ノ大部分ハ悉ク此種ニ屬ス其他乙丙ニ屬スル坑夫ハ其員數及勢力上共ニ微々トシテ常ニ同盟坑夫團體ヨリ恐喝的手段ヲ以テ其同盟團體中ニ追込マレツ、アルノ現況ナルヲ以テ日ナラズシテ全英國ヲ通ジテ同盟坑夫タラシムルノ曉ニ達スルハ自然ノ勢ナリ。實ニ英國炭坑界ニ於テハ早晚一方ハ同盟炭坑主又々一方ハ同盟炭坑夫ハ二種ニ歸スルニ至ルハ蓋シ遠キニ非ラザル可シ

左ニ英國炭坑主及炭坑夫同盟相互ノ關係ヲ簡單ニ表示ス可シ



英國炭坑主及炭坑夫



ニ甲種ノ同盟團體炭坑夫ニシテ現ニ英國全炭坑夫ノ大部分ノ悉ク此種ニ屬ス其  
 乙丙ニ屬スル炭坑夫ハ其員數及勢力上共ニ微々トシテ常ニ同盟炭坑夫團體ヨリ恐喝  
 的手段ヲ以テ其同盟團體中ニ追込マレツ、アルノ現況ナルヲ以テ日ナラズシテ  
 全英國ヲ通ジテ同盟炭坑夫タラシムルノ曉ニ達スルハ自然ノ勢ナリ。實ニ英國炭  
 坑界ニ於テハ早晚一方ハ同盟炭坑主又々一方ハ同盟炭坑夫ハ二種ニ歸スルニ至  
 ルハ蓋シ遠キニ非ラザル可シ  
 左ニ英國炭坑主及炭坑夫同盟相互ノ關係ヲ簡單ニ表示ス可シ

其他地方同上

〔ボンチブリッド〕地方同上

〔アバデヤ、マーサー〕地方同上

〔ロンダ〕地方炭坑主同盟……

丁、其他炭坑主

丙、〔カムブリヤン〕炭坑主

乙、〔ルイス、マーサー〕炭坑主

甲、〔アルピラン〕炭坑主

甲、〔アルピラン〕炭坑夫同盟

乙、〔ルイス、マーサー〕炭坑夫同上

丙、〔カムブリヤン〕炭坑夫同上

丁、其他炭坑夫同上

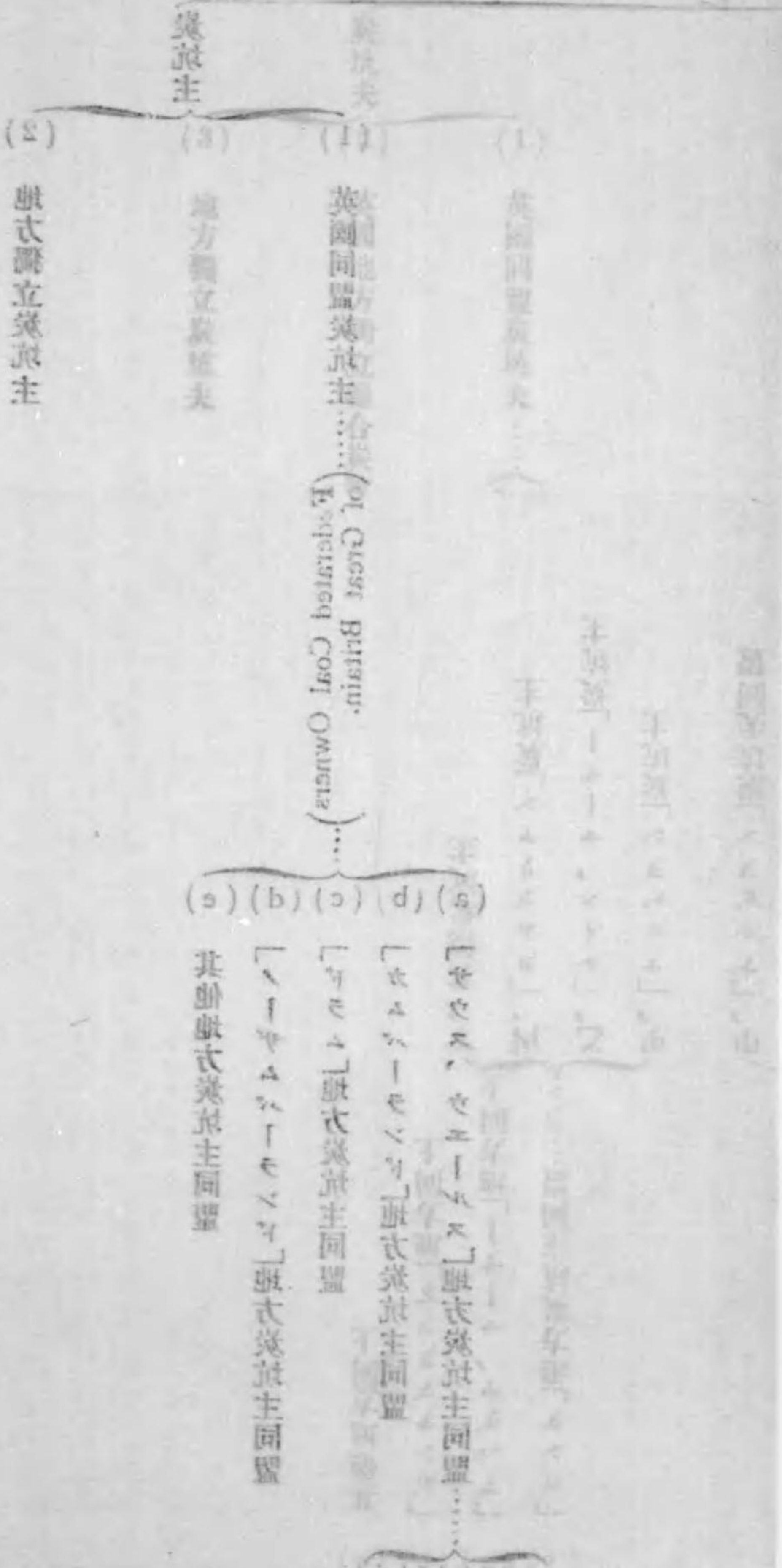
〔ロンダ〕地方炭坑夫同盟……

〔アバデヤ、マーサー〕地方同上

〔ボンチブリッド〕地方同上

其他地方同上





前表ニ就キ之レガ關係ヲ略述センニ

英國同盟炭坑夫ハ地方ニ於テハ各炭坑即チ「アルピラン」炭坑「ルイスマーサー」炭坑等ノ如ク或ル一炭坑ニ被雇セラル、坑夫團體ヲ區域即チ「Lodge」ト稱シ之レニ同盟團體會長及秘書役等ヲ置キ坑夫ノ利害得失ニ關シテハ直接ニ其所屬炭坑主等ニ談判ヲ試ミ萬一示談ノ調ハザルトキハ之レヲ其地方同盟即チ「District」會ニ提出シ尙ホ調和セザルトキハ。更ニ之レヲ大地方同盟即チ「サウスウエールス」地方又タ「ドラム」地方等ノ如キ地方炭坑夫同盟團體ニ移シ然カモ尙ホ調停セザルトキハ終ニ全英國中央同盟炭坑夫團體ニ提出スルノ順序ヲ履ミ正々堂々以テ其利害ニ付協議スルノ慣習トス豈ニ盛ナリト謂ハザル可ケンヤ

### 第二章 英國炭坑賃金率協定ニ關スル狀況

現今英國ニ於テハ炭坑ニ於ケル採炭及勞働賃金率ハ假令ヒ炭價ノ高低スル場合ニ際シテモ決シテ我國ニ於ケルガ如ク炭坑主自身ノ意ニ任セ恣ニ之レヲ増減スルコト能ハズシテ。如此必要ニ際シテハ先ヅ之レヲ炭坑夫同盟團體ト協議ヲ開キ之レガ熟議ヲ待テ初メテ之レヲ實行スルヲ得ルモノニシテ。如此事實ハ英國

英國炭坑賃金率協定ニ關スル狀況

同盟炭坑夫及地方獨立の組合炭坑夫ヲ備役スル炭坑ニ於テハ勿論ナリト雖モ。其他無同盟炭坑夫ヲ使用スル炭坑ニ於テモ賃金率ニ付坑夫ト協議スルノ困難ナル有様ハ到底我國炭坑ニ於ケル比ニ非ズ左ニ英國炭坑ニ於ケル賃金率ニ就キ已往及現在ノ沿革ヲ鈔シク述ントス。

(1) 已往ニ於ケル英國炭坑賃金率協定法

一、三四九年英國勞働者條例ノ發布セラレタル以來永ク英國ニ於テハ炭坑勞働者ハ年季契約ヲ以テ被雇セラレ其賃金率ノ如キモ專ラ條例ノ下ニ規程セラレ恰モ一種ノ奴隸ノ如ク炭坑勞働ニ從事セシガ後一七七五年英國議會ニ於テ一條例ヲ議決シ。其當時直接ニ炭坑勞働ニ從事セザルモ將來炭坑勞働ニ從事セントスルモノハ以來ハ炭坑主ニ對シ年季契約ヲ結ブノ必要ナク。其就業ニ付テハ任意タル即チ自由的勞働者タルヲ得ルコト、ナレリ其後再ビ一七九九年ニ該條例ヲ補足セシモノ發布セラレタリ即チ

- 一、 條例發布ノ當時ニ於ケル炭坑勞働者ハ總テ自由勞働タル可キコト
- 一、 各地方ニ於ケル行政官ハ毎年勞働者ノ賃金率ヲ規定スルコト
- 一、 炭坑主ハ坑夫ニ對スル前渡金ニ對シ坑夫收得ノ十二分ノ一ヲ超過セザル

賃金ヲ預リ置クノ權利アルコト

一、 炭坑勞働者ノ組合ヲ起スモノハ罰金ニ處セラレ可キコト  
斯ノ如クシテ炭坑夫ハ僅ニ自由勞働者タルノ途ヲ開カレタリシモ其當時ハ現今我國ニ於ケル恰モ納屋頭ノ如ク坑夫ト坑主トノ間ニ一種ノ採炭契約者アリテ坑夫ニ對スル賃金ハ態々其中間契約者ノ所有ニ屬スル飲酒店ニ於テ之レヲ仕拂ヒ以テ自然ト坑夫ノ賃金ヲ飲酒代ヨリ吸收スルノ惡習慣專ラ行ハレタリシ加之炭坑主ニ於テモ坑夫賃金ノ支拂ヲバ特ニ延引シ以テ坑夫ニ向テ殊更ニ前金ヲ貸與シ之レニ對シ高利ヲ貪ボリタルガ如キ情況ナリシ  
前述ノ勞働者年季契約法ハ後チ一八四四年ニ於ケル坑夫同盟罷業ヨリシテ殆ンド其勢ヲ減ゼシカ。然カモ或ル地方ニ於テハ殆ンド近來ニ至ル迄之レガ慣習ヲ殘シタリシ。然ルニ一八七七年及一八七八年ノ交ニ至リ前年ノ炭坑瓦斯爆裂ヨリシテ二百九十人餘翌年ニ五百四十人餘ノ變死者ヲ英國ニ於テ出シタリシヲ以テ終ニ國會ニ於ケル問題トナリ。其翌一八七九年二月十二日ニ至リ炭坑ノ保安取調ノ爲メ調査委員會ヲ設ケ當時英國炭坑ニ於ケル鑛山技術者。炭坑主。及炭坑勞働者代理者等ヨリ成リタル委員ヲ以テ組織シ約七ヶ年ノ長時日ヲ費シ之

レガ取調ノ結果ヲ報告スルニ至レリ然ルニ此調査會ノ創立セラレ以テ炭坑各種ノ事情ヲ取調ベツ、アリシ間ハ恰モ英國炭坑地方ニ於テハ其當時炭況不振ノ時機ナリシヲ以テ坑主側ニ於テハ炭坑賃金ノ減額ヲ請求セシモ坑夫ニ於テハ之レヲ承諾セズシテ互ニ折合ヲナサザリシガ同年末ニ至リ炭況モ一變シタリシヲ以テ坑主ニ於テ終ニ賃金率ニ對シ耳ヲ傾クルニ至リ。此時初メテ英國各炭坑地方ニ於テ炭坑勞働賃金率ヲ決定スル一種ノ便法タル所謂「スライディングスケール」法 (Sliding Scale) ト稱スル賃金ノ規程法ヲ實行セラル、ニ至レリ。而テ此方法ハ現今ニ至ルモ英國炭坑地方ニ於テ實地ニ應用セラレツ、アル地方尠ナカラズトス其詳細ハ左ニ之レヲ述ブ可シ。

(2) 現今ニ於ケル炭坑賃金率協定法

現今英國炭坑勞働賃金額協定法ハ大別シテ左ノ三種ニ區別スルヲ得可シ

- (イ) 地方炭坑主及炭坑夫ノ聯合代理者 (Joint Committee) 會ヲ以テ地方炭坑基礎賃金率ニ對シ時々ノ賣炭相場ヲ斟酌シテ炭坑ニ於ケル實地賃金額ヲ決定スル一種ノ滑準法即チ「スライディングスケール」法 (Sliding Scale) ニ依ルモノ
- (ロ) 地方炭坑主及炭坑夫ノ代表者ヨリ成ル協和會 (Board of Conciliation) ヲ以テ

時々炭坑賃金率ヲ互ニ協定スルモノ

(ハ) 地方炭坑主及炭坑夫ニ於テ直接ニ之レガ賃金率ヲ協定スルモノ  
然シテ前項(イ)及(ロ)ノ賃金協定法ヲ取ル地方ハ英國ニ於ケル坑夫及坑主各同盟地方ニ於テ行ハル、法ニシテ内チ最モ現今專ラ廣ク行ハル、ハ(ロ)ノ協和會ノ決議ニ基ク賃金協定法ナリ。而シテ(ハ)ノ坑主及坑夫ノ直接賃金協定法即チ我國ニ於テ專ラ行ハル、ガ如キ法ハ現今英國ニ於テハ實ニ僅少ナル地方炭坑ニ止マルモノトス

左ニ前項各種ノ賃金協定法ヲ順次説明ス可シ

- (イ) 炭坑主及炭坑夫聯合代理者會ヲ以テ石炭賣價ノ高低ニ從ヒ自動的ニ決定スル賃金法 (Sliding Scale)

現今英國ニ於テ「スライディングスケール」法ヲ實行セラル、炭坑地方ハ「ドラム」地方「ノーザムバール」地方「クリーブランド」地方等ニシテ晚今ニ至ル迄テ英國ニテ最モ有名ナル「カーヂツ」地方ニ於テモ數十年間ニ亘リ此法ヲ實行セラレタリシ抑モ「スライディングスケール」賃金協定法ハ。其名稱ノ表示スルガ如ク恰モ尺度ノ滑リ上リ滑リ下ルガ如ク地方炭價ノ高低ニ準シテ或ル一定ノ賃金率ニ對比シ以

テ。實地支拂ノ勞働賃金額ヲ増減スルノ法ニシテ炭坑ニ於ケル種々復雜ナル階級ノ勞働賃金ニ付勞働者ノ需要。供給ノ種々變化ヲ來ス可キ場合ニ際シ實際上炭坑勞働賃金ヲ決定セントスル場合ニ發生スル幾多ノ困難ト繁雜トヲ省略シ一種ノ自動的標準ヲ以テ炭坑賃金ヲ協定スル公平且ツ簡易ナル法ニシテ。之レヲ我國炭坑賃金決定上ニ應用シテ或ハ便益ナル點アラシト信ズ。我國ニ於テモ近キ將來ニ於テハ今日ニ於テ無智。無頓着トシテ世間ヨリ想像セラレツ、アル炭坑夫モ追々時勢ノ變遷ト教育ノ進ムニ從ヒテ益々自己ノ權利ト利害ニ付テハ一層ノ思慮ヲ廻ラズニ至ルハ自然ノ理ニシテ。終ニ炭坑勞働賃金額ノ如キモ今日ニ於テ往々行ハル、稍々炭坑主ノ我田引水的ノ賃金率法ヲ以テシテハ到底満足スルヲ欲セザルニ至ル可キハ疑ヲ容レザル處ナル可キヲ以テ。茲ニ數十年間英國炭坑賃金率ノ決定ヲ支配セシ「スライディングスケール」法ヲ研究スルモ無益ノ業ニ非ザル也。左ニ英國中最モ有名ナル石炭地方タル「カーデツ」地方ニ於テ一八七五年ヨリ一九〇二年ニ至ル二十七年間實施セラレタリシ有名ナル「スライディングスケール」法ノ詳細ヲ述ブ可シ

a. 「カーデツ」地方炭坑賃金ノ協定ニ關スル「スライディングスケール」法ノ起原

及原則

一、八六四年ニ至ル迄「カーデツ」地方ニ於ケル各炭坑ハ各々直接ニ其坑夫ト賃金ノ協定ヲナシ。其當時ハ坑主又タハ坑夫ノ何レモ賃金ノ問題ニ對シ同業者互ニ相團結シテ之レヲ熟議スルガ如キ舉ニ出デザリシガ恰モ一八六四年ニ至リ「カーデツ」地方炭坑主團結的ノ協會ヲ創立シタリシ以來ハ炭坑主ノ大部分ハ賃金問題ニ關シ互ニ共同的運動ヲ取ルニ至レリ而テ同時ニ亦タ炭坑夫ニ於テモ其後一八七一年ニ於ケル炭坑夫同盟罷業後直ニ團結的協會ヲ創立シテ以テ各自ノ利害問題ヲ講究スルニ至リタリ。

實ニ「カーデツ」地方ニ於テハ一八七一年ヨリ一八七五年ニ至ル僅ニ五年間ニ長期ニ亘レル凡三回ノ坑夫同盟罷業ト同地方坑主及坑夫間ニ於ケル無數ノ紛議トハ炭坑ニ於ケル傭主及被傭者ヲシテ非常ナル損害ヲ與ヘ。相互意見ノ相違セル結果ハ終ニ一八七五年一月一日ヨリ同年六月一日ニ至ル同地方炭坑夫ノ一大同盟罷業ヲ生ズルニ至レリ。

然シテ此ノ同盟罷業ニ際シ坑主等モ委員ヲ選ミ其善後策ニ吸々タリシニ當リ。其當時委員中ニ於ケル最若年者ニシテ當時炭坑界ニ有名ナリシ「サー」ウイリヤム、

ルイス] (Sir William Lewis) ト云ケル名士アリテ

石炭賣價ノ高低ニ準シテ自動的ニ炭坑賃金ヲ規定スル法

ヲ創立セントノ希望ヲ該地方ニ於ケル重ナル炭坑主間ニ提議シ。終ニ一八七五年五月十四日ニ於ケル炭坑主協會々議ニ附セシガ其當時共ニ炭坑社會ニ有名ナリシ「ビビアン」及「ニクソン」(Mr. H. H. Vivian) (Mr. John Nixon) 氏等ノ賛成ヲ得テ本問題ヲ調査スルノ目的ヲ以テ。炭坑主代理者會ヲ設ケ以テ前記「ウイリヤム、ルイス」氏ノ案出セラレタル石炭賣價ヲ基礎トシテ炭坑賃金ヲ増減スル法即チ彼有名ナル「スライディングスケール」(Sliding Scale) 法ヲ講究シ。後チ長時日ノ協定ヲ經テ終ニ一八七五年十二月十一日ニ至リ創メテ第一回ノ「スライディングスケール」賃金協定ヲ實行スルニ至レリ

此協定法ハ先ヅ

- イ、一八六九年ノ當時ニ於テ「カーデツフ」地方ニ於ケル各炭坑ニ於テ實際支拂ハレタル賃金額ニ其百分ノ五ノ割合ヲ加算シタルモノヲ以テ基礎賃金ヲ組成スルモノト決議シ
- ロ、其當時「カーデツフ」港外二港ニ於ケル船乗り最上「スチーム」石炭一噸ヲ平均

英貨十二志ト假定シテ基礎炭價ヲ組成スルモノト決議シ

以テ(イ)兩原素ヲ相對比シテ實地ニ炭坑賃金率ヲ算出スルノ法ニシテ其滑動スル標準ハ其當時假定シタル(ロ)ノ基礎炭價即チ船乗り一噸ニ付十二志ヲ超ユルトキハ每噸一志ニ對シ坑夫ニ向テ支拂フ可キ實際ノ賃金ハ(イ)基礎賃金ニ加フルニ其百分ノ七半タル可キ計算トセリ。

而テ前項(ロ)ニ於ケル石炭賣價ハ「カーデツフ」「ニウボルト」及「スワンジー」ノ三港ニ於ケル每半ケ年目ニ一々之レガ實地ヲ確メ定ムルモノニシテ其方法ハ前六ヶ月間ニ於ケル大塊最上炭ノ總賣炭價ヨリ之レガ平均ヲ求ムルモノトセリ

而シテ炭坑夫ニ支拂フ可キ實地賃金ニハ最高及最低額ノ範圍ヲ置キ何タル場合ニ於ケルモ前項(イ)ノ基礎賃率ヲ下ルコトヲ得ズ又タ其基礎賃金率ニ其百分ノ六十七半ヲ加ヘタル額ヲ超過スルヲ得ザルモノトセリ

以上ハ實ニ英國炭坑ニ於ケル各種賃金ヲ協定スル方法ノ一タル有名ナル滑リ尺法即チ Sliding Scale 法ノ起原ナリトス

b. 「カーデツフ」地方炭坑賃金率ニ關スル「スライディングスケール」(Sliding Scale)

法ノ沿革

英國炭坑賃金率協定ニ關スル狀況

前述シタル「スライディングスケール」法ハ、一八七五年ヨリ一九〇二年末ニ至ルマデ「カーデツ」炭坑地方ノ貸金率ヲ支配セシ法ニシテ一人ノ議長ノ下ニ坑主及坑夫ノ聯合代理者會ヲ組織シ以テ之レヲ處理スルモノニシテ一八七五年ヨリ一八七九年ニ至ル迄ハ之レガ議長ニハ Mr. David Davies 一八八〇年ヨリ一八九九年迄ハ Sir. William Lewis 一九〇〇年ヨリ一九〇二年迄ハ Mr. Archibald Hood 又ター一九〇二年ヨリ最後ノ期間ハ Mr. William Jenkins ニシテ同副會長ニハ坑夫代理者タル Mr. William Abraham 同會ノ創立當時即一八七五年ヨリ一九〇二年ニ至ル間終始其位置ヲ占メタリ。

然ルニ「スライディングスケール」法ハ一八七五年創設以來一八八〇年一八八二年一八九〇年一八九二年及一八九八年ノ五回ニ多少ノ改正ヲ經タリ今マ之レガ變遷ヲ大略表示スレバ左ノ如シ

至ル)		最上賃金
基礎賃金	67 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> %以内	
ナ	シ	
ナ	シ	
ナ	シ	
ナ	シ	
ナ	シ	

英國カーデツフ地方ニ於ケル炭坑賃金率決定法即チ(スライディングスケール)協定法變更主要點概表

(但一八七五年ヨリ一九〇二年末ニ至ル)

協定年	基礎賃金	カーデツフ。ニウボルト。スワンジー港ニ於ケル船乗リ一噸石炭基礎價格	賃金ノ高低	石炭賣價算出期間	最下賃金	最上賃金
1875	一八六九年ニ於ケル支拂賃金ノ5%増	最上スチーム石炭 12/-, 家食用石炭 11/-	賣炭價每一志ニ付賃金 7½%ノ割	六ヶ月	基礎賃金	基礎賃金 67½%以内
1880	一八七九年十二月ニ於ケル支拂賃率	最上スチーム石炭 8/6, 家食用石炭 8/-	賣炭價ニ於ケル毎噸ニ付毎四片ニ對シ賃金 2½%ノ割 但スチーム炭價 13/2ノ家食用炭 12/8 (毎噸ニ付) 以上ナルトキ ハ前項ノ外尙毎噸價ニ對シ 1/4 ニ對シ 2½%ノ増加ヲナス	四ヶ月	ナ	シ ナ シ
1882	一八七九年 同 上	各種石炭ニ對シ 7/8 及 8/- 以内トス	賣炭價毎四片ニ付賃金 2½%ノ割 而シテ其後一八八七年ニ賣炭價毎二片ニ付賃金 1¼%ノ割ニ變更	四ヶ月	ナ	シ ナ シ
1890	同 上	各種石炭ニ對シ 7/10½及8/- 但無煙炭ヲ除ク	賣炭價毎噸ニ對シ毎 1½d,ニ付賃金 1¼%ノ割即一志ニ付 10%	三ヶ月	ナ	シ ナ シ
1892	同 上	各種石炭ニ對シ 7/10½及8/- 但 同 上	賣炭價毎 1,71d.ニ付賃金 1¼%即每一志ニ付 8¾%	二ヶ月	ナ	シ ナ シ
1898	同 上	各種石炭ニ對シ 7/10½及8/- 但 同 上	同 上	二ヶ月	ナ	シ ナ シ

八九〇年一八九二年及一八九八年ノ五回ニ多少ノ改正ヲ經タリ今マ之レガ變遷ヲ大略表示スレバ左ノ如シ

英國カーデフ炭坑地方(スライディングスケール)法  
 = 據ル石炭平均賣價及炭坑労働賃金率比較表

但一八七〇年ヨリ一九〇一年ニ至ル

英國炭坑賃金率協定ニ關スル狀況

年 別	坑主及坑夫代表者調査ニ 屬スル同地方カーデフ 港外二港ニ於ケル大塊炭 平均一噸賣價	同地方炭坑ニ於テ一八七 九年ノ當時ニ於テ支拂ハ レタル實地炭坑労働賃金 額ニ對スル割増率
1880	8/5.51	4.58%
1881	8/11.04	6.66%
1882	9/5.32	12.91%
1883	9/8.36	15.41%
1884	9/10.47	17.50%
1885	9/3.37	13.75%
1886	8/4.77	7.50%
1887	8/0.25	2.91%
1888	8/4.22	3.33%
1889	10/6.19	17.08%
1890	13/0.30	43.64%
1891	13/4.89	55.83%
1892	11/6.84	36.14%
1893	9/8.68	15.00%
1894	10/8.11	25.10%
1895	9/6.94	16.77%
1896	9/1.70	11.04%
1897	9/2.83	10.94%
1898	10/1.31	15.55%
1899	11/1.01	23.95%
1900	15/1.86	53.23%
1901	16/0.75	73.33%

但一八七六年一月ヨリ一八八〇年一月迄ハ賃金ハ基礎額ト  
 同一ニシテ即一八六九年ニ於ケル各炭坑支拂ノ賃金ニ加  
 フルニ其5%ヲ以テセラル、モノトス

二五五

英國煤炭主要變遷表(一)

(一八七〇年ニ至ル一八八〇年ニ至ル)

金賃土量	金賃可量	消費幾何 間限出量	高
金賃額基 内以1870	金賃額基	凡々六	
々	々	凡々四	諸ノ諸金賃ノ價 キヤハ土以(付ニ神前)ノ價 スナリ取解ノ諸ノ價ニ
々	々	凡々四	更變ニ諸ノ諸金賃付ニ其二
々	々	凡々三	諸ノ付ニ志一取解ノ諸ノ價
々	々	凡々二	諸ノ付ニ志一取
々	々	凡々二	



c. 「カーチツフ」地方炭坑賃金率決定ノ「スライデングスケール」(Sliding Scale) 法  
實施ニ付炭坑主及炭坑夫間ニ於ケル規約實例

英國炭坑各種賃金率ヲ自動的ニ調和スル便法タル有名ナル「スライデングスケール」法ノ起原、原則及變遷ニ付テハ前項之レヲ述ベタリシガ。之レヲ實行スルニ當リ坑主及坑夫間ニ於ケル規約中最近ノモノヲ左ニ記ス可シ。之レ實ニ英國炭坑界ニ於テ數十年間炭坑賃金ヲ支配セシ便法ニシテ早晩我炭坑ニニ於テモ近キ將來ニ於テ炭坑夫人智漸々發達スルニ從ヒテ賃金問題ノ如キモ自然ニ勃興スルハ數ノ免カレサル可キ處ナルヲ以テ今日ニ於テ吾人ノ之レヲ參考トシテ記述スル所以ナリ

一、八九八年「カーチツフ」地方炭坑主及炭坑夫間ニ於ケル契約條項

本契約ハ一、八九八年九月一日「モンモウスシャイヤ、サウスウエールス」炭坑主協會ヲ代表シタル下ニ記シタル「ウイリヤム、トーマス、ルイス」エドワード、ジョンズ」外十七名ト同協會ニ屬スル炭坑ニ被雇セラル、勞働者(但機關方、火夫、坑外仕上方等ヲ除ク)ヲ代表スル下ニ記シタル「ウイリヤム、アブラハム」アルフレッド、ヲニ「フランス」外十名ノ間ニ於テ締結セラレタルモノトス

第一條 一、八九八年九月一日ヨリ本協會各炭坑ニ於テハ左ニ記スル條項ニ基

キ炭坑事業ヲ繼續セラル、モノトス

第二條 昨年三月三十一日ヲ以テ滿了セシ「スライデングスケール」契約(但本契

ハ舊契約ト稱ス)ノ各條項及一、八九三年二月十七日ニ於ケル契約條項中ノ第

三條ハ一、九〇三年一月一日ニ至ル本契約期限中ハ有效ニ實行セラルヘキモノトス

第三條 從來ノ舊慣タル「マボーン」紀念日トシテ知ラレタル毎月ノ坑夫休日及

其他之レニ類似ノ休日ハ將來之レヲ禁止セラル、モノトス

第四條 一、八九八年十一月三十日ニ至ルマデ支拂フ可キ賃金ハ一、八七九年十

二月ニ於ケル基礎賃金ニ其百分ノ十七半ヲ加ヘタルモノタル可キコト

第五條 賣炭價格ノ檢査ハ一、八九二年ノ契約第十二條ニ從ヒテ一、八九八年十

二月一日ヨリ以後ノ賃金ヲ決定スル爲メニ、一八九八年十月三十一日以前ノ

二ヶ月間ニ於ケル賣價ヲ以テ算出セルモノトス

第六條 一、八九九年九月一日以後本契約ノ結果トシテ坑主ニ於テ一、八七九年

十二月ニ於ケル基礎賃金ノ上ニ百分ノ十二半ニ下ルトキハ被雇者ハ本契約

第二條ノ條項ニ係ラズ六ヶ月間ノ豫告ヲ以テ本契約中ノ一月一日又ハ七月一日ニ本契約ヲ解除スルノ權利ヲ有スルモノトス

雇主代表者

W. Thomas Lewis

Archibald Hood

Adward Jones

W. Thomas

E. P. Martin

T. Forster Brown

Ered L. Davies

労働者代表者

W. Abraham

T. P. Isaac

Alfred Orions

兩當時者ニ對スル證人

W. G. Dalziel

Lewis Miles

Joint Secretaries.

左ニ揚クルハ前項一、八九八年契約中第二條ニ關係スル所謂ル舊契約トス

一、八九二年「カーデツフ」地方炭坑主及炭坑夫間ニ於ケル契約條項

本契約ハ一、八九二年一月一日「モンモウスシャイア、サウスウエールス」炭坑主協會ヲ代表シタル下ニ記シタル「ダヴリウ、トーマス、ルイス」外八名ト同協會ニ屬スル炭坑労働者(但機關方、火夫坑外仕上方等ヲ除ク)ヲ代表スル「ウイリヤム、アブラム」外十名ノ間ニ於テ締結セラレタル契約トス

第一條 兩當事者ハ今後聯合委員會ト稱セラレ本會ハ坑主及労働者ニ直屬スルモノトス

第二條 聯合委員會ハ二名ノ秘書役ヲ置キ一名ハ坑主他一名ハ労働者ヨリ選定セララル、モノトス

第三條 聯合委員會ニ屬スル委員ノ數ハ二名ノ秘書ヲ除キ總數二十二名ヲ超過セズシテ其内十一名ハ坑主ヲ代表シ他ノ十一名ハ労働者ヲ代表シテ職務

ヲ執行スルモノトス

二六〇

第四條 委員會ハ一八九二年一月一日ヨリ下ニ記スル條件ニ從ヒ本會ニ屬スル炭坑ニ於ケル労働者ニ向テ支拂フ可キ賃金割合ヲ協定スルモノトス

第五條 本契約ハ第十五條ニ記シタル炭坑ヲ除クノ外總テノ「モンモウス、サウスウエールス」炭坑主協會員ヲ包含シ本契約ヲ適用セラル、モノトス

第六條 賃金ハ時々計算方ノ算出證明セラレタル石炭平均正味賣價ヲ基トスル滑リ尺法ヲ以テ之レヲ調定セラル、モノトス

第七條 平均正味賣價ハ「カーデツフ」「ニウボルト」「スワンジ」「パリー」港ニ於ケル炭坑撰炭ノ大塊船乗炭價ヨリ算出セラル、モノトス

第八條 炭坑ニ於テ貨車積渡ヲ以テ賣却セラレタル石炭ニ向テハ之ニ通常船積港迄ノ運賃ヲ加エテ平均正味賣價ヲ算出スルモノトス

第九條 將來増減セラル可キ賃金ノ基礎ハ一八九九年十二月ニ於テ本契約關係ノ各炭坑ニ於テ實際ニ支拂ハレタル各種賃金タル可キモノニシテ此賃金ハ石炭一噸ヲ七志十片四分ノ一以上八志以下ニ於テ基礎平均正味賣價ト同等タルモノトス。

但本契約締結當時ハ一八七七年ニ於ケル實地支拂賃金割合ヲ基礎トスル特種ノ炭坑ニ於テハ之レヲ其儘ニ賃金ノ基礎トスルモノトス

第九條 「モンモウス、シャイヤ、サウスウエールス」炭坑主協會ニ屬スル炭坑ニ於テハ雇主及労働者共ニ互ニ一八七九年十二月ノ當時ニ現在セシ慣習、約束等ヲ堅ク守リ將來相互當事者間ニ於ケル協定ヲ經ルニ非ラザレバ之ヲ變更セラレザルモノトス

第十條 炭坑賃金ハ一八八二年七月六日附及一八九〇年一月十五日附ノ賃金標準ニ基テ聯合計算方ノ算出シタル平均賣炭價ノ高低ニ從テ每噸賣價ノ一片七一ニ付百分ノ一ノ一個四分ノ一 $(\frac{1}{4}\%)$ ヲ増減シテ毎二ヶ月毎ニ増減セラル、モノトス

第十一條 本契約中ニハ賃金率ノ最高、最低ノ制限ヲ設ケザルモノトス

第十二條 雇主及労働者ヨリ各一名ヅ、ノ計算方ヲ選出シ以テ毎二ヶ月間ニ於ケル平均正味賣炭價ヲ調査スルモノトス

第十三條 前項ノ計算方ハ毎二ヶ月間ニ於ケル正味平均賣炭價ノ證明ヲナシ之レヲ委員會ノ秘書役ヲ除ク聯合委員會ニ提出シ以テ之レヲ坑主及労働者

ニ告知スルモノトス

二六二

第十四條 十二ヶ月間以上ノ期間ニ渉ル賣炭契約ニ就テハ其契約期限中ハ平均賣炭ノ計算ニ加ヘザルモノトス

第十五條 計算方ハ無煙炭坑ヨリ採掘セラレタル石炭ノ賣炭價ハ此ノ計算ニ加ヘザルモノトス

第十六條 本聯合委員會ハ毎月尠シクモ一回開會スルモノトス

第十七條 本契約關係ノ兩當事者ハ關係炭坑ニ於ケル紛擾ヲ防止スル爲メニハ總テ盡力ヲナシ若シ相互間ニ避ク可カラザル異議ヲ生ジタルトキハ坑主及坑員ハ其炭坑ニ屬スル勞働者ト共ニ之レヲ示談調和スル事ヲ謀リ。然カモ尙ホ折合ヲナサザル場合ニ限り之レヲ本聯合委員會ニ提出スルモノトス而テ坑主及勞働者間ニ於ケル異議問題ノ聯合委員會ニテ熟議セラル、モ終ニ調和ヲ見ル能ハザル場合ヲ除ク外ハ坑主及勞働者間ニ於ケル契約ハ兩者ニ於テ勝手ニ之ヲ解除セザルモノトス

第十八條 本契約關係ノ炭坑ニ於テハ勞働者ニ支拂フ可キ賃金ハ毎二週間ニ一回之レヲ支拂スルモノトス但從來毎週ノ支拂ヲナシタル炭坑ニ於テハ其

儘之レヲ繼續スルヲ得ルモノトス

第十九條 一八九二年一月中ニ支拂フ可キ賃金ハ一八七九年十二月ニ於ケル基礎資金ニ對シ其百分ノ四十六ト四分ノ一ヲ増加シタルモノトス

第二十條 本契約中ノ採掘セラレタル礦物ト稱スルハ下ニ説明セラレタル精撰大塊石炭タルモノトス

一 坑夫ニ支拂ハル可キ採炭賃ニハ大塊炭ヲ採掘シ之レヲ切又ヨリ地上ニ於ケル撰炭機ニ運ビテ篩分ケスル爲メニ生ジタル粉炭ニ對スル勞力ヲ含有ス即チ一八八七年ニ於ケル炭坑條例中ノ大塊及粉炭ヲ採掘スル爲メニ費サル、總テノ勞力ニ對スル價值ト同等ナルモノニシテ當然之レハ單ニ精撰大塊ニ對スル勞力ノ價值ヨリ多キモノトス

一 坑夫ニ支拂フ可キ目的ニ對スル精撰大塊炭ノ斤量ハ左ノ如キ方法ヲ以テ之レヲ定ムルモノトス

一 各炭車ノ坑外ニ捲揚ゲラレタルトキハ先ヅ之レヲ權秤器ニテ皆掛ケヲナシタル後チ之レヲ撰炭篩ニ覆シ大塊炭ハ篩上ニ轉落シ粉炭ハ篩目ヲ通過ス然シテ其炭車ノ風袋ヲ秤リテ之レヲ總斤量ヨリ差引クモノトス

一、篩目ヲ通過シタル粉炭ハ之レガ斤量ヲ秤リ以テ炭車ニ入レタル石炭總重量ヨリ之レヲ扣除シ以テ精撰大塊炭ノ斤量ヲ定メ之レヲ以テ採炭賃即チ塊粉兩炭ヲ採掘スルニ要シタル坑夫ノ勞力ニ對スル價值ヲ定ムルモノトス

第二十條 本契約第二十條ハ從來實行慣習セラレタル石炭看量法、撰炭法、賃金支拂法等ヲ變更スベキ精神ニ非ラザルヲ相互ニ於テ堅ク承諾セラル、モノトス

但相互個人的ノ處置ニ付テハ此限リニ非ラズ

第二十一條 本契約ハ一八九二年一月一日ヨリ向六ヶ月繼續セラル、モノニシテ其後之レヲ變更セント欲スルトキハ兩當事者ノ一方ニ於テ、一八九二年七月一日又タハ翌年一月一日又タハ七月一日ノ如キ時日ニ豫メ六ヶ月以前ニ之レヲ豫告シタル上之レヲ實行セラル、モノトス

第二十二條 本契約復本ハ必ズ「モンモウスシヤイア」、サウスウエールズ「炭坑主協會員」ノ各炭坑ニ於ケル契約簿中ニ附屬セシメ各炭坑主又タハ其代理者之レニ署名シ且ツ其炭坑ニ被雇セラル、各勞働者一人毎ニ之レニ署名以テ

相互間ノ契約ノ條項トナスモノトス

第二十三條 本契約ヲ解除セントスルトキハ雇主及被雇者ハ必ズ或月ノ第一日目ニ之レガ豫告ヲナシ以テ或ル月ノ最後日ニ之レヲ解除スルモノタル事ヲ互ニ協定セルモノトス

雇主代表委員

W. Thomas Lewis

Edward Jones

Edward P. Martin

Edward Davies

Fred L. Davies

W. Thomas

T. Forster Brown

Graeme Agilvie

James Coequhoun

被雇者代表委員

英國炭坑賃金率協定ニ關スル狀況

附記ス

一八九二年一月一日附契約第十條ニ對スル貸金割合左ノ如シ

船乗リ石炭一噸ノ平均 均止味賣價ノ	基礎貸金 ニ加フル		同		上		同 上	
	以 上	以 下	同	上	同	上	同	上
7, 10,25	8, 0,00	Standard	11, 8,57	11, 10,29	33 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>			
8, 0,00	8, 1,71	1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	11, 10,29	12, 0,00	35			
8, 1,71	8, 3,43	2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	12, 0,00	12, 1,71	36 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>			
8, 3,43	8, 5,14	3 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	12, 1,71	12, 3,43	37 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>			
8, 5,14	8, 6,86	5	12, 3,43	12, 5,14	38 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>			
8, 6,86	8, 8,57	6 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	12, 5,14	12, 6,86	40			
8, 8,57	8, 10,29	7 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	12, 6,86	12, 8,57	41 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>			
8, 10,29	9, 0,00	8 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	12, 8,57	12, 10,29	42 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>			
9, 0,00	9, 1,71	10	12, 10,29	13, 0,00	43 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>			
9, 1,71	9, 3,43	11 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	13, 0,00	13, 1,71	45			
9, 3,43	9, 5,14	12 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	13, 1,71	13, 3,43	46 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>			
9, 5,14	9, 6,86	13 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	13, 3,43	13, 5,14	47 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>			
9, 6,86	9, 8,57	15	13, 5,14	13, 6,86	48 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>			
9, 8,57	9, 10,29	16 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	13, 6,86	13, 8,57	50			
9, 10,29	10, 0,00	17 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	13, 8,57	13, 10,29	51 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>			
10, 0,00	10, 1,71	18 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	13, 10,29	14, 0,00	52 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>			
10, 1,71	10, 3,43	20						
10, 3,43	10, 5,14	21 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>						
10, 5,14	10, 6,86	22 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>						
10, 6,86	10, 8,57	23 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>						
10, 8,57	10, 10,29	25						
10, 10,29	11, 0,00	26 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>						
11, 0,00	11, 1,71	27 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>						
11, 1,71	11, 3,43	28 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>						
11, 3,43	11, 5,14	30						
11, 5,14	11, 6,86	31 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>						
11, 6,86	11, 8,57	32 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>						

英國炭坑貸金率協定ニ關スル狀況

一八九二年一月一日

Lewis Miles  
 W. Gascoyne Dalziel  
 John B. Jones  
 David Beynon  
 Alfred Onions  
 Thomas Richards  
 Thomas Davies  
 Daniel Jones  
 T. D. Isaac  
 Morgan Weeks  
 Isaac Evans  
 D. Morgan  
 William Abraham  
 兩當事者ニ對スル證人

(ロ) 地方炭坑主及炭坑夫代表者ヨリ成ル協和會 (Board of Conciliation) ヲ以テ炭坑賃金ヲ協定スル法

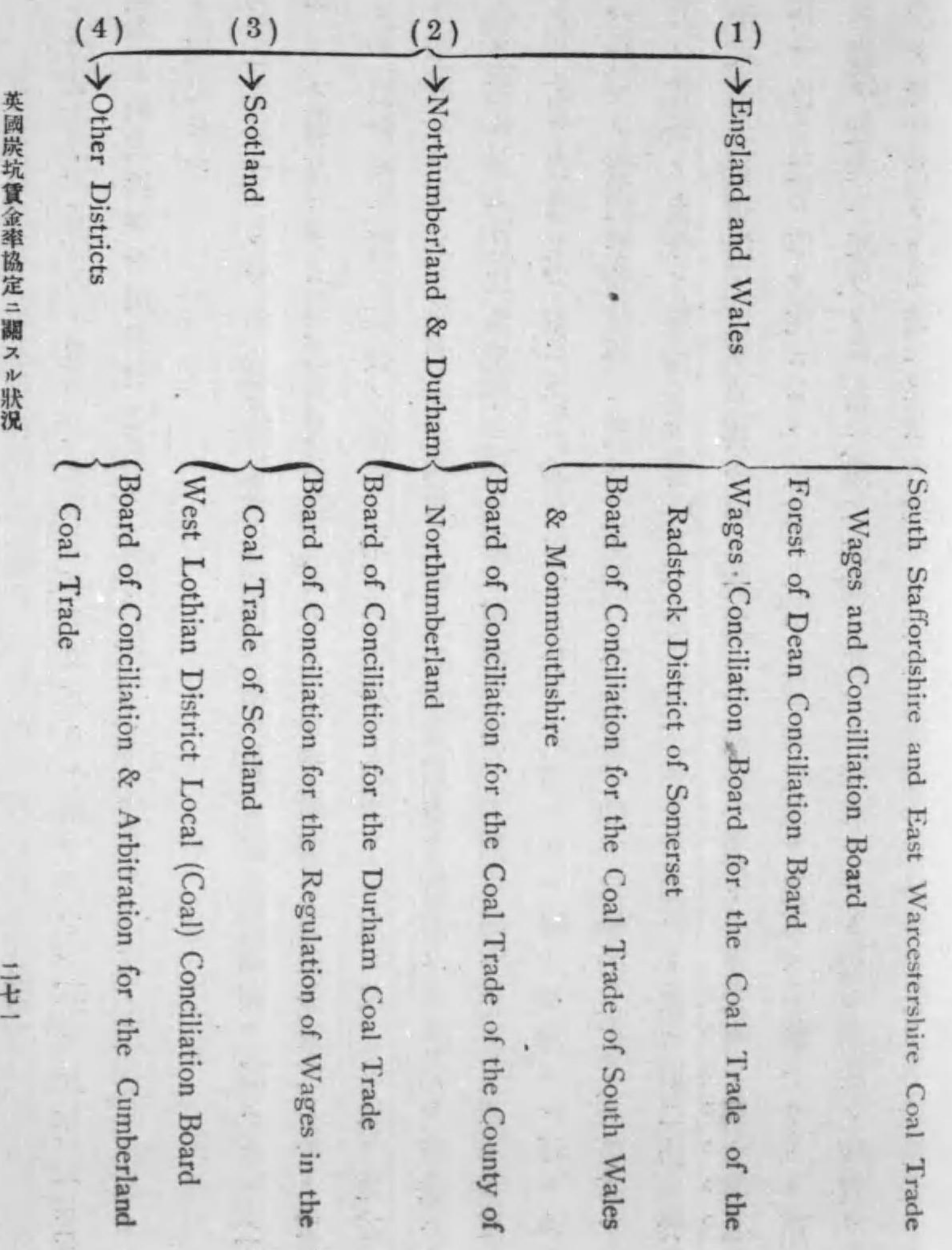
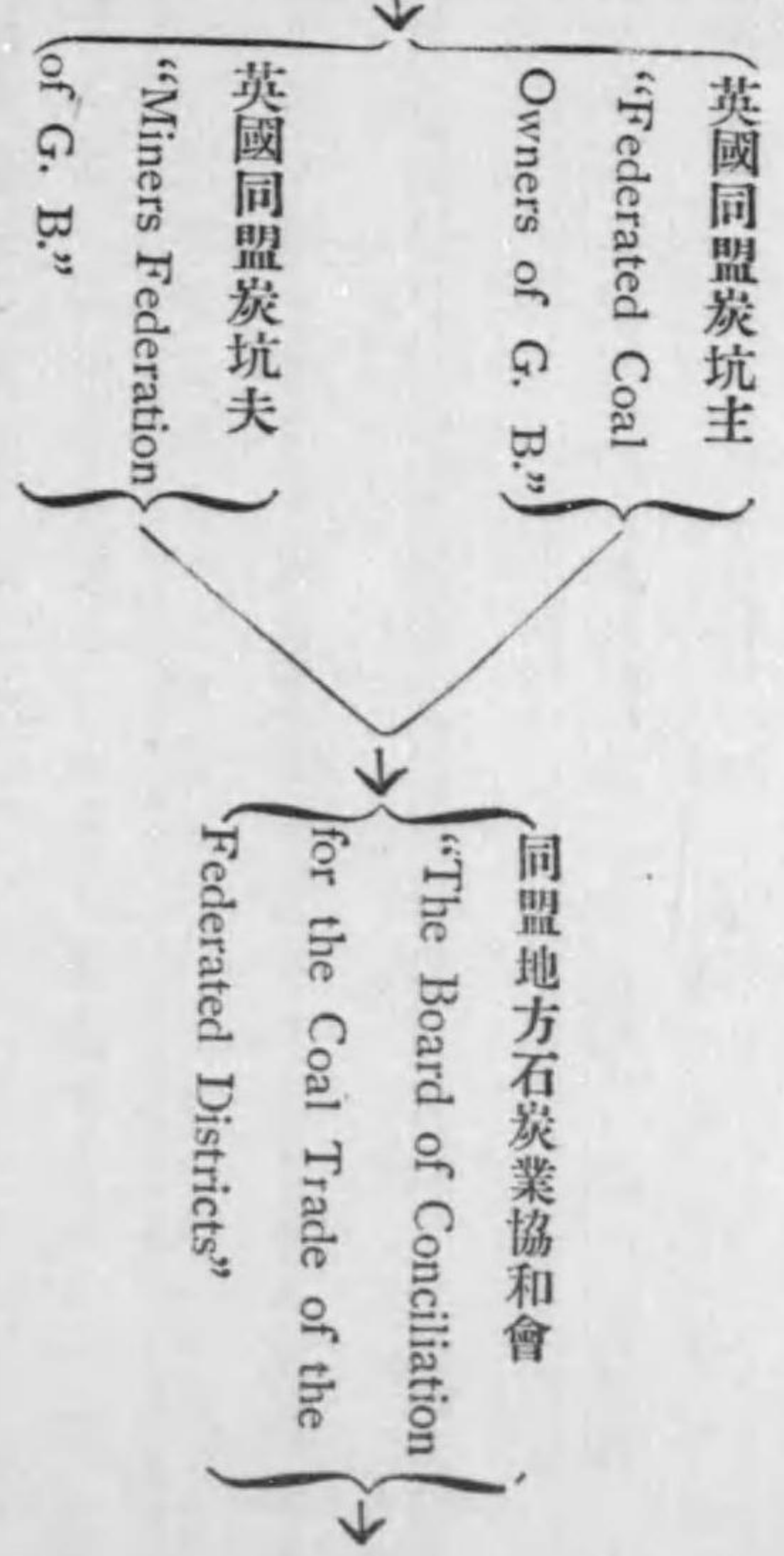
英國炭坑賃金率ヲ支配シツ、アル第二法タル坑主及坑夫ノ各代表者ノ協和會ヲ以テ或ル一定期間炭坑賃金率ヲ協定スルノ法ハ現今英國ニ於テ最モ廣ク行ハレ且ツ最モ勢力ヲ有スルモノニシテ現ニ同國ニ於テハ之レヲ採用スルモノ十地方アリ、實ニ現今英國炭坑夫同盟地方ノ大部分ハ此ノ法ニ據リ炭坑賃金率ヲ決定スルモノト云フモ不可ナシ

協和會ハ坑主及坑夫ヲ代表スル各同數ノ委員若干名宛ト外カニ炭坑主又ハ坑夫ノ何レニモ屬セズ且ツ地方ノ炭坑事業ニ關係ヲ有セザル名譽アル士ヲ局外ヨリ選定シタル所謂ル獨立議長ヨリ組成セラレ、モノトス。

今マ英國ニ於ケル此ノ協和會ノ實施セラレ、關係ヲ述ブレバ恰モ前述坑主及坑夫組合關係ト同様ニ英國ニ於ケル炭坑主及炭坑夫各同盟地方ヲ通ズル全炭坑賃金ヲ協定スルタメニ「同盟地方石炭業協和會」ト稱スルモノヲ置キ其以下ニハ「ダラム」地方、「サウス、ウエールス」地方、「カムバールランド」地方等ノ如ク更ニ各地ニ於テ其地方ニ於ケル坑主ト坑夫間ニ於テ協和會ヲ組織シ以テ地方炭坑ニ於ケ

ル一定期間ノ炭坑賃金率ノ協定ヲナスモノニシテ不幸ニシテ或ル地方ノ協和會ニ於テ炭坑賃金ノ協定不調ナルトキハ之レヲ前記ノ「同盟地方石炭業協和會」ニ提出シ以テ之レガ裁決ヲ乞フノ組織トス  
即チ之レガ關係ヲ表示セバ左ノ如シ

英國炭坑主及炭坑夫代表者協和會 = 依ル  
賃金協定法 (Board of Conciliation)



英國炭坑賃金率協定ニ關スル狀況



今マ茲ニ前項ニ述タル英國炭坑賃金率ヲ協定スル第一法ナル「滑リ尺法」(Sliding Scale)ト第一法タル協和會(Board of Conciliation)トノ賃金率協定ノ上ニ互ニ異ナル點ヲ摘記セン

前項已ニ述ベタルガ如ク英國炭坑各種賃金率ニ對シ實地支拂額ヲ定ムルニハ「カ―ヂツフ」地方ニテハ一、八六九年及一、八七九年ノ兩年間ニ實地各炭坑ニ於テ支拂ヒタル賃金額ニ對シ其後ノ協定ニ基キ其百分ノ何歩ヲ増加シ又タ其他ノ地方ニ於テモ或ル年ニ於ケル實地支拂賃金額ニ對シ其何歩ヲ増加スルカ如キ方法ニテ賃金ヲ定ムルハ已往及現今ニ於テ第一及第二法トモ共ニ同一ナリト雖モ其互ニ異ナル迄ヲ詳述セバ第一法ハ或ル年度ニ於テ支拂ヒタル額ニ増加スル可キ歩合ヲバ時々ノ賣炭平均價格ニ從ヒテ所謂滑リ尺ノ如ク自動的ニ定メ、炭價高ケレバ其ノ賃金ノ歩合ヲ増加シ下落スレバ之レニ反スルガ如シト雖モ第二法ニ於テハ滑尺的ノ自動法ノ代リニ賃金率ヲ決定スル公平ノ法トシテ局外ノ獨立議長ノ裁決ヲ待テ之レ等ヲ定ムルノ差違アルハ互ニ其主義ヲ異ニスル點ナリトス而テ其内容ノ枝葉ニ至リテハ第一、第二法間ニ甚シキ差異ナシト雖モ兩法ノ種質ヲ一層深ク考フルトキハ第一法ハ古來ヨリ炭坑夫ノ漸々進歩的行動ノ中途階級ニ屬

シ未ダ坑夫同盟ノ勢力ノ十分ニ發達セザリシ當時ノ法ニ屬スルヲ以テ、坑主ニ於テモ先ツ世上炭價ノ高下ニ從テ賃金ヲ増減スルモノタルヲ以テ商況不振ノ時ハ容易ニ其賃金ヲ下落セシムルヲ得テ坑主自身ノ利益ヲ損スル事甚シカラズ從テ左マデ坑夫ノ團體ニ對シ怖ル、ニ足ラザリシモ其後追々第二法ノ專ヲ行ハル、今日ニ於テハ單ニ如此キ單純ナル原因ヲ以テ之レヲ協定スル能ハズシテ專ラ坑夫團體ノ意向如何ニ因テ勢ヒ其賃金割合ヲ増減スルノ止ムヲ得ザルニ至ルヲ以テ實ニ坑主ノ苦痛ヲ感ズル處大ナリトス

之レヲ再言スレバ坑夫團體ノ勢力益々盛大ニ趣クニ從ヒテ勢ヒ炭坑賃金ハ世上ノ炭況割合ニ係ラズ益々其ノ割合ヲ増スニ至ルハ蓋シ數ノ免カレザル處ニシテ此レ實ニ追々英國炭坑主ノ昔日ノ如ク其ノ利益ヲ獨占スル能ハズシテ漸々坑夫ノ爲メニ其ノ利益ヲ奪ハルニ苦ム所以ニシテ英國炭坑賃金率ニ關スル最モ進歩シタル法ナリ之レ吾人ノ將來ニ於ケル我國炭坑界ニ於テ豫期スベキ事實ナラン乎。

左ニ英國中央同盟及ヒ各炭坑地方ニ於ケル協和會賃金協定ノ詳細ヲ記スヘシ  
a. 英國中央同盟地方石炭業協和會

英國中央同盟炭坑主及ヒ炭坑夫同盟團體ノ間ニ於テ設立セラレタル協和會事務執行規約

第一條 本協會ハ「同盟地方石炭事業協和會」ト稱ス

(The Board of Conciliation for the Coal Trade of the Federated Districts)

第二條 本協和會ハ一八九九年一月一日以後常ニ炭坑賃金ヲ協定スルモノトス

第三條 本協和會ハ英國同盟炭坑主ヨリ選出セラレタル炭坑主又タハ炭坑主代理者及ヒ炭坑夫同盟ヨリ選出セラレタル炭坑夫又タハ炭坑夫代理者各十四名

ト外ニ裁決權ヲ有スル局外者議長一人ヨリ組織セラル、モノトス

第四條 本協和會現在員ハ左ノ如シ

Chairman

The Right Hon. Lord James of Hereford

Coal Owners' Representatives:

South Yorkshire: Mr. H. J. Jones, Mr. J. J. Addy

West " : " A. C. Briggs, " A. J. Holiday

Lancashire : " Alfred Hewlett, " W. I. Bourke

Derbyshire: Mr. Fitzherbert Wright

" " Arthur G. Barnes

Nottinghamshire: Mr. Walter Salmond

Cannock Chase: Captain W. B. Harrison

外 二 名

Mr. Thomas Ratcliffe Ellis, Secretary

Miners' Representatives

Yorkshire: Mr. B. Pickard, M. P.

外 十 三 名

Mr. Thomas Ashton, Secretary

前記ノ内チ會長ハ A. Hewlett 副會長ハ B. Pickard, M. P. 氏之レニ任ゼラル或ル原因ヨリシテ議長以外ニ缺員ヲ生シタルトキハ一ヶ月以内ニ其所屬團體ヨリ之レヲ補缺セシムルモノトス

但前項ノ補缺員ハ直ニ之レヲ兩秘書役ニ通知スルモノトス

死没又タハ辭任等ノ原因ヨリ議長ノ空位ヲ生スルニ當リテハ本協和會ハ直ニ

他ノ議長ヲ選定スルノ手段ヲナス可キモノトス萬一其選任ヲ得ル能ハザルト  
キハ其當時ニ於ケル衆議院議員ノ同盟代表者中ヨリ之レヲ推舉スルモノトス  
第五條 本會ハ英國ロンドン市又タハ其時々本會ニ於テ決定セラル可キ他ノ場  
所ニ於テ開會セラル、モノトス

第六條 本會組成者即チ炭坑主又ハ炭坑主代理者及ヒ炭坑夫又ハ炭坑夫代理者  
ハ玆ニ略シテ當事者ト稱スルモノトス

第七條 兩當事者ハ各本會ノ事務執行ヲナス爲メニ秘書役一名宛ヲ選出シ兩秘  
書役ハ辭任又タハ自己ノ選出セラレタル當事者ヨリ解任セラル、ニ非ラサレ  
ハ其職務ヲ執行スルモノトス

兩秘書役ハ本會議ニ列席シ問題ヲ對議スルヲ得ルト雖モ然カモ本會ニ向テ動  
議、贊成、投票等ノ權利ヲ有セザルモノトス

第八條 兩秘書役ハ互ニ共同シテ議事録ヲ作り之レヲ復本トシ之レニ一々議長、  
會長、又タハ副會長、何レカ其ノ當時議會ヲ主掌セシ人ノ署名ヲ得テ其一部ヲ各  
秘書役ニ於テ之レヲ保存スルモノトス  
秘書役ハ自己所屬當事者ニ對シ通信ノ職務ヲナスモノトス

第九條 兩秘書役ハ議長及或ル一方當事者ノ秘書役ノ請求ニ依リ賃金率ノ變更  
本會則ノ變更、及ヒ本規則第四條ノ目的ニ付公文照會ヲ受ケタルトキハ二十一  
日以内ニ兩秘書役合意ノ時日及ヒ場所ニ於テ本會ヲ開會スルモノトス

第十條 議長缺席ノトキハ會長、又タ會長不在ナルトキハ副會長ニ於テ議事ヲ裁  
決シ萬一會長及ヒ副會長ノ二人缺席スルトキハ其會議席ニ於ケル多數ヨリ選  
出セラレタル會員之レヲ裁決スルモノトス

此場合ニ於テハ會長、副會長、又タハ以外ノ人ハ單ニ代理者ノ資格ヲ以テ投票ス  
ルヲ得ルモ然カモ裁決投票ノ權ヲ有セザルモノトス

議長出席セルトキハ議事ヲ裁決シ且ツ裁決投票ノ權ヲ有スルモノトス  
第十一條 炭坑ニ於ケル總テノ難問ハ先ツ本協和會へ提出シ熟議セラル、モノ  
トス蓋シ相互ノ難問意見ノ相違ヲ出來得ル限リ親密ニ協定スルハ兩當事者ノ  
希望スル精神タルモノトス

或ル問題ニ對シ本會兩當事者間ニ於テ合意セラレザル場合ニハ二十一日以内  
ヲ期シ閉會ヲナシ以テ違議條件ニ對シ兩當事者組成員ニ於テ之レヲ一層熟議  
シタル上兩秘書役ノ請ニ依リテ議長ノ出席ヲ得テ更ニ之レヲ討議シ尙ホ本會

兩當事者間ニ於テ合意ヲナスコト能ハザルトキハ議長ハ該議會ニ於ケル其問題ニ對シ裁決投票ヲナス權アリテ之レガ裁決ヲ以テ最終トシ以テ兩當事者ノ服従ス可キモノトス

第十二條 本會ニ提出セラレタル總テノ問題ハ之レヲ記録トシ他日兩當事者ノ参照ニ供スルモノトス

第十三條 各當事者ハ各自別ニ其ノ代理者及ヒ秘書役ノ失費ヲ支拂フ可キモノタリト雖モ議長ニ對スル費用、書籍、文具、印刷、會議室借料等ハ兩當事者間ニ於テ之レヲ同等ニ分擔スルモノトス

T. R. Ratcliffe Ellis }  
Thomas Ashton } Joint Secretaries of the Board

一八九九年一月

b、英國各炭坑地方石炭業協和會

前項 a、ニ於テ述べタルハ英國全同盟炭坑主及炭坑夫間ニ於ケル賃金協定ヲ掌ル所謂中央的協和會ナルガ其以下ニハ英國各炭坑地方即チ「サウスウエールス」ダラ

ム及ビ「カンバール」地方等ノ如ク約九種ノ石炭業協和會アリテ各地方毎ニ便宜ニ炭坑賃金率ヲ協定スルモノトス

英國各地方ニ於ケル炭坑賃金率ヲ定ムル第二法タル協和會 (Conciliation Board) 賃金協定法ハ地方ニ因リ多少其規約ヲ異ニスト雖モ殆ント大同小異ノ規約ナルヲ以テ其一例トシテ英國炭坑地方中最モ有名ナル「カーヂツフ」地方ニ於テ現今實施シツ、アル規約ノ實例ヲ記シテ以テ如何ニ英國炭坑ニ於ケル炭坑賃金率ヲ協定サレツ、アルカノ情況ヲ示サントス

一、英國「カーヂツフ」地方炭坑主及ヒ炭坑夫間ニ於ケル協和會規約

(附記ス)前項述タルカ如ク英國「カーヂツフ」地方ニ於テハ從來炭坑賃金決定ノ第一法タル「スライデングスケール」法ニ基キ一、八七五年ヨリ殆ント近年ニ至ル迄炭坑賃金ノ協定ヲ實行シツ、アリシガ終ニ一、九〇二年七月一日ニ至リ炭坑夫團體ヨリ炭坑主團體ニ向テ本契約ハ一、九〇三年一月一日ヨリ解約セラレ可キコトヲ通知シタル後チ一、九〇二年十月二十七日ニ至リ相互間將來ノ新規約ニ付會議ヲ開キ漸ク一、九〇三年三月三十一日ニ至リ左ノ新契約ヲ締約スルニ至リ而シテ新舊兩契約ハ種々ノ點ニ於テ殆ント

相類似セリト雖モ新契約ノ主眼タル點ハ從來ノ滑リ尺法即チ「スライヂン  
イグスケール」法ヲ以テスルニ獨立仲裁者ヲ頂キテ一ツノ協和會ニテ賃金  
率ヲ調和スルニアルモノトス

一、契約條項

本契約ハ一九〇三年三月三十一日下ニ記シタル「モンモウスシヤイヤ、サウスウエ  
ールス」炭坑主協會ヲ代表シタル「ウイリヤム、ジェンキン」「エドワード、ヂョンス」外二  
十二名ト同協會ニ屬スル炭坑被雇労働者(但機關方、火夫、坑外仕上方ヲ除ク)ヲ代表  
シタル「ウイリヤム、アフラム」「ウイリヤム、ブレース」外二十二名ノ間ニ於テ締結セ  
フレタルモノトス

第一條 下ニ記載スル條件ニ基キ炭坑主ノ各炭坑ニ於ケル労働者ニ支拂フ可キ  
一般賃金率及ヒ相互間ニ於ケル紛議ヲ和解スル爲メニ協和會ヲ設立ス

第二條 本會ハ「モンモウスシヤイヤ、サウスウエールス」石炭業協和會(The Board of  
Conciliation for the Coal Trade of Monmouthshire & South Wales)ト稱シ以下單ニ「公會」ト稱  
ス

第三條 本公會ハ特ニ炭坑主ヨリ委任セラレタル二十四名ノ代表者及其炭坑主

ノ炭坑ニ被雇セラル、労働者ヨリ特ニ委任セラレタル二十四名ノ代表者ヨリ  
組成シ以テ賃金率一般ノ増加、減額ヲ處理スルニ當リテハ外ニ英國内ニ於テ何  
タル炭坑ニ付財政上ノ關係ヲ有セスシテ單ニ議長裁決權ノミヲ有スル局外者  
ヨリ選出シタル議長ヲ以テ成ルモノトス

第四條 本會第一回ノ委員ハ前項ノ如ク局外ヨリノ議長及ヒ下ニ記シタル委員  
ヨリ成ルモノトス  
坑主代表者左ノ如シ

William Jenkins	William Smith	Edward Jones
H. W. Martin	Fred L. Davies	Hugh Watts
Charles H Eden	Thomas Griffiths	M. Wolstenholme
Fred Cleaves	Joseph Shaw	W. W. Hood
Henry Davies	T. Forster Brown	J. Boyd Harvey
Thomas Wilson	H. E. Gray	Clifford J. Cory
T. H. Deakin	H. J. Wales	W. S. B. McLaren
Edmund Mills Han	William Evans	W. J. Herpell

労働者代表者左ノ如シ

William Abraham	W. Brace	Alfred Onions
David Beynon	Evan Thomas	David Watts Morgan
John Thomas	Enoch Morrell	Thomas Evans
Charles B. Stanton	Thomas Thomas	John Davies

前記ノ内ヨリ二名ノ會長ヲ選ミ一名ハ坑主代表者ヨリ一名ハ労働者代表者中ヨリ選出スルモノトス

議長ニアラザル他ノ委員中ニ缺員ヲ生ジタルトキハ其所屬團體ヨリ一ヶ月以内ニ補缺セラレ其間本會ノ事務ヲ執行スルヲ得ルモノトス補缺員ヲ選出セラレタルトキハ直ニ之レヲ兩秘書役ニ通知スルモノトス

議長缺員セシトキハ本會ハ直ニ之レヲ選出スルコトヲ計リ若シ兩當事者ニ於テ議長選出上其意見ノ投合セサルトキハ之レヲ英國高等司法官ニ請願シ之レカ議長ヲ乞ヒ若シ拒絶セラレタルトキハ下院議員ニ依頼スルモノトス

第五條 本契約ニ關スル兩當事者ハ關係炭坑ニ於ケル異議紛擾ヲ除去スル爲メ總テノ手段ヲ盡スヲ以テ義務トシ萬一不幸ニモ相互ニ避ク可ラザル異議ヲ生

シタルトキハ坑主又タハ其役員ハ労働者又タハ其代表者ト共ニ其炭坑ニ於ケル紛議ヲ協定シ之レカ調和ヲ見ル能ハサル場合ニ於テハ兩當事者又タハ其一方ヨリ書面ヲ以テ之レヲ本會ニ訴ヘ以テ之レカ熟考ヲ乞フモノトス此場合ニ於テハ該事件ニ對シ本會ニ於テ十分ニ熟議シ尙且ツ協定ヲ見ル能ハサリシ場合以外ニハ決シテ坑主及ヒ労働者トモ相互間ニ於ケル賃金契約ノ解約ヲナスコトヲ豫告スル能ハサルモノトス

如此キ場合ニ際シテハ本會ハ本會員中一人以上ノ同數ナル坑主及ヒ労働者代表者ヨリ成立スル委員會ニ其事件ヲ提出スルノ權利ヲ有シ該委員ハ其委員會ノ開會日ヨリ三ヶ月以内ニ其結果ヲ本會ニ報告シ本會ニ於テ其後一ヶ月又タハ本會ニテ特ニ豫メ決定シタル期日内ニ協定ヲ見ル能ハザルトキハ兩當事者ノ一方ハ相互ノ契約ヲ解約スルノ豫告ヲナスヲ得ルモノトス

第六條 本會事務執行規則ハ下ニ規定セラル、モノニシテ同規則ハ本契約ト合

成シ以テ本契約ノ一部ヲ作ルモノトス

第七條

一、採掘セラレタル鑛物ハ専ラ精撰大塊石炭ノミヲ謂フモノトス

英國炭坑賃金率協定ニ關スル狀況

- 一、坑夫ニ支拂ハル可キ採炭賃金ハ關係炭坑ニ於テ實地支拂ハレタル各種ノ基礎賃金タルモノトス
- 一、前項基礎採炭賃金ハ下ニ記シタル手段ヲ以テ確定セラレタル大塊石炭ノ斤量ニ對シ支拂フ可キモノニシテ其賃金ハ大塊炭ヲ炭車ニ滿タシ且ツ石炭ヲ採炭面ヨリ坑外撰炭機ニ至ル迄運搬スルヨリ生シタル粉炭ニ對スル勞力賃ヲ含有スルモノニシテ之レヲ再言スレハ該採炭賃ハ前記ノ大塊及ヒ粉炭ヲ採掘スルニ要セシ一切ノ勞働價值ト同等ニシテ即チ單ニ大塊石炭ニ對スル採掘價值ヨリハ一層價值アルモノトス
- 一、坑夫ニ支拂フ可キ目的ノ大塊及ヒ粉炭ノ斤量ハ下ノ如クニシテ之レヲ確ムルモノトス
- 一、炭坑石炭車ハ一車毎ニ權秤ニ掛ケ之レカ斤量ヲ秤リ其車體風袋ヲ總斤量ヨリ扣除スルモノトス
- 一、石炭ハ炭坑ニ於ケル撰炭篩ニ覆シ大塊ハ篩面ヲ轉落シ粉炭ハ篩目ヨリ通過シテ以テ塊粉ヲ區別スルモノトス
- 一、篩目ヲ通過シタル粉炭ハ同時ニ斤量ヲ秤リ以テ炭車中ニ於ケル石炭ノ總

斤量ヨリ扣除シテ精撰大塊及ヒ粉炭ノ斤量ヲ確メルモノトス

- 一、前述セシ精撰大塊炭ノ斤量ニ對シ坑夫ニ支拂フ可キ採炭賃ハ本契約繼續中ハ前項述ヘタル方法ヲ以テ確メラレタル塊粉炭ノ採掘ニ對シ要シタル總テノ勞働價值ト同等タルモノトス

第八條 本契約第七條ハ現在實行セラレツ、アル石炭斤量及ヒ撰炭組織ヲ變更セント欲スル意志ニ非ラザルヘキコトヲ茲ニ相互ニ於テ承認セラル可キモノトスルモ然モ坑主ハ勞働者ノ賃金ニ對シ不利益ナル結果ヲ及ボサザル限リハ其必要ニ應シテ今後改良撰炭法ヲ採用スルハ勝手タルモノトス

第九條 第七條ハ現今實行セラル、切込炭又タハ粉炭ニ對シ特ニ賃金ヲ支拂ヒツ、アル場合ニ於ケル契約ニ對シテハ毫モ本條ヲ適用ス可キモノニ非ラズ又タ之レヲ變更ス可キ目的ニアラザルモノトス

第十條 本會執行規則第六條ニ據リ開カレタル協和會ニ於テハ其開會翌月ノ第一日ヨリ起算シテ向フ三ヶ月間支拂ハル可キ一般賃金割合ヲ規定スルヲ得ルモノトス但兩當事者ノ一方ニ於テ賃金割合ヲ變更セント欲スルトキハ執行規則ニ從ヒ賃金ノ變更セラル、迄ハ其當時實施セラル、賃金割合ヲ支拂フコト

ヲ繼續スルモノトス

二八六

- (a) 總テノ基礎賃金割合ハ一八七九年ノ基礎率ヲ基礎採炭賃ハ一八七七年十月ノ基礎率ヲ適用セラフ、モノトス
- (b) 勞働者ニ支拂フ可キ賃金ハ本契約締結日ヨリ將來本會決議ノ爲メ増減セラル、迄ハ一八七九年十二月ノ當時ニ於テ各炭坑ニ於テ實際支拂ハレタル各種賃金率ニ其百分ノ四十八ト四分ノ三ヲ<sup>48 $\frac{3}{4}$ %</sup>ヲ加ヘタルモノヲ適用スルモノトス
- (c) 本契約繼續中賃金割合ハ以下(d)項ニ從ヒ各炭坑ニ於テ一八七九年十二月ニ實地支拂ハレタル賃金割合ニ加フルニ其百分ノ三十ヨリ尠カラズ百分ノ六十ヨリ多カラザルモノトス。賃金一般割合變更ノ提議ヲ熟考スル場合ニハ前述ノ百分ノ三十ナル最低率ハ今後賃金率決定上ニ關シテハ恰モ大塊石炭ノ平均正味賣價一噸ニ付十一志三片以上十二志三片以下ト同等割合ナルモノトス
- 前項ノ平均正味賣價ニ「カーデツフ」「バリー」「ニウボルト」「スワンジー」「ランネスリー」港ニ於ケル船乘精撰大塊炭ヨリ計算スルモノトス

(d) 現今或ル炭坑ニテ一八七七年ニテ實際支拂ハレタル賃金割合ヲ基礎トスル處ニ於ケル賃金歩増割合ハ一八七九年ノ割合ヲ基礎トスル炭坑ニ於ケル歩増率ヨリ百分ノ十五ヲ減少セラハ、モノトス

第十一條 本契約ニ關係スル各炭坑ニ於テハ勞働者ニ支拂フ可キ賃金ハ每二週間ニ一度支拂ヲナスモノトス  
但從來每週支拂ヲナシツ、アル炭坑ニ於テハ其慣習ヲ繼續スルヲ得ルモノトス

第十二條 勞働者家事用ニ向テ支給セラル、燃料炭ニ對シ徵ス可キ炭價ニ對シ炭坑主ヨリ提出セラレタル問題ニ關シテハ炭坑地方ヲ十區域ヨリ多カラサル數ニ分チ以テ之レヲ本會ノ兩會長及ヒ兩秘書役ニテ協定シ萬一不調ノ時ハ前記ノ委員ヨリ選定セラレタル第三者ヲ以テ一、九〇三年三月三十日以内ニ之レヲ協定スルモノトス

前項支拂ノ炭價決定ニ關シテハ生産費今日迄勞働者ニ石炭ヲ供給セシ起原及條件及ヒ供給額供給炭品位各區域ニ於ケル供給時期等ヲ斟酌スルモノトス

第十三條 本契約繼續中ハ坑主并ニ勞働者ニ於テ各個ノ契約ヲ解除セント欲ス



ルトキハ其當月ノ第一日目ニ之レガ通知ヲナシ同月末日ニ之レヲ解約スルモノトス但シ當月ノ第一日目若シ日曜日ニ相當スルトキハ其前日即チ土曜日ニ之レカ通知ヲナスヲ要ス

第十四條 關係炭坑ニ於ケル坑主及労働者ハ前記ノ各條ヲ遵守シ一八七九年十月ノ當時關係炭坑ニ於テ實行セラレタル條件及ヒ慣習ヲ確ク守リ關係炭坑ニ於ケル相互ノ契約又タハ第五條ニ從ヒ協和會ノ決議ヲ經タル場合ヲ除クノ外ハ決シテ本契約ノ變更ヲナス可カラザルモノトス

第十五條 本契約又タハ本契約執行規則中ニ於ケル何タル條項モ一般賃金問題ニ關スル場合ニ於テハ何レノ當事者ヨリ本協和會又タ獨立會長ニ其問題事項ヲ提出スルヲ妨グル能ハザルモノトス但石炭賣價ニ關シタル證明ハ協和會ノ開會セララル、當月ノ第一日ヨリ三ヶ月以前ニ認ラル、モノトス

第十六條 本契約ハ期限前ニ兩當事者間ニ於テ期限繼續ノ契約ヲ結フニ非レハ一、九〇五年十二月三十一日迄有効ナルモノトス本契約ノ期限滿了ト同時ニ關係炭坑ニ於ケル坑主及ヒ労働者間ニ於ケル一切ノ契約ヲ解除セララル、モノトス

第十七條 本契約書ノ復本ハ各炭坑ニ於ケル契約簿ニ附記シ以テ坑主及ヒ労働者間ニ於ケル約定ノ一ツトシテ坑主代表者及ヒ各労働者ニ於テ一々之レニ署名ス可キモノトス

一、執行規則

第一項 本會ノ組織者即坑主代表者及ヒ労働者代表者ハ以下單ニ當事者ト稱ス  
第二項 本協和會ノ開會ハカーヂツフ又タハ時々本會ニ於テ決定セララル可キ場所ニ於テ開會セララル、モノトス

第三項 兩當事者ハ一名ノ秘書役ヲ選定シ以テ之レヲ一方ノ當事者ニ通知ス可シ該秘書役ハ其所屬當事者ヨリ停職及ヒ解任セラレザル限リ其地位ヲ保ツモノトス

秘書役ハ總テ協和會ニ出席シ問題ヲ討議スルノ權利ヲ有スト雖モ然カモ動議ニ何タル決議ニ賛成シ又タハ問題ニ對シ投票ノ權利ナキモノトス

第四項 兩秘書役ハ共同シテ總テノ協和會ヲ召集シ以テ出席會員名ヲ記録シ且ツ執行規則第六項ニ基キ開會セラレタル總テノ會議ニ於テ兩當事者ノ承認セル速記者ニ於テ議事録ヲ調製シ之レヲ正復本トナシ一々之レニ議長ノ署名ヲ

受ケ兩秘書役ニ於テ各自一部ヲ保存シ以テ協和會專用トシ決シテ之レヲ印刷ニセザルモノトス

秘書役ハ一方ノ當事者ニ對シ通信事務ヲナスモノトス

第五項 協和會ハ各炭坑ニ於ケル異議紛擾ヲ處理シ且ツ本契約第五條及ビ第十四條ニ關係シ少クトモ毎月一回開會ヲナスモノトス

右ノ場合ニ於テハ秘書役ハ開會前五日ニ之レヲ會員ニ通知ス可シ

第六項 兩當事者ノ一方ニ於テ貸金割合ヲ變更セント欲スルトキハ協和會ハ毎年二月五月八月十一月ノ第十四日ニ之レヲ開會シ開會當月ノ第一日目ヨリ向フ三ヶ月間支拂ハル可キ貸金割合ヲ決定スルモノトス

或ル一方ノ當事者若シ前述ノ議場ニ於テ貸金割合ヲ變更スル動議ヲナサントスルトキハ開會十日前ニ一方ノ秘書役ニ向テ其理由ヲ具シタル書面ヲ以テ通知シ秘書役ハ之レヲ議場ニ提出ス可キモノトス

此場合ニ於テ兩秘書役ハ其議事問題ハ七日前ニ之レヲ各會員ニ通知スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ其問題ハ最初先ツ協和會ニテ之レヲ熟議スルヲ要ス何ト

ナレハ兩當事者ハ出來得ル限り相互ノ異議ヲ友誼的ニ解釋スルハ其主眼タルモノトス

前述ノ場合ニ於テ兩當事者ノ和議ヲナス能ハサルトキハ七日以内ノ休會ヲナシ其間議長ハ之レカ調和ニ盡力スルモノトス而シテ尙ホ之レガ熟議ヲ終ラザルトキハ議長ハ即時又タハ七日以内ニ該問題ニ對シ裁決投票ヲナシ之レヲ決定スルモノトス此場合ニ於テ何レノ當事者モ再ビ異議ヲ陳フル能ハサルモノトス

第七項 兩會長ハ總テノ會議ヲ裁決スルモノニシテ一方會長又タハ兩會長缺席ノトキハ各當事者ヨリ選出セラレタル議員之レヲ裁決スルモノトス

會長又ハ其他會員ニシテ議事ヲ裁決スルモノハ當事者ノ代表者トシテ投票スル權ヲ有スルノミニシテ其他ノ投票權ナキモノトス

但執行規則第六項ノ場合ニ於テハ局外議長之レヲ裁決スルモノトス

第八項 會議ニ提出セラル、總テノ問題ハ書面ヲ以テシ且ツ其提出セシ當事者ニ於テ之レヲ口頭ニテ説明スルヲ要ス

第九項 各當事者ハ自己團體ノ代表者秘書役會計方ニ對スル費用ヲ支辨スルモ

ノタルモ局外議長、速記者、文具代、書物、印刷費及ビ會議室料等ハ兩當事者ニ於テ之レヲ平等ニ分擔スルモノトス

坑主代表者

William Jenkins

外二十一名

及ヒ秘書役一名

勞働者代表者

William Abraham

外二十三名

及ヒ秘書役

本契約關係炭坑

Abercraze Collieries Co.,

外七十三名

(ハ) 炭坑主及ヒ炭坑夫直接賃金率協定法(即チ無同盟坑主及ヒ炭坑夫)

本法ハ英國炭坑地方中僅小ナル炭坑ニ於テ實施セラル、法ニシテ坑主及ヒ坑夫

ニ於テ互ニ賃金率ヲ直接ニ協定ス其法ハ坑夫側ニ於テハ自己ノ代理者又タ若干ノ協議員議長及ヒ秘書役等ヲ選定シ直接坑主ニ對シ賃金率ヲ熟議セシメ以テ之レカ契約ヲ繼續スルモノトス左ニ掲クルハ英國「スワンシー」地方ニ於ケル無同盟坑主及ヒ坑夫間ニ於ケル賃金率契約ノ實例ニシテ其復本ハ各坑夫ニ一々之レヲ交附スルノ慣習トス

a. 「ゲリシンドリム」炭坑 (Gellieidrim Collieries) 於ケル賃金契約(無烟炭坑中ノ一炭坑)

賃金目録

但「ビーコック」炭層三呎六吋層ノ部分

- 一、 採掘及ヒ炭車積込大塊炭 一噸ニ付 一志八片
- 二、 同 上塊切込混合炭 ” ” 一志二片
- 三、 天井切落シ (Per Foot per Yard) ” ” 一志二片半
- 四、 木固積ミ ” ” 一志〇片四分ノ三
- 五、 捨石積卸 一輛 五片
- 六、 古坑木引拔キ 一本 一片

英國炭坑賃金率協定ニ關スル狀況

- 七、坑木柱建テ(長サ四呎六吋ヨリ六呎六吋迄) ” 四片半
  - 同 上(長サ六呎六吋以上) ” 六片
  - 八、枠入レ 一對 一志三片
  - 九、風道造リ 一ヤード 一志
  - 十、坑内夫日雇賃 一日 四志七片
  - 十一、切羽又タハ間延付ケ(ニヤードヲ×ニヤードヲ) 一志六片
  - 十二、二番方繼續就業
    - 廣採炭面ノトキ 通常採炭賃ヨリ一噸ニ付二片増
    - 狭同 上 一ヤードニ付 一志ノ割
  - 十三、磐打テ(底部) 一ヤードニ付 二志五片
  - 十四、馬匹行過キ道 一ヶ處 三志
  - 十五、炭層三呎四吋ニ達スルトキハ割増シ 一噸ニ付 一片
  - 十六、同上三呎二吋 ” ” 二片
  - 十七、同上三呎 ” ” 三片
- 但其以下ノ層ハ特別契約トス

- 十八、間延、填充石仕事ハ支配人及ヒ勞働者間ノ協定トス
  - 十九、高落チ開鑿 一ヤードニ付 二志
  - 二十、坑内ノ事情ニ依リ三番方繼續仕事ヲ必要トスルトキハ支配人及ヒ勞働者間ニ於テ之レヲ協定スルモノトスルモ萬一其協議不調ノ場合ニハ一日ニ付四志七片ヲ以テ支拂フモノトス
  - 二十一、相互ノ熟議上ヨリ坑夫ノ少年者ヲシテ勞働セシムルトキハ請負仕事トシテ之レニ支拂フモノトス
  - 二十二、坑主及ヒ勞働者ノ一方ヨリ請求セラル、トキハ紛議原因タル場所ヲ勞働者委員ニ於テ實地調査スル爲メ正當ニ許諾ヲ與フルコト
- 「ゲリシドリム」炭坑株式會社代表署名者  
專務取締役

Thomas Griffith

John M. Pollard

炭坑支配人

W. J. Barnes

勞働者代表署名者

英國炭坑賃金率協定ニ關スル狀況

坑夫委員長

Thomas Rees Morgan

委員

Griffith Rees

John Morris

Rees Llemelyn

Thomas Evans

William Lewis

秘書役

David Lewis

b. [ドウラス、カーヂツフ]炭坑 (Dowlais Cardiff Collieries) ニ於ケル賃金契約(スチーム

炭坑)

支拂賃金割合

但一八九九年三月十五日下記署名者間ニ契約セラレ爾後引續キ實施セ

ラル、モノトス

一、採炭賃割合 第一層炭 一噸ニ付 一志五片半

同 上 第二層炭 ” 一志二片

二、間延(巾十二呎ヨリ狭カラズ) 一ヤード 二志四片八

三、坑内夫日雇賃

四、杵柱建テ

五、同 上

六、坑木立テ

七、坑木引拔キ

八、木固積ミ(三尺四方)

九、捨石積卸シ

十、排水汲入レ

十一、天井落シ(厚サ二十吋以上)

十二、坑木組建テ方

十三、坑木組建方助手

十四、天井落シ方

十五、通風方

十六、填充石方

十七、坑内運炭方

一日 四志

一對(切羽) 一志半

”(間延) 一志七片四分三

一本 四片

” 一片

一個 一志六片

一輛 四片

一桶 三片

一ヤード 二志九片

一日 五志

一日 二志十片

一日 三志六片ヨリ四志九片

一日 二志六片ヨリ四志

一日 二志六片

一日 三志一片半

英國炭坑賃金率協定ニ關スル狀況

- 十八、同上但風戸ヲ通過運炭スルニ當リ  
門番ヲ有セサル處ニテハ一日ニ付四片半ノ割増トス
- 十九、坑内運炭方夜業  
但シ勤績五日ニ亘ルモノハ六日分ヲ支拂フコト  
一日 三志六片
- 二十、車道方  
一日 三志
- 廿一、墻工  
一日 二志十片
- 廿二、門番ボーイ(十二歳以上)  
一日 一志二片半
- 同 上(十三歳以上) 一志三片
- 同 上(十四歳以上) 一志五片
- 同 上(十五歳以上) 一志八片
- 廿三、炭車乗リ方  
一日 三志七片
- 廿四、炭車鎖繫方  
一日 二志七片
- 廿五、坑内ゲージ方  
一日 四志
- 廿六、坑外同上  
一日 三志七片以上  
三志一片半

以上ハ基礎賃金割合トス

「ドウラスカーヂツ」炭坑代表者

Henry William Martin.

労働者代表者

坑夫代理者 William Abraham.

同 Ben, Davies.

看量立會方 Edward Johns.

坑夫 John Evans.

上記署名ニ對スル證人

書記 Marshall Davies.

第三章 坑主及ビ坑夫ノ權利義務ニ關スル概況

一、坑夫同盟罷業ノ情況

英國炭坑夫ハ第三編ニ述ヘタル如ク其大部分ハ同盟組合ヲ組織ス、而シテ該同盟組合ニハ中央同盟組合、各地方同盟組合及ヒ各炭坑小同盟組合アリテ此等各組合

坑主及ビ坑夫ノ權利義務ニ關スル概況

ニハ各々會長、秘書役、管財人、會計検査方及び團體代表人等ヲ定メ夫々組合事務ヲ處理ス。

前述大小各組合ノ關係ハ各炭坑小區域即チ或ル炭坑ニ於ケル採炭賃率其他坑主トノ間ニ問題ノ起レルトキハ第一ニ各炭坑ニ於ケル同盟組合ニテ之レヲ商議シタル上事宜ニヨリ更ニ之レヲ地方同盟會ニ提出スルトキハ地方炭坑夫同盟組合ハ其時々開會セラル、地方炭坑主組合ト協議シテ之ヲ處理ス、而シテ萬一ニモ互ニ協議調ハザルトキハ更ニ中央炭坑夫同盟組合ニ提出スルモノトス。斯クノ如クニシテ坑夫對坑主間ニ起レル問題ニシテ中央炭坑夫同盟及ヒ中央炭坑主同盟會トノ間ニ於テ協議シ而シテ尙兩者ノ意見衝突シテ解決ノ道ナキトキハ炭坑夫ハ最後ノ手段トシテ所謂同盟罷業(Strike)ニ訴エテ輸贏ヲ決セントスルニ至ル也。一九一二年三月ニ起レル英國炭坑夫大同盟罷業ノ如キハ採炭夫最低賃銀問題ヲ提グテ炭坑主ニ肉薄シ其直接關係労働者ノ數ニ於テ九十萬人間接關係労働者數モ亦タ約二十萬人ニ達シテ殆ト全英國ノ炭坑夫ヲ網羅シ、其陣容整然トシテ一絲亂レズ、約四週間ノ永キ坑主ト對峙シテ一步モ退カス終ニ政府ヲシテ最低賃銀法ヲ制定セシメ、全然坑夫側ノ勝利ニ歸セシガ如キハ近年ニ於ケル世界的大事

件ノ一ツト曰フヘシ。今參考ノタメ英國鑛山労働者紛議累年比較表ヲ示シテ一九〇〇年ヨリ一九一二年ニ至ル紛議數關係労働者數及ヒ休業延日數等ヲ一覽スルノ便ニ供センカ、

英國鑛山労働者紛議累年比較表

年次	紛議數	直接關係労働者數	間接關係労働者數	紛議中休業延日數	
				本年度起生紛議ニヨル	前年ヨリ繼續紛議ニヨル
1900	136	45,455	28,909	545,325	7,607
1901	210	62,065	50,916	1,820,372	265,741
1902	168	85,517	123,009	2,218,326	331,721
1903	125	49,995	13,583	692,178	705,720
1904	113	26,131	20,156	533,703	123,582
1905	106	34,069	10,722	1,167,340	88,174
1906	96	64,056	19,777	629,764	292,338
1907	112	35,629	16,938	466,526	102,535
1908	145	60,474	26,548	1,271,979	79,450
1909	207	149,576	123,178	2,056,170	173,317
1910	224	205,283	91,290	5,263,139	261,021
1911	179	68,207	72,601	1,419,162	2,682,114
1912	155	922,328	184,408	31,460,044	133,801

前表ニ於テ一、九一二年ニ於ケル休業延日數ガ過去十餘年間ノモノヨリ非常ナル増加アルハ同年三月ニ起レル全英國炭坑夫同盟罷業ニ起因セルモノナリ、尙前表ハ英國鑛山全體ニ對スル紛議表ナレドモ此内九割五分迄ハ炭坑ニ關スルモノナレバ暫ク本表ヲ掲載スルコト、セリ、

次ニ一、九一二年中ニ於ケル鑛山労働紛議ニ就テ略說センニ紛議數百五十五回ノ内賃銀ニ關スルモノ其六割ヲ占メテ九十四回、労働時間ニ關スルモノ八回、使用人雇入ニ關スルモノ二十三回、労働契約ニ關スルモノ十三回、坑夫同盟ニ關スルモノ十四回及ビ其他ノ原因ニ屬スルモノ三回也、又タ關係労働者ノ數及紛議中休業日數ヨリ見レハ其人員實ニ九十萬人ニ達シ殆ド全英國ノ炭坑夫ヲ網羅スルモノト曰フベク其延日數三千一百四十六萬日ニ達ス、英國炭坑界ガ同盟罷業ノタメニ受クル損害ノ甚大ナルコト知ルベキナリ、然シ茲ニ一言スベキハ右ノ内人員八十五萬人、延日數三千萬日ハ炭坑夫ノ最低賃銀要求問題ヨリ起リシ大同盟罷業ニ關スルモノナリ、此等ニ關スル詳細ハ次ニ示スベキ一、九一二年英國鑛山労働者對雇主紛議表ニ就テ見ラルベシ

（此表ニ於テ一、九一二年中ニ於ケル英國鑛山労働者對雇主紛議日數也）

年次	月	日	延日數	備考
1911	7	19	59,619	
	8	1	122,807	
	8	1	119,050	
			50	
			(1,452)	
1911	12		33,201	
1912	1		101,011	
1912	1		400,014	
1912	1		800,014	
1912	1		138,100	
1912	1		143,003	
			(2,320)	
			12,321	
1912	3		8,328	
1912	1		(0,522)	
1912	3		3,100	
1912	1		1,803	
			14,053	
			14,104	
1912	10		20,040	



一九一二年英國鑛山勞働者對雇主紛議表

(括弧内ノ數字ハ前年中ニ起リシ紛議ニ關係セル休業日數也)

紛議原因	紛議數	本年中之起リシ紛議ニシテ直接之レニ關係セル勞働者數				直接關係 勞働者數 合計	間接關係 勞働者數 合計	紛議中休 業延日數
		勞働者側 勝利	雇主側勝利	妥協者シクハ 一部分勞働者 側勝利	不確定者シクハ 進行中			
<b>A. 賃銀</b>								
1. 増加請求	27	1,413	2,379	1,812	—	5,604	4,794	59,619 (22,807)
2. 減少反對	13	195	614	1,690	105	2,604	620	119,590
3. 支拂方法ニ就テ	1	50	—	—	—	50	—	50 (1,469)
4. 作業ノ難易ニ關スル賃銀率ノ協 定ニ就テ	21	5,938	1,610	4,611	—	12,159	3,273	69,300 (101,415)
5. 最低賃銀主義設定ニ就テ	1	850,000	—	—	—	850,000	150,000	30,800,000
6. 其他	31	4,454	9,175	3,756	—	17,385	12,688	122,553
合計	94	862,050	13,778	11,869	105	887,802	171,375	31,171,112 (125,691)
<b>B. 勞働時間</b>								
1. 減少請求	3	—	—	538	—	538	2,468	7,886
2. 増加反對	1	—	—	222	—	222	461	683
3. 時間協定ニ就テ	3	594	350	—	—	944	291	3,505
4. 其他	1	—	670	—	—	670	—	2,010
合計	8	594	1,020	760	—	2,374	3,220	14,084
<b>C. 使用人ノ雇入ニ就テ</b>								
1. 解雇勞働者ノ再雇入請求	16	1,107	844	1,686	—	3,637	4,637	16,796
2. 或種役員ノ雇入反對	2	—	900	193	—	1,093	—	1,393
3. 其他	5	4,415	8	190	—	4,613	892	55,915
合計	23	5,522	1,752	2,069	—	9,343	5,529	74,104
<b>D. 勞働契約變更</b>								
1. 現在契約變更請求	5	10	136	1,470	—	1,616	977	7,893
2. 現在契約變更反對	3	1,920	60	—	—	1,980	80	2,100

雇入ニ關スルモノ二十三回、勞働契約ニ關スルモノ十三回、坑夫同盟ニ關スルモノ十四回及ビ其他ノ原因ニ屬スルモノ三回也、又タ關係勞働者ノ數及紛議中休業日數ヨリ見レハ其人員實ニ九十萬人ニ達シ殆ド全英國ノ炭坑夫ヲ網羅スルモノト曰フベク其延日數三千一百四十六萬日ニ達ス、英國炭坑界ガ同盟罷業ノタメニ受クル損害ノ甚大ナルコト知ルベキナリ、然シ茲ニ一言スベキハ右ノ内人員八十五萬人延日數三千萬日ハ炭坑夫ノ最低賃銀要求問題ヨリ起リシ大同盟罷業ニ關スルモノナリ、此等ニ關スル詳細ハ次ニ示スベキ一九一二年英國鑛山勞働者對雇主紛議表ニ就テ見ラルベシ



日	直接関係労働者数		紛議数		日
	直接関係労働者数	紛議数	直接関係労働者数	紛議数	
03	1,680	1	1,680	1	03
04	1,680	1	1,680	1	04
05	1,680	1	1,680	1	05
06	1,680	1	1,680	1	06
07	1,680	1	1,680	1	07
08	1,680	1	1,680	1	08
09	1,680	1	1,680	1	09
10	1,680	1	1,680	1	10
11	1,680	1	1,680	1	11
12	1,680	1	1,680	1	12
13	1,680	1	1,680	1	13
14	1,680	1	1,680	1	14
15	1,680	1	1,680	1	15
16	1,680	1	1,680	1	16
17	1,680	1	1,680	1	17
18	1,680	1	1,680	1	18
19	1,680	1	1,680	1	19
20	1,680	1	1,680	1	20
21	1,680	1	1,680	1	21
22	1,680	1	1,680	1	22
23	1,680	1	1,680	1	23
24	1,680	1	1,680	1	24
25	1,680	1	1,680	1	25
26	1,680	1	1,680	1	26
27	1,680	1	1,680	1	27
28	1,680	1	1,680	1	28
29	1,680	1	1,680	1	29
30	1,680	1	1,680	1	30
31	1,680	1	1,680	1	31
32	1,680	1	1,680	1	32
33	1,680	1	1,680	1	33
34	1,680	1	1,680	1	34
35	1,680	1	1,680	1	35
36	1,680	1	1,680	1	36
37	1,680	1	1,680	1	37
38	1,680	1	1,680	1	38
39	1,680	1	1,680	1	39
40	1,680	1	1,680	1	40
41	1,680	1	1,680	1	41
42	1,680	1	1,680	1	42
43	1,680	1	1,680	1	43
44	1,680	1	1,680	1	44
45	1,680	1	1,680	1	45
46	1,680	1	1,680	1	46
47	1,680	1	1,680	1	47
48	1,680	1	1,680	1	48
49	1,680	1	1,680	1	49
50	1,680	1	1,680	1	50
51	1,680	1	1,680	1	51
52	1,680	1	1,680	1	52
53	1,680	1	1,680	1	53
54	1,680	1	1,680	1	54
55	1,680	1	1,680	1	55
56	1,680	1	1,680	1	56
57	1,680	1	1,680	1	57
58	1,680	1	1,680	1	58
59	1,680	1	1,680	1	59
60	1,680	1	1,680	1	60
61	1,680	1	1,680	1	61
62	1,680	1	1,680	1	62
63	1,680	1	1,680	1	63
64	1,680	1	1,680	1	64
65	1,680	1	1,680	1	65
66	1,680	1	1,680	1	66
67	1,680	1	1,680	1	67
68	1,680	1	1,680	1	68
69	1,680	1	1,680	1	69
70	1,680	1	1,680	1	70
71	1,680	1	1,680	1	71
72	1,680	1	1,680	1	72
73	1,680	1	1,680	1	73
74	1,680	1	1,680	1	74
75	1,680	1	1,680	1	75
76	1,680	1	1,680	1	76
77	1,680	1	1,680	1	77
78	1,680	1	1,680	1	78
79	1,680	1	1,680	1	79
80	1,680	1	1,680	1	80
81	1,680	1	1,680	1	81
82	1,680	1	1,680	1	82
83	1,680	1	1,680	1	83
84	1,680	1	1,680	1	84
85	1,680	1	1,680	1	85
86	1,680	1	1,680	1	86
87	1,680	1	1,680	1	87
88	1,680	1	1,680	1	88
89	1,680	1	1,680	1	89
90	1,680	1	1,680	1	90
91	1,680	1	1,680	1	91
92	1,680	1	1,680	1	92
93	1,680	1	1,680	1	93
94	1,680	1	1,680	1	94
95	1,680	1	1,680	1	95
96	1,680	1	1,680	1	96
97	1,680	1	1,680	1	97
98	1,680	1	1,680	1	98
99	1,680	1	1,680	1	99
100	1,680	1	1,680	1	100

尙ホ一九一二年英國炭坑労働紛議結了表ヲ示シテ紛議ガ如何ナル方法ニヨリテ結了スルニ至リタルカヲ明ニスルノ便ニ供セントス

英國炭坑労働紛議結了表 (但シ一九一二年ニ初マリタル紛議ニ限ル)

結了方法	紛議数	直接関係労働者数
1, 雇主、労働者、又ハ双方代表者ノ直接談合ニヨルモノ	118	61,449
2, 仲裁ニヨルモノ	1	130
3, 和解	2	3,105
4, 立法	1	850,000
5, 雇主側ノ條件ニヨルモノ	23	6,651
6, 労働者交代ニヨルモノ	1	60
7, 其他	1	105
計	147	921,500

二一九一二年英國炭坑夫大同盟罷業

(イ) 原因 今同盟罷業ノ原因ヲ述ブルニ當リ少シク過去ニ溯リテ英國炭坑夫間ノ情態ヲ考フルニ一九一〇年一月一日ヨリ實施セラレタル八時間労働法ノタメ

坑主及ビ坑夫ノ權利義務ニ關スル概況

ニ從來他地方ヨリ異ナリタル労働組織ヲ有シタリシ北方炭坑地方ニ於テハ種々ノ労働紛議ヲ生シ到ル所ノ炭坑ニ於テ同盟罷業ヲ惹起シ労働延日數ニ於テ約二萬日ノ休業ヲ見ルニ至レリ又他方サウスウエールス地方ニテハ一九〇九年末ニ於テ從來四年間繼續セシ賃銀契約ノ變更ヲ申込ミ非常ナル困難ヲ經テ終ニ坑主及ビ坑夫代表者間ニ新契約成立セシモ不幸ニシテ多數坑夫ノ反對スル所トナリタリ此紛議ハ久シク終了スルニ至ラズシテ翌一九一〇年九月一日ニ至リテ終ニ五萬五千人ノ罷業ヲ見タリ而シテ此罷業ハ翌一九一一年八月迄繼續セシガ此間坑夫ガ賃銀收入ニ於テ損失ヲ蒙リシモノ約百十二萬五千磅ニ及ベリト云フ

此等ノ地方的同盟罷業ハ終ニ一九一二年三月ニ於ケル全英國一般の同盟罷業ニ變セリ此ノ大同盟罷業ノ起リシ直接ノ原因ハ坑夫労働者全體ニ對スル最低賃銀ノ要求ニアリ然レドモコレハ坑夫側全體ノ意向ヨリモ寧ロ坑夫同盟會幹部カ一般的ストライキヲ惹起セントシテ殊更ニ要求ヲ大ニシタル形跡ヲ存スル也坑夫側ノ最初ノ要求ハ單ニ坑内劣等作業區域(Abnormal Working Places)ノミニ於ケル最低賃銀ノ設定ニアリテ斯クノ如キ區域ニテ労働スル採炭夫ハ他ノ普通區域ノ採炭夫ニ比シテ勞力多クシテ而カモ收入ハ却ツテ少ナキノ状態ニアルニヨリ劣等

區域ノ採炭夫ニ對シテハ其採炭高ノ如何ニ拘ラズ一定ノ最低賃銀ヲ設定シテ之レヲ支給スベシト曰フニアリシガ坑主側ハ要求ノ全部ハ承諾セザルモ大體ニ於テ此主張ヲ容レタルニヨリ坑夫同盟代表者ハ更ニ要求ヲ擴張シ各炭坑ハ最低賃銀額ヲ定メテ坑内劣等區域ニ労働スルモノト否トヲ問ハズ且又石炭採掘量ニ應ジテ賃銀ヲ受クルモノト否トヲ論ゼス一律ニ各炭坑ニ於テ最低賃銀ヲ支給スベシト主張スルニ至レリ。

(ロ) 經過。抑々英國炭坑夫同盟ガ最低賃銀ノ設定ヲ以テ一ツノ實行政策トナシタルハ罷業前兩三年以來ノコトナリ。一九一一年九月二十九日坑夫同盟代表者及ヒ坑主同盟代表者ハ倫敦ニ於テ集合シ坑内劣等作業區域ニ於ケル最低賃銀(The Minimum Wage for Working in Abnormal Places)ニ就テ議セリ其結果坑主代表者ノ意見ノ要領ハ下ノ如シ。坑主ハ坑内劣等作業區域ニ労働スル坑夫ニ對シテハ仕事ノ出來高ニ應シテ勞力ニ相當スル割増金ヲ支給スルコト及ビ炭坑ニ於ケル慣習及ビ状態ハ各炭坑地方ニヨリテ非常ノ差異アレバ坑主ハ各炭坑地方ニヨリテ別々ニ右ニ關スル協議ヲナスコト。而シテ之レニ對スル坑夫側ノ意見ハ次ノ如シ。

坑内劣等作業區域ニ労働スル採炭夫ニ對シテハ採炭高ニ關ラズ一定ノ最低賃銀